

● アセスメント項目情報リスト

本資料は、
2019年度 子ども・子育て支援推進調査研究事業(調査研究課題番号 20)
「児童虐待対応におけるアセスメントの在り方に関する調査研究」において、
調査データの解析・集計の結果得られたアセスメント候補項目の要約資料である。

詳細な研究手続きは、報告書本編を参照されたい。

【受託代表者】

国立研究開発法人産業技術総合研究所 人工知能研究センター 確率モデリング研究チーム
研究員 高岡 昂太

【研究担当者】

国立研究開発法人産業技術総合研究所 人工知能研究センター 確率モデリング研究チーム
坂本 次郎・橋本 笑穂・北條 大樹・鈴木 聡・菊池愛美・古川 結唯・佐藤瑛洋
先光 毅士・坂上佐知子・村川 尚子・山本直美・北村 光司・本村陽一

【検討委員】

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会愛育研究所

山本 恒雄

成育医療センター/日本子ども虐待防止学会

奥山 眞紀子

東京医科歯科大学

伊角 彩

国立がん研究センター 特任研究員

安藤 絵美子

オクラホマ大学児童虐待センター

山岡 祐衣

中野区子ども家庭支援センター

田中 淳一

神奈川県子ども家庭課

稲葉 史恵

神奈川県中央児童相談所

佐藤 和宏

東京都児童相談センター事業課

大友 桂子

大阪府吹田子ども家庭センター

福田 滋

川崎市こども未来局児童家庭支援・虐待対策室北部児童相談所

出路 幸夫

千葉県市川児童相談所

渡邊 直

秋田県 横手市役所 市民福祉部 子育て支援課

大沼 吹雪

奈良市子ども未来部子育て相談課

東浦 一郎

山口県健康福祉部こども・子育て応援局こども家庭課 児童環境班

多田 基哉

大阪市こども相談センター虐待対応担当課

青木 直子

▶ 本資料の目的

本資料は、2019年度 子ども・子育て支援推進調査研究事業（調査研究課題番号 20）「児童虐待対応におけるアセスメントの在り方に関する調査研究」によって得られた、アセスメント項目に関する核たる研究知見を要約・整理して伝えるものである。

児童虐待事例の実態を網羅的に捉えるためには、児童、養育者、家庭環境など、複雑多岐にわたる要素についての評価が必要になる。本資料では、国内外の文献からアセスメント項目を包括的に収集した上で、各項目が持つ情報を実事例情報と現場支援者の主観的評価をもとに定量化し、一覧としてまとめている。各自治体が管理するリスクアセスメントツールの更新や、研修等での利活用、事例をより詳細に理解するための基礎資料としての活用を想定している。

もちろん、本資料にあげたアセスメント項目が児童虐待対応における全ての観点を網羅している訳ではない。時代の変化に応じて、随時アセスメント観点を更新する必要もあるだろう。今後の発展を前提とした、研究・開発のための基盤的知識としての活用も期待している。

なお、リスク項目に付した数値情報は、統計解析等の手法を用いて算出しているが、その適用範囲や解釈には限界がある。知見を利用する際の留意点は、あらかじめ特に精読されたい。

▶ 調査概要

【研究1】 リスクアセスメント項目の包括的収集

表1に掲げた領域文献を包括的に収集し、リスクアセスメント関連項目を抽出。組み入れ文献数はレビュー論文等を複数含めて87件となり、一次抽出時点で869の項目が抽出された。その後、図1に示したフローで合計420項目を選抜・加筆修正した。

表1. 項目収集対象文献概要

	対象文献種別
国外	<ul style="list-style-type: none"> Child Death Review(CDR)ならびにその調査シート 児童虐待による死亡事例のリスク要因に関する研究論文 児童虐待再発/長期化/重篤化要因に関する研究論文 Predictive Risk Modelingに関する研究論文(使用特徴量) 各種児童虐待関連リスクアセスメント・スクリーニングツール Domestic Violenceに関するリスクアセスメント・スクリーニングツール Sexual Abuseに関するリスクアセスメントツール 児童虐待関連概念に関する評定尺度
国内	<ul style="list-style-type: none"> 死亡事例検証報告書 『虐待対応の手引き』を含む既存のガイドライン・手引き等 リスクアセスメント関連調査資料/書籍 各種公開されたリスクアセスメント・スクリーニングツール 自治体が独自開発したリスクアセスメントツール 児童虐待再発/長期化要因に関する研究論文・資料 DVおよび性暴力、性的虐待に関する研究論文/評定尺度

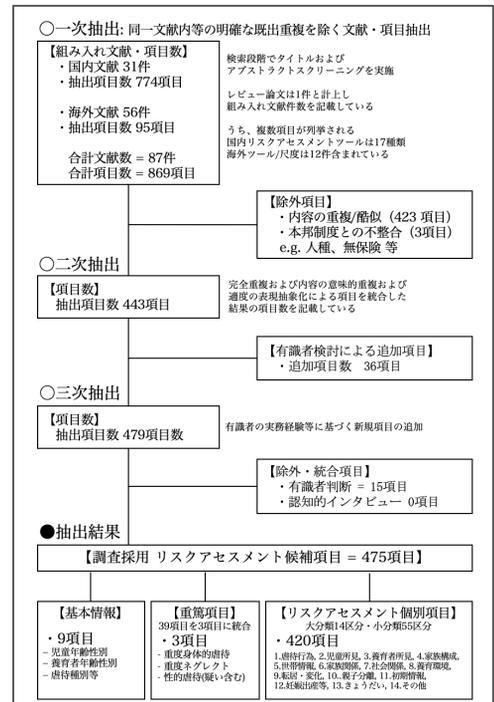


図1. 項目抽出フロー

【研究2】 リスクアセスメント項目の定量的評価

全国の市区町村(1894箇所)ならびに児童相談所(215箇所)を対象とした調査を実施。

組織ごとに無作為に提示した30項目に対して、「初期調査・予備調査時点での情報取得容易性」「訪問調査後(一時保護)時点での情報取得の容易性」「経験に基づく重篤度」の評定を依頼。さらに、当該30項目と事例基礎情報項目を用いた「調査時点で相談対応中の事例に対するリスクアセスメント」の実施を依頼し、それらの回答をWebフォームから収集した。

事例の抽出条件や項目の評定方法など、詳細な手続きについては報告書本編を参照してほしい。

▶ 調査データ情報

収集された事例情報の対象範囲は、「(児童相談所の場合)一時保護の実施または(市区町村の場合)児童相談所への送致が検討される水準にあった、調査回答時点(2019年11月-12月)で進行管理中/相談指導対応中にある事例」であった。選出事例は当該定義範囲において任意であり、無作為抽出は行っていない。また、収集する事例の件数は、各回答組織ごとに身体的虐待7件、ネグレクト6件、心理的虐待6件、性的虐待1件を上限とした。

調査の結果、市区町村470箇所(市区町村回収率 24.8%)ならびに児童相談所129箇所(児童相談所回収率60.0%)からの回答が得られた。収集された事例件数は、市区町村から3514件、児童相談所から1979件となった。データの基本情報を図2に示す。

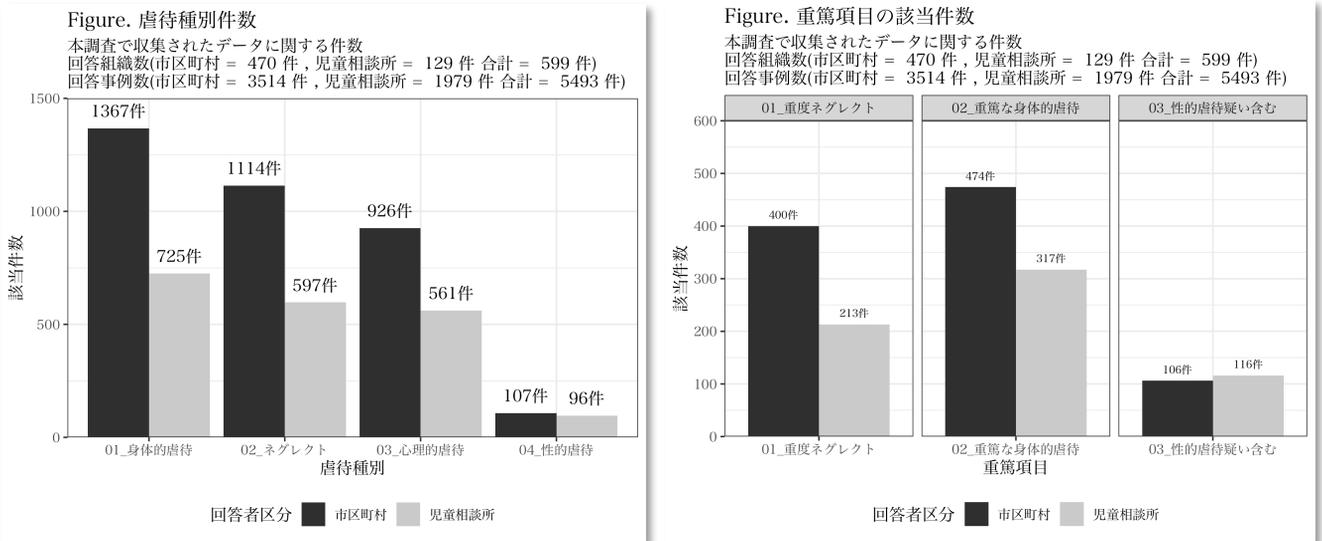


図2. 収集事例データの基礎情報

解析上の主な予測対象として、本調査では(1)重度ネグレクト、(2)重篤な身体的虐待、(3)性的虐待(疑いを含む)を扱った。件数の最も少ない性的虐待事例(疑い含む)は、その該当率が全体の約3.7%と不均衡になっている。また、参考指標として「一時保護または児童相談所への送致の実施」も扱っており、その該当率は35.0%であった(図3)。予測対象となる変数の該当率は、各種統計指標を解釈する上で重要な情報となる。その他のアセスメント関連項目を含めた全ての基礎情報は、報告書本編を参照されたい。解釈に関する留意事項は、次節に紹介する。

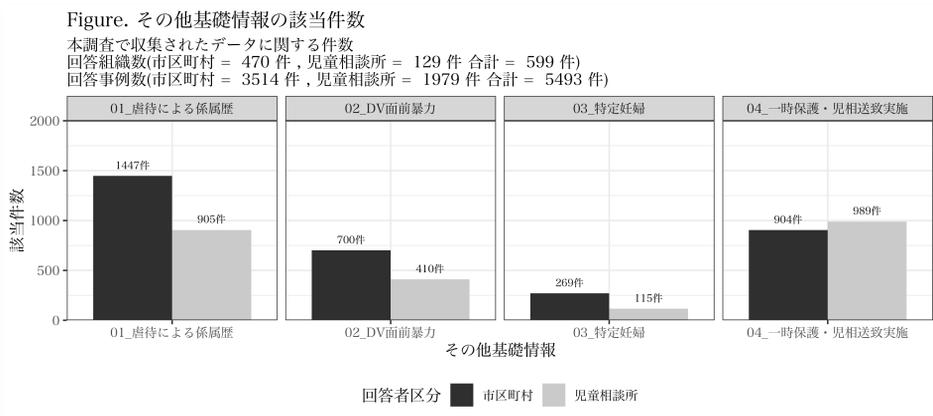


図3. 収集事例データのその他基礎情報

リスクアセスメント項目情報リスト

▶ 項目情報の読み方

【記載情報】

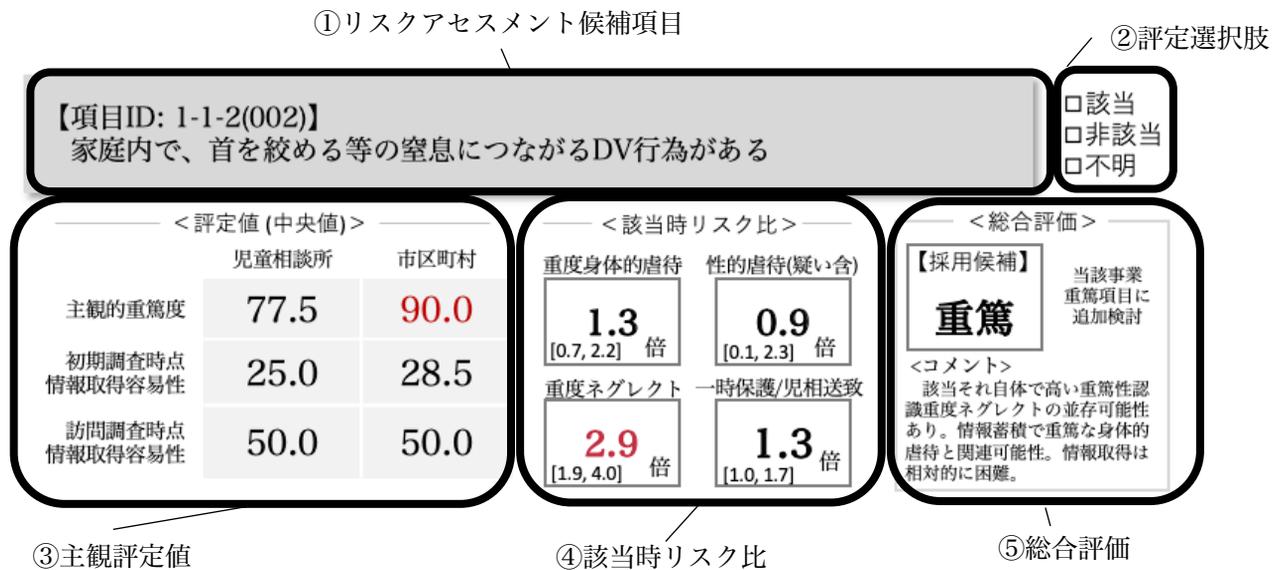


図4. 項目リストの記載情報

【解説】

① リスクアセスメント候補項目

調査で使用した項目内容。文献研究で得られた項目情報から作成。項目IDは、「大区分-小区分-区分内番号(項目番号)」で整理。

② 評定選択肢

該当・非該当・不明(情報未取得)で当該項目の情報を収集すること。
本調査研究では、「該当」か「非該当・不明」かで情報を分割し、「該当が確認された場合に〇〇の並存確率が高い」という形式での活用をしている。
したがって「不明・情報未取得」の場合は、基本的に積極的な情報取得を必要とする。

③ 主観評定値

児童相談所および市区町村別で、「主観的重篤度」「初期調査時点の情報取得容易性」「訪問調査(または一時保護実施)時点での情報取得容易性」を主観判断で評定。その中央値(小さい順に回答データを並べたときに中央に位置する値。外れ値の影響が平均値より少ないとされる)を記載。

主観的重篤度は「0(全く重篤ではない) - 100(直ちに生命の危機がある)」で評定され、情報取得の容易性は、当該項目の該当の有無を積極的に確認しようとした場合に、「0(全ての事例で取得できない) - 50(半数程度の事例で取得可能) - 100(全ての事例で)容易に取得可能」と、情報取得が可能な事例の割合で表現されている。

これらの評定値は、主観報告に基づき、かつ、当該項目が提示された一部の組織のみの回答データを用いたものである。目安として活用されたい。

④ 該當時リスク比

「当該項目に該当した場合、該当しなかった場合よりも、何倍重篤項目が並存していたか」を示す。
左下の2つの数値は、当該解析手法を用いた場合におけるリスク比の推定区間(95%確信区間またはベイズ信頼区間)である。リスク比の基準となる1.00を区間の下限-上限に含まれている場合は、推定されるリスク比が小さな場合(1.00に近い)や、十分なデータが得られていない状況が背景に想定される。

なお、ここでの「リスク」とは統計指標の用語であって、虐待事例の重篤性などを形容する際に用いられるリスクとは意味合いが異なる。

予測対象となる重篤項目(重度ネグレクト等)の定義・具体的内容は、本資料「基礎情報と重篤または一時保護必須検討項目」の節を確認されたい。

リスクアセスメント項目情報リスト

⑤ 総合評価

本調査事業で作成するアセスメントツール案への採用/不採用判断情報と、多変量解析(L1正則化回帰・決定木)で得られた結果をコメントに記載している。重篤項目や一時保護/児童相談所送致以外にも、反復事例(過去に係属歴がある事例)との関連項目である場合はここにその旨を記載している。

- 「重篤」：主観的重篤度が市区町村または児童相談所の少なくともどちらかで中央値90以上の場合に該当。重篤状況の予測項目としてではなく、重篤事態の一つとして組み込む。
なお、中央値90という値は便宜的に任意に定めたものであり、数量的な根拠はないことに留意。
- 「△」：他の項目と意味的・解析結果の方向が類似しているものなどを併合した場合など、予測に貢献しうるがツール案への組み込みがなされなかった項目。
- 「-」：リスク比や多変量解析のいずれであっても重篤項目との関連が得られず、ツール案への組み込みを不採用とした項目
- 「○」：重篤項目の並存・併発予測を目的とした解析で、一つ以上関連が示された項目。
アセスメントツールへの組み込みを積極検討する項目。

▶ 重要! 結果利用時の留意事項

【項目の網羅する範囲】

本資料に示すアセスメント項目(観点)は、いずれも国内外の文献から収集されたものである。可能な限り網羅的な項目収集を試みたものの、児童虐待対応にかかるアセスメント観点を網羅できていないわけではない。文献等に言語化されていない数多の観点が存在するはずである。また、本研究事業で開発するアセスメントツールへの不採用だからといって、当該項目がアセスメントに不要であるわけでもない。本事業が想定したアセスメントツールは、「比較的初期段階で得られる情報から、重篤事態の並存を評価・予測する」ことにあった。死亡事例や、事例の長期継続、将来的な再発の予測や家庭復帰の可否判断など、本事業の範囲外にあるアセスメントにおいて、本事業では採用されなかった項目が事例を紐解く重要な観点になる可能性は十分にある。

【適用対象の限定性】

調査で収集した事例データは、全国の児童相談所と市区町村で対応する事例の中の、一時保護または児童相談所への送致が積極的に検討された事例が対象となっている。したがって、本研究で得られた数量的な結果を、それ以外の集団に適用することはできない。ただし、数量結果は適用できないものの、アセスメントの観点としての項目内容(視点)自体は、対象に拘らず参照することが可能である。

【統計指標の解釈】

本事業では、因果関係に関する解析を一切扱っていない。「重篤事態の並存を予測する項目」であっても、それが重篤事態の原因とは言えず、重篤事態の発生を説明する要因であるとも言えない。本事業の解析で得られたのは、重篤事態の発生と共变的に観測されることの多かった項目である。重篤項目の並存を予測する項目は「より精緻に調査するための手がかり」「重篤な事態の発見の糸口」となるものとして解釈されたい。

また、本資料に示す解析結果は代表値である。すべての地域や事例で一様に数値上の結果が当てはまる訳ではない。平均的な、あるいは全体的な傾向を示すものである。

【予測性能について】

児童虐待事例には、複数の要因が複雑に関与しているものと考えられる。そういった複雑なメカニズムを持つ現象を、「わかりやすく」「単純に」紐解くことは本来的にはできない。したがって、ある項目に該当するかどうかという単純な観点から重篤事態の並存を予測しようとする場合、その精度に高い性能を求めることはできない。複雑なパターンを考慮した解析技術の活用や、事例の発生メカニズムをより精緻に記述するための今後の研究を必要としている。

なお、本事業では、アセスメントに関する予測の誤りを「いずれの項目にも該当していないにも拘らず、重篤事態が発生していた」という点において研究を設計している。したがって、「項目に該当した為に追加調査を試みたが重篤な事態は確認されなかった」という場合は、児童の安全は担保されたという観点から、本事業における予測の誤りではないものと扱っている。

【該當時の解釈】

本資料に示す項目は、該当によって虐待かどうかを「判定」したり「疑う」ための項目ではない。統計的な関連性から観測されていない児童の危機を未然に予測し、安全確認のための積極的な情報収集を後押しするための項目である。言い換えれば、「調査の手がかり」であり、重篤事態の並存を発見するための糸口である。

【非該當時の解釈】

各項目およびその数量的な解析結果は、「非該当だから安全」を保障するものではない。また、「該当したから危険」を即座に決定づけるものでもない。「該当した場合に丁寧な調査が施され、その結果、安全が確認される」ことが項目の意図である。

● 本調査における重篤項目の選定と定義

▶ 本調査での重篤項目の選定方法

本調査における重篤項目には、重度ネグレクト、重篤な身体的虐待、性的虐待(疑い含む)の3つを含めた。重度ネグレクトおよび重篤な身体的虐待は、当該行為が虐待による児童の死亡に直接的に関与することを理由としている。性的虐待(疑い含む)は、その重篤性以外にも、該当によって一時保護の実施が基本方針となっていることを根拠としている。なお、これらに含まれない事象が「重篤ではない」ということを意味するものではなく、調査上利用するために定義したものであることに留意されたい。

重篤項目として定めた3つの具体的な内容は、文献調査の結果から得られた情報を元に、(1) 死亡に直結する致死的な行為や状態、(2) 既存のリスクアセスメントツールで重度・最重度等に割り当てられていたもの、(3) 検討委員からの追加指摘に基づいて決定した。類似する内容の項目は適宜結合して調査に利用している。

なお、文献情報からではあらかじめ想定することが困難な重篤事象に対応するため(例えば、乳児をエアガンで撃つ等)、判断基準が回答者によって左右されることが想定されるものの、各重篤項目に「その他」の項目も設けることとした。

▶ 重篤な身体的虐待

本調査で「重篤項目」として定めた身体的虐待は、以下の内容である。なお、本調査では、児童の受傷状況(事故の可能性を含む)に関する内容と、虐待行為に関する内容(受傷があるかを問わない)の両側面からの記述を許容した。該当する状況が「虐待か否か」という視点ではなく、「児童が安全か」「児童の安全に懸念が生じるか否か」という観点からは、いずれの場合であっても重大事項であることに変わりがないためである。

✓ 重篤な身体的虐待に該当

- ▷ 熱中症や低体温症など児童が危険にさらされる戸外への意図的な締め出し行為
- ▷ 拘束・縛り付け・逆さ吊り・一室への閉じ込め・長期外出の禁止などの行為
- ▷ 乳幼児を激しく揺さぶる行為(Shaken Baby Syndrome / Abused Head Trauma等疑いを含む)
- ▷ 児童を踏みつける・頭部顔面や胸部・腹部を殴る蹴る
- ▷ 道具を使った体罰または暴力行為(重篤な外傷を伴う)
- ▷ 頭部顔面の外傷や頭蓋内出血
- ▷ 新旧が混在する創傷がある
- ▷ 眼底出血・網膜剥離・水晶体脱臼などの眼科所見がある
- ▷ 内臓損傷または出血
- ▷ 骨折・多発骨折
- ▷ 特徴的な形状の創傷(带状痕、二重条痕等)
- ▷ 代理によるミュンヒハウゼン症候群(MSBP)またはその疑い
- ▷ 首を絞める行為または首を絞めた痕がある(頸部絞扼または絞扼痕)
- ▷ 溺れさせる行為(風呂に沈めるなど)
- ▷ 鼻と口をふさぐ行為。乳幼児の場合は顔に布をかける。
- ▷ 布団蒸し行為/その疑い
- ▷ 熱湯をかける・広範囲の熱傷がある(意図的な受傷が疑われる)
- ▷ 異物や不適切な薬物を飲ませる、中毒症状がある
- ▷ 受傷状況不明・受傷理由が不明な重度の外傷・骨折等
- ▷ その他重篤な身体的虐待

本調査における重篤項目の選定と定義

▶ 重篤ネグレクト

重度ネグレクト(放任・養育放棄・医療ネグレクト)に該当

- ▷ 感染症・乳幼児の下痢・慢性疾患・重度の外傷等があっても病院の受診がない
- ▷ 乳幼児の遺棄・置き去り・放置(車内含む)
- ▷ 児童に監護責任者不在での夜間徘徊・放置
- ▷ 脱水症・栄養失調・肺炎・敗血症等による児童の衰弱
- ▷ 児童の身長または体重が標準身長・標準体重の-2SDを下回っているにも拘らず、病院の未受診
- ▷ その他 重度のネグレクト

▶ 性的虐待(疑い含む)

性的虐待(疑われる場合を含む) に該当

- ▷ 性器・口腔・肛門への侵入を伴う行為
- ▷ 直接または着衣の上から児童の身体に触る・触らせる行為
- ▷ 性器や性交を見せる行為
- ▷ 児童をポルノグラフィーの被写体にする行為
- ▷ 児童に売春や援助交際を強要する行為
- ▷ 養育者等が着替えを覗いたり、一緒に入浴することを強要したりするなどの行為
- ▷ 性的描写のある物品を児童の見える状態にしている行為
- ▷ 児童に対して卑猥な言葉を発する行為
- ▷ 児童に性感染症や性器・肛門・下腹部の傷がある
- ▷ 被害内容不明であっても、性的虐待の示唆がある
- ▷ 児童が年齢不相応な性的興味・関心および知識を持っている
- ▷ 性的虐待が懸念される環境や状況(加害者が児童に接触できる等)がある
- ▷ その他 性的虐待(疑いを含む)

▶ その他の重篤項目例

本調査事業では、事前に定めた上記3つの重篤項目内容だけでなく、420のアセスメント項目から、市区町村や児童相談所が「重篤度が高い」と判断する項目を組み入れる設計をあらかじめ想定した。すなわち、上記に含まれない重篤項目を可能な限り拾い上げる策を取った。具体的には、児童相談所または市区町村の重篤度評定値(中央値)が90を上回る(100: 直ちに生命の危機が懸念される)項目を重篤項目への追加内容として採用することとした。具体的な基準値設定に統計的根拠等はなく、任意に定めていることに留意された。

具体的な追加重篤項目内容は以降に整理する項目リストの総合評価欄から確認できる。最終的なアセスメントツール案への組み込み結果は、別添するツール案を参照されたい。

基礎項目と対象リスクの範囲

▶ 調査で扱った基本項目

本調査事業では、文献から収集したアセスメント項目や重篤項目の他に、児童の年齢や性別などの基礎項目データも収集している(表2)。これらの基礎項目から得られる知識については、本資料では紹介していない。アセスメント項目との組み合わせ(e.g. 児童が3歳未満で、説明できない受傷がある場合)などから得られる知識については、今後の詳細な検討が必要な段階である。

表2. 本調査で収集したその他事例基礎情報

事例基礎項目	回答選択肢
行政区分上の主たる虐待種別	▷ 身体的虐待 ▷ 性的虐待 ▷ 心理的虐待 ▷ ネグレクト
対象事例における児童の年齢	▷ -1から20
児童の性別	▷ 男性 ▷ 女性 ▷ その他 ▷ 不明
主たる養育者の年齢	▷ (入力定義上)0以上
主たる養育者の性別	▷ 男性 ▷ 女性 ▷ その他 ▷ 不明
主たる虐待者種別	▷ 実母 ▷ 実父 ▷ 実母以外の母 ▷ 実父以外の父 ▷ その他
その他基礎情報	▷ 当該児童に過去の係属歴(虐待事案としての過去の通告歴・相談歴)がある ▷ DV・面前暴力 ▷ 特定妊婦 ▷ 一時保護の実施あり(市区町村の場合は、児童相談所送致(通知を除く)がある場合はこれに該当)

▶ 本資料で対象とするリスクの範囲

児童虐待における「リスク」は多義的であり、いくつかの種類が想定される。本調査がその対象とした範囲は図5に示すとおりである。それぞれの観点は互いに重複・関連するものと考えらえるが、調査定義上、便宜的に下記の5つをあらかじめ想定した上で、解析的に扱う「リスク」を定めた。なお、収集した項目そのものや、項目を用いた蓄積データは、下記全てのリスク研究に活用可能となる。

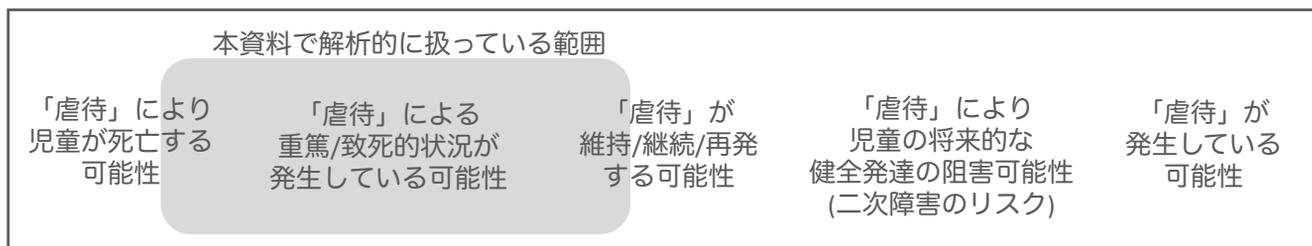


図5 本調査で想定したリスクと解析で扱うリスクの範囲

本研究調査では致命的行為・状況あるいは一時保護が必要となる事態(性的虐待が該当または疑われる)の検出を第一目標として解析を行っている。反復事例の特徴についても解析を実施しているが、将来的な再発等をデータとして取得していないため、部分的結果になる。また、児童の死亡に繋がりうる致命的な行為や状況を扱ってはいるが、死亡の発生に関連する他の重要な要素(例えば、継続対応中の時系列的な変化など)は解析に含まれておらず、死亡そのものを解析の対象としているわけではない。さらに、対象は「虐待事例」が前提となっており、二次障害のリスクについては今後の縦断調査が必要となる。

▶本リスクアセスメント項目リストの活用方法

① 訪問調査等での情報収集時への活用

本資料に示すアセスメント項目には、それぞれの項目で「該当した場合に、〇〇の重篤事態の並存可能性が疑われる」というリスク比等の情報が示されている。例えば、(項目ID081)

「児童が給食以外の食事を食べていない」に該当した場合、該当しない場合よりも性的虐待の並存可能性が高いという結果が得られている。

このような「発見の糸口」となる情報をつかむことができれば、性的虐待の並存に関して積極的な調査を検討することにつながる。具体的には、「養育者が児童の言動全てに関与したがる様子があるか」(項目番号205: 性的虐待並存推定リスク比5.6倍)や、「世帯に登録のない大人の出入りや居住がうかがわれる」(項目番号282: 性的虐待並存推定リスク比9.9倍)といった周辺情報の確認を行うといったアクションにつなげることができる。

② 事例のリスクに関する見立てへの活用

本資料に示すアセスメント項目は、項目そのものが「事例の特徴を記述する観点」となっている。多角的な観点から事例を記述し、リスクを包括的に判断する際に活用できる視点となるだろう。また、該当する項目から「重篤事態の並存が懸念されるか」「反復事例の特徴に該当するか」といった数値情報から、事例のリスクを考えることもできる。いずれの場合であっても、議論の俎上に載せる情報の充実を図ることに活用し、重篤事態の見落としの防止に繋げて欲しい。

③ リスク認識に関する関係機関との擦り合わせ

本資料に示すアセスメント項目には、児童相談所と市区町村のそれぞれによる主観的な重篤度の評定値が示されている。例えば「母親が妊娠そのものを受容できない/できなかった」(項目番号400)という事態に対して、児童相談所の重篤度評定値は95(中央値,100を生命の危機とする)、市区町村の評定値(中央値)は75となっている。どちらが正しいというものではない。

「評価にズレが生じうる」という認識の上に立ち、建設的な議論につなげることに活用されたい。

④ 研修への活用

事例に対する適切な介入や支援は、適切なアセスメントから始まる。事例をどのような観点から記述し評価するのかについては、幅広い知識・観点が求められる。本資料に記載されたアセスメント項目は、いずれも先行研究や既存のリスクアセスメントツールから抽出されたものである。得られている数量的情報を含め、各種研修に活用してほしい。

⑤ 研究への活用

児童虐待という現象を定量的に研究し、その発生・維持・悪化に関するメカニズムを明らかにするためには、第一に「適切な測定」が必要となる。

観察に基づく評定結果を元に事例の情報を定量化することを考えた時、まずは評定観点の洗い出しが必要となる。本調査では、事例の特徴を記述する項目を可能な限り網羅的に収集し、その基礎情報を定量化した。しかし、データの収集方法や解析方法など、検討すべき課題は多い。今後の研究の礎となる知見として、活用してほしい。

なお、本調査で得られた各項目の該当件数等の基礎情報や用いた解析手法は、報告書本編に記載している。方法論の参考や、メタ分析等への利用は、本編を参照してほしい。

リスクアセスメント項目情報リスト

▶項目区分と該当ページ

大区分 番号	(調査管理用) 大区分	(調査管理用) 小区分(番号)	区分内 項目数	該当ページ
	基礎情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童年齢 ・ 児童性別 ・ 主たる養育者の年齢 ・ 主たる養育者の性別 ・ 主たる虐待者種別 ・ 虐待による過去の係属歴 ・ DV/面前暴力 ・ 特定妊婦 ・ 一時保護または児童相談所送致実施 	n = 9	P10
	重篤項目(生命の危機・ 重篤・一時保護検討必 須)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重篤な身体的虐待 ・ 重度ネグレクト/医療ネグレクト ・ 性的虐待(疑い含む) 	n = 3 (下位39項目)	P8-P9
1	児童への(虐待)行為	<ol style="list-style-type: none"> 1. DV/面前暴力 2. 監護不責任/保護の怠慢 3. 強迫/差別/無視 4. 行動制約/強要 5. 身体所見/暴力 6. その他 	n = 49	P14-P27
2	児童所見	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校や園での課題 2. 帰宅不安/分離希望等 3. 虐待を疑わせる様子 4. 障がい/持病 5. 身体所見 6. 生活所見 7. 精神症状/身体化 8. 対人関係 9. 表情/感情 10. 問題行動 11. 養育者への態度 12. その他 	n = 93	P28-P53
3	養育者所見	<ol style="list-style-type: none"> 1. 育児の負担/不安/能力低下 2. 援助希求/差し迫る危険 3. 虐待に関する認識/態度 4. 支援の受け入れ/関係機関への態度 5. 児童への態度 6. 障がい・精神症状・身体化 7. 身だしなみ/風貌 8. 性格/気質 9. 生育歴/学歴 10. 生活態度 11. 教育/価値観 12. 養育能力/知識/意思 13. その他 	n = 123	P54-P91

リスクアセスメント項目情報リスト

▶項目区分と該当ページ

4	家族構成	1. 家族構成 2. 家族歴/犯罪歴 3. 外部の大人の出入り	n = 14	P92-P96
5	世帯情報	1. 居所情報 2. 経済不安 3. その他	n = 17	P97-P101
6	家族関係	1. 家族関係	n = 19	P102-P106
7	社会関係・ソーシャルサポート	1. 介入の困難 2. 資源不足 3. 社会的孤立 4. 親族関係 5. 養育サポート 6. 連携/情報不十分	n = 17	P107-P113
8	養育環境	1. 改善意欲/展望 2. 監護/養育上の課題 3. 生活環境	n = 15	P114-P118
9	転居・変化	1. 転入/転出 2. 変化	n = 11	P119-P121
10	親子分離・措置歴	1. 親子分離/措置歴	n = 7	P122-P123
11	初期情報(通告等)	1. 安全確認 2. 関係機関情報 3. 通告	n = 15	P124-P127
12	妊娠・出産等	1. 妊娠/出産 2. 母子手帳 3. 検診/予防接種等	n = 30	P128-P135
13	きょうだい	1. きょうだい	n = 4	p136
14	その他	1. その他	n = 3	p137

大区分1. 虐待行為に関する項目情報

▷ 小区分1-1 DV・面前暴力

【項目ID: 1-1-1(001)】

家庭内で、児童や家族が、日々の生活行為の大半をコントロールされている

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	21.5	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	62.5	70.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.5 [0.8, 2.4] 倍	1.5 [0.3, 3.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.1 [0.4, 2.0] 倍	1.3 [0.9, 1.7] 倍

<総合評価>

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
明確な重篤項目との関連性は得られていないが、情報の蓄積で重度の身体的虐待と関連が得られる可能性。

【項目ID: 1-1-2(002)】

家庭内で、首を絞める等の窒息につながるDV行為がある

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	77.5	90.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	28.5
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 [0.7, 2.2] 倍	0.9 [0.1, 2.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.9 [1.9, 4.0] 倍	1.3 [1.0, 1.7] 倍

<総合評価>

【採用候補】
重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>
該当それ自体で高い重篤性認識
重度ネグレクトの並存可能性あり。
情報蓄積で重篤な身体的虐待と関連可能性。情報取得は相対的に困難。

【項目ID: 1-1-3(003)】

家庭内に、刃物等の武器を用いたDV行為(「殺すぞ」等の脅迫または暴力)が発生している

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	90.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	70.0	50.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.0 [0.5, 1.7] 倍	0.8 [0.1, 2.2] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.7 [0.9, 2.6] 倍	1.2 [0.9, 1.6] 倍

<総合評価>

【採用候補】
重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>
多変量解析では虐待再相談と関連。該当それ自体で高い重篤性認識。情報蓄積で各指標と関連示す可能性。

【項目ID: 1-1-4(004)】

児童が頻回に養育者間の暴力場面を目撃している

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	61.5	49.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	70.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.0 [0.1, 2.5] 倍	1.8 [0.0, 6.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.3 [0.2, 3.3] 倍	0.4 [0.1, 1.0] 倍

<総合評価>

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
目立った重篤項目との関連性は示されない。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分1. 虐待行為に関する項目情報

▷ 小区分1-1 DV・面前暴力

【項目ID: 1-1-5(005)】

当該児童の世帯において、過去1年間の間にDV・面前暴力による通告や相談が2回以上発生している

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	64.0	73.5
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	80.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	81.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.8 倍 [1.3, 2.4]	0.9 倍 [0.3, 1.9]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.1 倍 [0.6, 1.6]	1.1 倍 [0.9, 1.4]

< 総合評価 >

【採用候補】


項目006に併合検討

<コメント>
 多変量解析では虐待再相談と関連。重篤な身体的虐待が懸念される。児相が情報取得に優れる傾向。

【項目ID: 1-1-6(006)】

養育者による、配偶者やその他の家族などに対する暴言または暴力が疑われる

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	40.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 倍 [0.7, 1.9]	1.1 倍 [0.2, 2.6]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 倍 [1.0, 2.7]	0.8 倍 [0.5, 1.1]

< 総合評価 >

【採用候補】


重篤項目の予測項目に採用検討

<コメント>
 多変量解析では虐待再相談・重篤な身体的虐待を予測する特徴。重度ネグレクトの並存も懸念。

【項目ID: 1-1-7(007)】

養育者に対するDVで、加害者に保護命令が生じている

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	76.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 倍 [0.7, 2.3]	0.6 倍 [0.0, 2.2]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.6 倍 [0.7, 2.7]	1.5 倍 [1.1, 2.0]

< 総合評価 >

【採用候補】
 —

本事業作成ツール採用なし

<コメント>
 明確な重篤項目との関連は示されない。

【項目ID: 1-1-8(008)】

養育者が、刃物や武器を使って家族を威嚇する

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	90.0	90.0
初期調査時点 情報取得容易性	62.5	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.7 倍 [0.7, 3.1]	4.2 倍 [1.2, 8.5]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.5 倍 [0.5, 3.0]	1.7 倍 [1.1, 2.2]

< 総合評価 >

【採用候補】
重篤

当該事業重篤項目に追加検討

<コメント>
 該当自体で高い重篤性認識。性的虐待の並存も懸念される。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分1. 虐待行為に関する項目情報

▷ 小区分1-2 監護不責任・保護の怠慢

【項目ID: 1-2-1(009)】

児童の食事・衣服・住居・医療的ケアなどが不適切

該当
非該当
不明

<評定値(中央値)>

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	71.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	72.5
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

<該当時リスク比>

重度身体的虐待	1.7 [0.1, 4.8] 倍	性的虐待(疑い含) 6.1 [0.2, 17.6] 倍
重度ネグレクト	2.2 [0.1, 6.2] 倍	一時保護/児相送致 1.4 [0.2, 2.6] 倍

<総合評価>

【採用候補】
△

重篤事例とそれ以外の意味的識別性不足

<コメント>
重度ネグレクトを予測する特徴。特定条件下でも寄与。

【項目ID: 1-2-2(010)】

養育者が児童に必要な食事を与えていない(罰として食事を与えていない・食に対する偏った知識により必要な栄養を与えていない場合を含む)

該当
非該当
不明

<評定値(中央値)>

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	71.5

<該当時リスク比>

重度身体的虐待	1.5 [0.3, 3.2] 倍	性的虐待(疑い含) 1.8 [0.1, 6.1] 倍
重度ネグレクト	2.6 [0.8, 4.9] 倍	一時保護/児相送致 1.0 [0.4, 1.8] 倍

<総合評価>

【採用候補】
△

重篤状態記述と重複

<コメント>
重度ネグレクトの予測に寄与。

【項目ID: 1-2-3(011)】

養育者に、外出先での児童の置き去り行為がある

該当
非該当
不明

<評定値(中央値)>

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0

<該当時リスク比>

重度身体的虐待	0.8 [0.3, 1.5] 倍	性的虐待(疑い含) 1.9 [0.5, 4.1] 倍
重度ネグレクト	2.8 [1.7, 4.0] 倍	一時保護/児相送致 0.9 [0.6, 1.3] 倍

<総合評価>

【採用候補】
△

重篤状態記述と重複

<コメント>
重度ネグレクトの並存が懸念。

【項目ID: 1-2-4(012)】

養育者によって、児童に不適切な薬物投与がなされている(意図的かどうかを問わない)

該当
非該当
不明

<評定値(中央値)>

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	90.0	88.5
初期調査時点 情報取得容易性	22.5	15.0
訪問調査時点 情報取得容易性	70.0	50.0

<該当時リスク比>

重度身体的虐待	2.5 [1.8, 3.2] 倍	性的虐待(疑い含) 0.8 [0.2, 1.9] 倍
重度ネグレクト	1.1 [0.5, 1.7] 倍	一時保護/児相送致 1.4 [1.1, 1.7] 倍

<総合評価>

【採用候補】
重篤

当該事業重篤項目に追加検討

<コメント>
高い重篤度認識。重篤な身体的虐待の並存懸念。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分1. 虐待行為に関する項目情報

▷ 小区分1-3 強迫・差別・無視

【項目ID: 1-3-1(013)】

児童の心を傷つける言動(無自覚含む)を繰り返す行う

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	62.5	77.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	64.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 [0.6, 2.1] 倍	0.5 [0.0, 1.7] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.2 [0.5, 2.2] 倍	1.1 [0.7, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤な事態に関する明確な
関連は得られていない。

【項目ID: 1-3-2(014)】

養育者が児童に対して言葉で暴力行為をほのめかす(「叩くぞ」などの脅し)

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	72.5
初期調査時点 情報取得容易性	38.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	65.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.2 [1.1, 3.5] 倍	1.8 [0.2, 4.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.6 [0.1, 1.7] 倍	1.8 [1.2, 2.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では重篤な身体
的虐待の予測要因。

【項目ID: 1-3-3(015)】

養育者が、対象児童に対して、他のきょうだいと異なる差別的な扱いをしている

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	44.0
訪問調査時点 情報取得容易性	70.0	65.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 [0.2, 3.3] 倍	2.5 [0.1, 8.2] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 [0.2, 4.5] 倍	0.3 [0.0, 1.0] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では虐待再相談
および重篤な身体的虐待の
関連要因。

【項目ID: 1-3-4(016)】

養育者による「生まれてこなければよかった」「死んでしまえ」「殺してやる」「出て行け」などの言動がある・あった

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	33.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	55.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 [0.7, 2.3] 倍	1.1 [0.1, 2.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.8 [0.2, 1.7] 倍	0.8 [0.5, 1.2] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤な事態との明確な関連
は得られていない。初期調
査時点では大半の事例で取
集困難な情報。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分1. 虐待行為に関する項目情報

▷ 小区分1-4 行動制約・強要

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

【項目ID: 1-4-1(017)】

(学齢児に対して)養育者が児童に常識はずれの門限を決めている

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	55.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	70.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	1.4 [0.5, 2.7] 倍
性的虐待(疑い含)	5.2 [2.0, 9.7] 倍
重度ネグレクト	1.1 [0.3, 2.5] 倍
一時保護/児相送致	1.6 [1.0, 2.1] 倍

<総合評価>

【採用候補】

○

重篤項目の予測項目に採用検討

<コメント>

性的虐待(疑いを含む)の並存が懸念される。

【項目ID: 1-4-2(018)】

児童が、養育者から年齢相応の行動(スポーツやデートなど)をすることを許されない

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	52.5	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	46.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	82.5	50.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	3.5 [1.1, 5.9] 倍
性的虐待(疑い含)	4.1 [0.1, 13.1] 倍
重度ネグレクト	3.0 [0.5, 6.2] 倍
一時保護/児相送致	1.0 [0.2, 2.1] 倍

<総合評価>

【採用候補】

○

重篤項目の予測項目に採用検討

<コメント>

重篤な身体的虐待の並存が懸念される。初期情報では大半の事例で情報取得が困難。

【項目ID: 1-4-3(019)】

児童の意思に反して幼稚園・学校等に登園・登校させない

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	51.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	77.5

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	1.4 [0.6, 2.5] 倍
性的虐待(疑い含)	4.4 [1.7, 8.1] 倍
重度ネグレクト	1.6 [0.6, 2.9] 倍
一時保護/児相送致	1.5 [1.1, 2.0] 倍

<総合評価>

【採用候補】

○

重篤項目の予測項目に採用検討

<コメント>

性的虐待(疑いを含む)の並存が懸念。

【項目ID: 1-4-4(020)】

養育者が、児童に食事や睡眠の制限を命じることがある

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	32.5
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	72.5

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	1.6 [0.5, 3.2] 倍
性的虐待(疑い含)	1.4 [0.0, 5.0] 倍
重度ネグレクト	1.0 [0.1, 2.8] 倍
一時保護/児相送致	1.9 [1.2, 2.5] 倍

<総合評価>

【採用候補】

—

本事業作成ツール採用なし

<コメント>

多変量解析では虐待再相談と関連。

大区分1. 虐待行為に関する項目情報

▷ 小区分1-4 行動制約・強要

【項目ID: 1-4-5(021)】

養育者が、児童に対して、年齢・発達に明らかにそぐわない要求をする

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	72.5

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.7 倍 [1.2, 2.2]	1.4 倍 [0.6, 2.5]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 倍 [1.3, 2.5]	1.6 倍 [1.3, 1.8]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では虐待再相談
と関連。重篤な身体的虐待
やネグレクトと関連。

【項目ID: 1-4-6(022)】

養育者が、児童へ過度な家事を強要している

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	70.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 倍 [0.6, 1.9]	1.4 倍 [0.3, 3.3]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.3 倍 [0.0, 0.9]	1.1 倍 [0.8, 1.5]

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤な項目とは明確な関連
が得られていない。

【項目ID: 1-4-7(023)】

養育者が児童に、心中や自殺を強要する行為・発言がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	87.5	92.0
初期調査時点 情報取得容易性	40.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.0 倍 [1.5, 2.6]	1.2 倍 [0.5, 2.3]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.3 倍 [0.1, 0.6]	1.6 倍 [1.3, 1.8]

< 総合評価 >

【採用候補】

重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>

該当自体で高い重篤性認識。
重篤な身体的虐待の並存が
懸念。

【項目ID: 1-2-4(024)】

養育者が児童に対して外出禁止を強いる

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	39.0	43.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	51.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.5 倍 [0.9, 2.2]	1.4 倍 [0.4, 3.0]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.9 倍 [0.4, 1.6]	1.4 倍 [1.0, 1.7]

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

多変量解析では虐待再相談
と関連。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分1. 虐待行為に関する項目情報

▷ 小区分1-4 行動制約・強要

【項目ID: 1-4-9(025)】

養育者によって、児童の交友関係(友人や親族など)が制限されている

該当
非該当
不明

＜評定値(中央値)＞

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	45.0	32.0
訪問調査時点 情報取得容易性	72.5	75.0

＜該当時リスク比＞

重度身体的虐待	0.5 [0.0, 1.7] 倍	性的虐待(疑い含)	1.8 [0.0, 6.2] 倍
重度ネグレクト	1.3 [0.2, 3.2] 倍	一時保護/児相送致	0.8 [0.3, 1.5] 倍

＜総合評価＞

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

＜コメント＞

情報の蓄積で他の重篤項目との関連可能性がある。初期調査時点では大半の事例で情報取得が困難。

【項目ID: 1-4-10(026)】

養育者による、学業成績や家庭学習・塾の無理強いがある

該当
非該当
不明

＜評定値(中央値)＞

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	52.5
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	72.5

＜該当時リスク比＞

重度身体的虐待	0.4 [0.0, 1.2] 倍	性的虐待(疑い含)	5.0 [1.6, 9.9] 倍
重度ネグレクト	1.3 [0.3, 3.0] 倍	一時保護/児相送致	1.5 [0.8, 2.1] 倍

＜総合評価＞

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

＜コメント＞

性的虐待(疑い含む)の並存が懸念。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分1. 虐待行為に関する項目情報

▷ 小区分1-5 身体所見・暴力

【項目ID: 1-5-1(027)】

(乳児の場合のみ)移動を獲得する前の段階で児童に外傷がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	90.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	41.5
訪問調査時点 情報取得容易性	87.5	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.3 [1.8, 2.9] 倍	0.5 [0.1, 1.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.7 [0.4, 1.2] 倍	1.2 [1.0, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>

該当それ自体で高い重篤性
認識。情報取得は児童相談
所が優れる。

【項目ID: 1-5-2(028)】

児童が、過去に繰り返し身体的な暴力を受けていた

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	85.0
初期調査時点 情報取得容易性	60.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
3.4 [2.0, 4.8] 倍	2.1 [0.3, 5.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.4 [0.0, 1.4] 倍	1.3 [0.7, 1.8] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では特定条件下
も含めた重篤な身体的虐待、
および虐待再相談と関連。

【項目ID: 1-5-3(029)】

児童が泣き止まないことに苛立つての身体的暴力がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	90.0	90.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	72.5

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
3.1 [2.2, 4.0] 倍	1.4 [0.3, 3.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.1 [0.5, 2.1] 倍	1.9 [1.5, 2.2] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>

該当自体による高い重篤性。
重篤な身体的虐待並存の可
能性。

【項目ID: 1-5-4(030)】

児童に、成人による噛み傷(犬歯間が3cm以上)がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	84.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
4.2 [3.3, 5.1] 倍	0.4 [0.0, 1.5] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.3 [0.0, 0.8] 倍	1.6 [1.2, 2.0] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重篤な身体的虐待並存の可
能性。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分1. 虐待行為に関する項目情報

▷ 小区分1-5 身体所見・暴力

【項目ID: 1-5-5(031)】

児童に、単発のわずかな怪我または傷が残らない程度の暴力がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	57.5	67.5
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	58.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
3.5 [0.7, 6.3] 倍	6.1 [0.2, 17.5] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.2 [0.1, 6.2] 倍	1.4 [0.3, 2.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重篤な身体的虐待の予測要因。情報蓄積で他の重篤項目との関連可能性。

【項目ID: 1-5-6(032)】

児童に、服などで隠れた部分の怪我がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	77.0	77.5
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	77.5	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 [0.2, 3.3] 倍	10.0 [3.5, 17.5] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 [0.3, 4.3] 倍	1.2 [0.4, 2.0] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重篤な身体的虐待、虐待再相談との関連を示す。性的虐待並存の可能性が懸念。

【項目ID: 1-5-7(033)】

児童に、理由不明または説明のつかない外傷がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	77.5	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
3.1 [2.2, 4.1] 倍	0.8 [0.1, 2.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.2 [0.5, 2.0] 倍	1.3 [0.9, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重篤な身体的虐待並存の可能性。情報取得は児童相談所が特に優れる。

【項目ID: 1-5-8(034)】

児童に鼓膜破裂・難聴・鼻中隔骨折などの耳鼻科的所見が認められる

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	90.0	90.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
3.8 [1.9, 5.5] 倍	3.8 [0.5, 9.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.4 [0.2, 3.3] 倍	1.1 [0.4, 1.9] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>

該当それ自体で高い重篤性。初期調査時点では情報収集が困難。重篤な身体的虐待の並存が懸念。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分1. 虐待行為に関する項目情報

▷ 小区分1-5 身体所見・暴力

【項目ID: 1-5-9(035)】

児童に新旧の混在した傷痕がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	90.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	55.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.5 [1.4, 3.7] 倍	1.6 [0.2, 4.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.6 [0.1, 1.6] 倍	1.2 [0.8, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>
 多変量解析では重篤な身体的虐待と関連。該当自体で高い重篤性認識。

【項目ID: 1-5-10(036)】

児童に対して、しつけ・体罰という理由での身体的暴力がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	76.0	85.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.7 [1.2, 2.4] 倍	1.1 [0.4, 2.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.5 [0.2, 0.9] 倍	1.2 [1.0, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
 ○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 多変量解析では特定条件下を含め、重篤な身体的虐待と関連。

【項目ID: 1-5-11(037)】

児童に対する養育者のサディスティックな行為がある(養育者は楽しんでい
る)

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	85.0	87.5
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.1 [1.5, 2.6] 倍	0.9 [0.3, 1.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.1 [0.6, 1.6] 倍	1.3 [1.0, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
 △

情報取得の
困難性

<コメント>
 多変量解析では性的虐待(疑いを含む)の並存と関連。半数以上の事例で情報の収集が困難。

【項目ID: 1-5-12(038)】

児童の耳・脇・腹部・下腹部・背中・脂肪部位(内腿・臀部)など、事故で受
傷しにくい部位に外傷や内出血がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	94.0
初期調査時点 情報取得容易性	67.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	95.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
5.1 [3.1, 6.6] 倍	2.2 [0.1, 7.5] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.8 [0.0, 2.7] 倍	2.4 [1.6, 2.9] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>
 該当それ自体で高い重篤性。情報取得は児童相談所が相対的に優れる。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分1. 虐待行為に関する項目情報

▷ 小区分1-5身体所見・暴力

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

【項目ID: 1-5-13(039)】

児童の耳介や耳穴、または口の周囲(上下唇)や口内の挫傷・裂傷がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.5	82.5
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	95.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
3.0 [2.2, 3.9] 倍	1.1 [0.2, 2.7] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.1 [0.5, 1.8] 倍	1.8 [1.4, 2.1] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

△

項目042と併合

<コメント>
多変量解析では重篤な身体的虐待と関連。

【項目ID: 1-5-14(040)】

児童の身体に打撲痕や内出血などの外傷がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	90.0
初期調査時点 情報取得容易性	78.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	85.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.7 [2.1, 3.2] 倍	0.5 [0.2, 1.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.8 [0.5, 1.2] 倍	1.2 [1.0, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

重篤

当該事業重篤項目に追加検討

<コメント>
多変量解析では重篤な身体的虐待と関連。該当自体で高い重篤性。

【項目ID: 1-5-15(041)】

小型円形熱傷(タバコ熱傷)、手形・つねった痕、ミミズ腫れなど、児童の身体に特徴的な形状の外傷・瘢痕(古傷)がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	85.0	90.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	93.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
4.3 [3.2, 5.4] 倍	0.6 [0.0, 2.0] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.3 [0.5, 2.3] 倍	1.5 [1.1, 1.9] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

重篤

当該事業重篤項目に追加検討

<コメント>
多変量解析では重篤な身体的虐待と関連。該当自体で高い重篤性。

【項目ID: 1-5-16(042)】

頭部の瘡や抜毛(後頭部まで確認)、上まぶた・顔面に点状の出血や痣、目の血走りなど、児童の頭部・顔面に外傷がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	95.0	90.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	87.5	87.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.0 [1.1, 3.0] 倍	0.6 [0.0, 2.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.1 [0.4, 2.2] 倍	1.2 [0.8, 1.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

重篤

当該事業重篤項目に追加検討

<コメント>
多変量解析では特定条件下を含め、重篤な身体的虐待と関連。虐待再相談とも関連。該当自体で高い重篤性

大区分1. 虐待行為に関する項目情報

▷ 小区分1-5 身体所見・暴力

【項目ID: 1-5-17(043)】

養育者が、児童に対して、正座や立ち続けることなどの身体的な苦痛を伴う長時間の姿勢の維持を強要している

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	31.5
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	57.5

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 倍 [0.2, 2.0]	2.1 倍 [0.3, 5.7]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.8 倍 [0.1, 2.1]	1.0 倍 [0.5, 1.6]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重篤な身体的虐待と関連。初期調査での情報収集は困難。情報蓄積で、性虐待と関連可能性。

【項目ID: 1-5-18(044)】

養育者が、人前で児童を罵ったり、手をあげたりする

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	77.5	85.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	78.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.7 倍 [1.7, 3.8]	1.7 倍 [0.4, 4.0]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.5 倍 [0.6, 2.6]	1.4 倍 [1.0, 1.8]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では虐待再相談の高さと関連。重度身体的虐待の並存が懸念。

【項目ID: 1-5-19(045)】

養育者が児童の身体の複数箇所を殴打している

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	100.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	32.5
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	70.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.9 倍 [1.0, 2.9]	2.0 倍 [0.5, 4.6]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.5 倍 [0.1, 1.3]	1.5 倍 [1.1, 2.0]

< 総合評価 >

【採用候補】

重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>

多変量解析では重篤な身体的虐待と関連。該当自体で高い重篤度認識。

【項目ID: 1-5-20(046)】

養育者に、道具を用いた体罰・暴力行為がある(軽度の外傷や跡がない場合)

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	85.0	90.0
初期調査時点 情報取得容易性	52.5	35.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	66.5

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.7 倍 [0.4, 1.3]	1.0 倍 [0.3, 2.1]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.1 倍 [0.5, 1.7]	1.1 倍 [0.8, 1.4]

< 総合評価 >

【採用候補】

重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>

該当自体で高い重篤度認識。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分1. 虐待行為に関する項目情報

▷ 小区分1-5 身体所見・暴力

【項目ID: 1-5-21(047)】

養育者は、イライラすると児童に手が出てしまう

- 該当
- 非該当
- 不明

————— < 評定値 (中央値) > —————

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	70.0	75.0

————— < 該当時リスク比 > —————

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.5 [1.8, 3.2] 倍	1.2 [0.4, 2.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.5 [0.2, 1.0] 倍	1.3 [1.1, 1.6] 倍

————— < 総合評価 > —————

【採用候補】



重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重篤な身体的虐待と関連。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分1. 虐待行為に関する項目情報

▷ 小区分1-6 その他

【項目ID: 1-6-1(048)】

複数種別の虐待が併発・混合

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	77.5	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 [0.4, 2.4] 倍	0.9 [0.0, 3.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.3 [0.0, 1.1] 倍	1.6 [1.0, 2.1] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 多変量解析では重篤な身体的虐待と関連。

【項目ID: 1-6-2(049)】

養育者の偏った知識やこだわりによって、児童に栄養の偏りや不足、行動的制約などが生じている

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	40.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	70.0	72.5

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 [0.3, 1.7] 倍	0.5 [0.0, 1.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
3.1 [2.0, 4.4] 倍	1.1 [0.7, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 多変量解析では重度ネグレクトおよび虐待再相談と関連。重度ネグレクトの並存が懸念。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-1 学校や園での課題

【項目ID: 2-1-1(050)】

園や学校への不自然な遅刻・理由の明確でない欠席が多い

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	55.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	100.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.8 [0.4, 1.4] 倍	0.5 [0.1, 1.4] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.2 [1.5, 3.1] 倍	1.2 [0.9, 1.5] 倍

<総合評価>

【採用候補】
△

項目359と併合

<コメント>
多変量解析では虐待再相談と関連。重度ネグレクトの並存が懸念。

【項目ID: 2-1-2(051)】

学校で、保健室の出入りが頻繁にある、または、病気が疑われないのに体の不調を頻回に訴えている

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	95.0	100.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.8 [0.3, 1.3] 倍	1.0 [0.2, 2.4] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
3.3 [2.3, 4.4] 倍	1.4 [1.1, 1.8] 倍

<総合評価>

【採用候補】
○

重篤項目の子測項目に採用検討

<コメント>
重度ネグレクトの並存が懸念。

【項目ID: 2-1-3(052)】

児童が園や学校生活で集団から離れ、孤立していることが多い

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	40.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	77.5	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	75.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.8 [0.3, 1.4] 倍	0.4 [0.0, 1.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.0 [0.4, 1.8] 倍	1.4 [1.0, 1.8] 倍

<総合評価>

【採用候補】
—

本事業作成ツール採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連性は得られていない。

【項目ID: 2-1-4(053)】

児童が学校にて休学、停学、留年などの問題を抱えている

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	100.0	90.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.0 [0.6, 1.4] 倍	1.1 [0.4, 2.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.5 [1.0, 2.2] 倍	1.2 [1.0, 1.5] 倍

<総合評価>

【採用候補】
○

重篤項目の子測項目に採用検討

<コメント>
多変量解析では虐待再相談と関連。重度ネグレクトの並存可能性。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-1 学校・園での課題

【項目ID: 2-1-5(054)】

児童が落ち着いて学習に向かうことが出来ない

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 [0.4, 1.8] 倍	1.1 [0.1, 3.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.0 [1.1, 3.2] 倍	1.3 [0.8, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
重度ネグレクトの並存可能性。

【項目ID: 2-1-6(055)】

児童において、生来の能力に比して知的な発達が十分に得られていない

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	52.5	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	72.0
訪問調査時点 情報取得容易性	60.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.0 [0.6, 1.5] 倍	1.1 [0.3, 2.4] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.5 [0.9, 2.3] 倍	0.9 [0.7, 1.2] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連性は得られていない。

【項目ID: 2-1-7(056)】

児童にひきこもり、または1週間以上の連続した学校欠席状態がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	95.0	85.0
訪問調査時点 情報取得容易性	98.0	100.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.0 [0.6, 1.6] 倍	0.2 [0.0, 0.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.6 [0.3, 1.1] 倍	1.2 [0.9, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連性は得られていない。

【項目ID: 2-1-8(057)】

児童に学校での顕著な学習の遅れがある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	34.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	85.5	80.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.7 [0.3, 1.3] 倍	1.6 [0.4, 3.5] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.3 [1.5, 3.3] 倍	1.1 [0.7, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では重度ネグレクトの予測要因。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-2 帰宅不安・分離希望等

【項目ID: 2-2-1(058)】

児童が帰宅することに恐怖・不安を感じている様子がある

該当
非該当
不明

<評定値(中央値)>

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	85.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	53.0
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	75.0

<該当時リスク比>

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 [0.9, 1.7] 倍	0.9 [0.3, 1.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.7 [1.2, 2.4] 倍	1.4 [1.1, 1.6] 倍

<総合評価>

【採用候補】



重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重度ネグレクト並存の懸念。

【項目ID: 2-2-2(059)】

児童が帰宅を嫌がる・拒否する

該当
非該当
不明

<評定値(中央値)>

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	90.0
初期調査時点 情報取得容易性	77.5	67.5
訪問調査時点 情報取得容易性	87.5	75.0

<該当時リスク比>

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 [0.6, 1.7] 倍	0.6 [0.1, 1.7] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.2 [1.4, 3.1] 倍	0.7 [0.4, 0.9] 倍

<総合評価>

【採用候補】

重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>

重度ネグレクトの並存が懸念。該当自体で高い重篤性認識。

【項目ID: 2-2-3(060)】

児童が積極的に帰宅を希望する

該当
非該当
不明

<評定値(中央値)>

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	27.5	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	42.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	92.5	75.0

<該当時リスク比>

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.3 [0.0, 0.8] 倍	1.1 [0.1, 3.0] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 [0.9, 3.0] 倍	0.8 [0.5, 1.3] 倍

<総合評価>

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

明確な重篤項目との関連性は得られていない。

【項目ID: 2-2-4(061)】

児童自身が保護・救済を求めている

該当
非該当
不明

<評定値(中央値)>

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	95.0	90.0
初期調査時点 情報取得容易性	90.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	72.0

<該当時リスク比>

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 [0.8, 2.0] 倍	0.3 [0.0, 1.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.0 [0.4, 1.7] 倍	0.6 [0.1, 1.6] 倍

<総合評価>

【採用候補】

重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>

多変量解析では重篤な身体的虐待、虐待再相談と関連。該当自体で高い重篤性認識。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-3 虐待を疑わせる様子

【項目ID: 2-3-1(062)】

児童が、些細な身体接触でも身を固くする

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	73.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	27.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	60.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.6 倍 [1.0, 2.3]	0.6 倍 [0.1, 1.6]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.1 倍 [1.3, 3.0]	1.4 倍 [1.1, 1.7]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重篤な身体的虐待と関連。重度ネグレクトの並存も懸念。初期段階での情報取得は難しい。

【項目ID: 2-3-2(063)】

児童が服を脱ぐことを極端に嫌がる

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	30.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	70.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 倍 [0.7, 1.6]	1.5 倍 [0.7, 2.7]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.7 倍 [2.0, 3.4]	1.3 倍 [1.1, 1.6]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重度ネグレクトの平然が懸念。

【項目ID: 2-3-3(064)】

児童が継続して虐待される兆候があると判断される

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.6 倍 [0.2, 1.2]	1.5 倍 [0.3, 3.5]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.5 倍 [0.1, 1.3]	0.4 倍 [0.2, 0.7]

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

明確な重篤項目との関連は得られていない。

【項目ID: 2-3-4(065)】

不自然な外傷など虐待行為が疑われるが、児童が虐待を否定する

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	85.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 倍 [0.9, 1.9]	0.8 倍 [0.2, 1.8]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.2 倍 [0.7, 1.8]	0.8 倍 [0.6, 1.0]

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

多変量解析では虐待再相談と関連。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-3 虐待を疑わせる様子

【項目ID: 2-3-5(066)】

友人や関係機関の支援者などが尋ねても、児童が家族や家庭の状況を語りたがらない・隠す

- 該当
- 非該当
- 不明

<評定値(中央値)>

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	67.5
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	82.5	75.0

<該当時リスク比>

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.8 [1.1, 2.6] 倍	1.5 [0.4, 3.2] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.8 [0.3, 1.5] 倍	1.3 [1.0, 1.7] 倍

<総合評価>

【採用候補】



重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重篤な身体的虐待の並存が懸念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-4 障がい・持病

【項目ID: 2-4-1(067)】

児童に(発達障害・知的障害を除く)精神疾患がある

- 該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 倍 [0.6, 1.6]	0.9 倍 [0.2, 1.9]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.8 倍 [0.4, 1.3]	0.8 倍 [0.6, 1.1]

< 総合評価 >

【採用候補】
—
本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
多変量解析では虐待再相談
と関連。

【項目ID: 2-4-2(068)】

児童に身体障害や医学的な脆弱性(持病等)がある

- 該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	72.0	57.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.5	72.5
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	80.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 倍 [0.7, 1.8]	0.9 倍 [0.2, 2.2]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.9 倍 [0.4, 1.5]	1.2 倍 [0.9, 1.6]

< 総合評価 >

【採用候補】
—
本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連性
は得られていない。

【項目ID: 2-4-3(069)】

児童に知的障害がある

- 該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	40.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	82.5	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.6 倍 [0.9, 2.4]	0.4 倍 [0.0, 1.6]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 倍 [0.9, 2.8]	0.7 倍 [0.4, 1.1]

< 総合評価 >

【採用候補】
—
本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
多変量解析では虐待再相談
と関連。情報蓄積により、
重篤な身体的虐待およびネ
グレクト並存の可能性

【項目ID: 2-4-4(070)】

児童の発達障害(疑い含む)

- 該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	80.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 倍 [0.8, 1.7]	1.7 倍 [0.7, 3.1]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.7 倍 [1.1, 2.4]	1.1 倍 [0.8, 1.3]

< 総合評価 >

【採用候補】
○
重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では重篤な身体
的虐待との関連。重度ネ
グレクトの並存も懸念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-5 身体所見

【項目ID: 2-5-1(071)】

(乳幼児の場合)生後3ヶ月までの間に、合理的な理由なく月あたり450g未満の体重増加にとどまっている

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 [0.4, 2.2] 倍	1.6 [0.2, 4.2] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.4 [0.5, 2.8] 倍	1.2 [0.7, 1.7] 倍

<総合評価>

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連性は得られていない。

【項目ID: 2-5-2(072)】

(未就学児童において)合理的な理由がなく、3ヶ月以上連続した体重の減少が生じている

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	92.5	70.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.2 [1.4, 3.1] 倍	0.8 [0.1, 2.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.6 [0.2, 1.2] 倍	1.0 [0.6, 1.3] 倍

<総合評価>

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
重篤な身体的虐待の並存可能性。

【項目ID: 2-5-3(073)】

関係機関から、児童の身体的発達および健康状態に関する懸念が指摘されている(具体的根拠がある場合に限定)

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	72.5	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	80.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 [0.8, 1.8] 倍	0.9 [0.3, 2.0] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.7 [0.3, 1.2] 倍	1.0 [0.7, 1.3] 倍

<総合評価>

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連性は得られていない。

【項目ID: 2-5-4(074)】

器質的な理由によらず児童の身長または体重が標準身長・標準体重の-2SDを下回っている

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	82.5	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	70.0	70.0
訪問調査時点 情報取得容易性	95.0	70.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 [0.8, 1.5] 倍	0.7 [0.2, 1.4] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.6 [1.1, 2.1] 倍	1.3 [1.0, 1.5] 倍

<総合評価>

【採用候補】
重篤

重篤項目に
併合

<コメント>
多変量解析で重度ネグレクトと関連。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-5 身体所見

【項目ID: 2-5-5(075)】

児童に、排尿痛や性器周囲の痒みがある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	72.5
初期調査時点 情報取得容易性	10.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 倍 [0.7, 1.6]	1.4 倍 [0.5, 2.5]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.3 倍 [0.8, 1.8]	1.2 倍 [0.9, 1.4]

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

初期調査時点での情報取得困難。情報蓄積により性的虐待との関連可能性

【項目ID: 2-5-6(076)】

児童に、腹部の鈍的外傷(素手や武器で殴る・蹴る等の行為による腹部外傷)がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	90.0	95.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	60.0
訪問調査時点 情報取得容易性	95.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.6 倍 [0.2, 1.2]	1.0 倍 [0.1, 2.6]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
3.3 倍 [2.1, 4.5]	0.9 倍 [0.6, 1.3]

< 総合評価 >

【採用候補】

重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>

多変量解析では重篤な身体的虐待と関連。重度ネグレクトの並存可能性もあり。該当自体で高い重篤性認識。

【項目ID: 2-5-7(077)】

児童にアトピーや喘息がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	40.0	45.0
初期調査時点 情報取得容易性	64.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.8 倍 [1.1, 2.6]	0.8 倍 [0.1, 2.2]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.1 倍 [0.5, 1.9]	1.1 倍 [0.8, 1.5]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重篤な身体的虐待の並存可能性。

【項目ID: 2-5-8(078)】

児童に栄養障害・体重増加不良・低身長がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	82.5	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	77.5	70.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	85.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.7 倍 [0.2, 1.5]	2.6 倍 [0.7, 5.4]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.1 倍 [1.1, 3.3]	1.6 倍 [1.2, 2.1]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

項目79、
項目80を
併合して利用

<コメント>

多変量解析では重度ネグレクトとの関連。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-5 身体所見

【項目ID: 2-5-9(079)】
児童に極端な体重の増減がある

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>		<該当時リスク比>	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	80.0	80.0	1.2倍 [0.8, 1.6]	1.6倍 [0.7, 2.7]
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	72.5	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0	0.9倍 [0.5, 1.4]	1.3倍 [1.1, 1.6]

<総合評価>

【採用候補】
△

項目078と併合

<コメント>
多変量解析では重度ネグレクトの子測要因。

【項目ID: 2-5-10(080)】
児童に低身長・低体重が認められる(医師による診断のみならず、疑いも含む)

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>		<該当時リスク比>	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	72.5	77.0	1.0倍 [0.5, 1.6]	0.6倍 [0.1, 1.6]
初期調査時点 情報取得容易性	80.0	75.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	79.0	90.0	1.2倍 [0.6, 1.9]	1.5倍 [1.2, 1.9]

<総合評価>

【採用候補】
△

項目078と併合

<コメント>
多変量解析では重度ネグレクトの子測要因。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-6 生活所見

【項目ID: 2-6-1(081)】

児童が給食以外の食事を食べていない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	85.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
3.5 [0.6, 6.4] 倍	12.4 [2.1, 23.0] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.2 [0.1, 6.3] 倍	2.2 [0.9, 2.9] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 性的虐待の並存が強く疑わ
れる。情報蓄積により、他
の重篤項目との関連可能性
もあり。

【項目ID: 2-6-2(082)】

児童に、身体や衣類の汚れ、異臭、シラミの発生、3日以上風呂に入っていない状態のいずれかがある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	67.5	70.5
初期調査時点 情報取得容易性	57.5	70.0
訪問調査時点 情報取得容易性	95.0	100.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 [0.9, 2.1] 倍	1.2 [0.4, 2.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.9 [1.1, 2.7] 倍	1.4 [1.1, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 重度ネグレクトの並存が懸
念。情報蓄積により、重
度の身体的虐待との関連可
能性もあり。

【項目ID: 2-6-3(083)】

児童に食べ物への異常な執着がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	65.0
初期調査時点 情報取得容易性	55.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 [0.6, 2.6] 倍	2.6 [0.6, 5.7] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.2 [0.3, 2.6] 倍	0.9 [0.4, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 多変量解析では重度ネグ
レクトの予測要因。

【項目ID: 2-6-4(084)】

児童に昼夜逆転・食事時間の著しい不安定があるなど、基本的な生活習慣が崩れている

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	65.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 [0.8, 1.8] 倍	0.7 [0.2, 1.8] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.4 [0.8, 2.0] 倍	1.1 [0.8, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 多変量解析では重度ネグ
レクトの予測要因、虐待再相
談と関連。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-6 生活所見

【項目ID: 2-6-5(085)】

(乳幼児の場合)乳幼児において、おむつかぶれが(週明け等)頻繁に起こっている

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	60.0	74.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	1.7 [1.0, 2.4] 倍
性的虐待(疑い含)	0.7 [0.1, 1.8] 倍
重度ネグレクト	1.0 [0.4, 1.7] 倍
一時保護/児相送致	1.1 [0.8, 1.4] 倍

<総合評価>

【採用候補】

○

重篤項目の予測項目に採用検討

<コメント>

重篤な身体的虐待の並存が懸念。

【項目ID: 2-5-6(086)】

児童が、家事などの養育者の役割の多くを担っている

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	57.0
初期調査時点 情報取得容易性	62.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	1.5 [1.0, 2.0] 倍
性的虐待(疑い含)	0.8 [0.3, 1.6] 倍
重度ネグレクト	0.5 [0.2, 0.8] 倍
一時保護/児相送致	1.1 [0.8, 1.3] 倍

<総合評価>

【採用候補】

○

重篤項目の予測項目に採用検討

<コメント>

多変量解析では重篤な身体的虐待と関連。

【項目ID: 2-5-7(087)】

児童がいつも同じ服を着用している

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	71.5
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	75.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	2.2 [1.5, 2.8] 倍
性的虐待(疑い含)	0.7 [0.1, 1.7] 倍
重度ネグレクト	0.8 [0.4, 1.3] 倍
一時保護/児相送致	1.5 [1.2, 1.8] 倍

<総合評価>

【採用候補】

○

重篤項目の予測項目に採用検討

<コメント>

多変量解析では重度ネグレクトおよび虐待再相談とも関連。重篤な身体的虐待並存の可能性。

【項目ID: 2-5-8(088)】

児童が季節にそぐわない服装をしている

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	57.5	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	52.5	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	77.5	80.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	1.9 [1.3, 2.5] 倍
性的虐待(疑い含)	0.5 [0.0, 1.4] 倍
重度ネグレクト	0.8 [0.4, 1.4] 倍
一時保護/児相送致	1.1 [0.8, 1.4] 倍

<総合評価>

【採用候補】

△

項目087と併合

<コメント>

多変量解析では重度ネグレクトとの関連。重篤な身体的虐待並存の可能性。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-6 生活所見

【項目ID: 2-6-9(089)】

児童に未治療の虫歯が多い

- 該当
- 非該当
- 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	40.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 [0.1, 2.3] 倍	3.3 [0.4, 8.5] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.6 [0.0, 2.1] 倍	1.0 [0.4, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連性は得られていない。

- 虐待行為
- 児童所見
- 養育者所見
- 家族構成
- 世帯情報
- 家族関係
- 社会関係
- 養育環境
- 転居変化
- 親子分離
- 初期情報
- 妊娠出産等
- きょうだい
- その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-7 精神症状・身体化

【項目ID: 2-7-1(090)】

児童に心因性の身体不調(腹痛・頭痛等)が疑われる

該当
非該当
不明

<評定値(中央値)>

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	66.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	70.0

<該当時リスク比>

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 [0.5, 1.9] 倍	1.0 [0.1, 2.7] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 [0.9, 2.9] 倍	1.3 [0.9, 1.3] 倍

<総合評価>

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

情報蓄積により、重度ネグレクト並存との関連可能性がある。

【項目ID: 2-7-2(091)】

児童に多動・衝動性が見られる

該当
非該当
不明

<評定値(中央値)>

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	55.5
初期調査時点 情報取得容易性	82.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	87.5	75.0

<該当時リスク比>

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.5 [0.7, 2.5] 倍	0.6 [0.0, 2.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.1 [1.1, 3.4] 倍	0.7 [0.3, 1.1] 倍

<総合評価>

【採用候補】

○

重篤項目の
子測項目に
採用検討

<コメント>

重度ネグレクト並存の懸念。児童相談所による情報取得が優れる。

【項目ID: 2-7-3(092)】

児童に白髪化・脱毛・チックが見受けられる

該当
非該当
不明

<評定値(中央値)>

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	75.0

<該当時リスク比>

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 [0.6, 1.6] 倍	1.1 [0.4, 2.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.2 [0.7, 1.8] 倍	1.0 [0.8, 1.3] 倍

<総合評価>

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との関連性は明確に得られていない。

【項目ID: 2-7-4(093)】

児童に夜尿・遺尿・遺糞がある

該当
非該当
不明

<評定値(中央値)>

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	56.5

<該当時リスク比>

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.6 [0.3, 1.1] 倍	2.2 [0.9, 4.0] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 [1.1, 2.7] 倍	1.3 [1.0, 1.6] 倍

<総合評価>

【採用候補】

○

重篤項目の
子測項目に
採用検討

<コメント>

重度ネグレクトの並存が懸念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-7 精神症状・身体化

【項目ID: 2-7-5(094)】

児童が、悪夢を見たり、睡眠障害(入眠困難・中途覚醒等)を訴える

- 該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	77.5
初期調査時点 情報取得容易性	40.0	26.0
訪問調査時点 情報取得容易性	60.0	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.0 [0.6, 1.5] 倍	0.4 [0.1, 1.2] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.0 [1.4, 2.8] 倍	1.5 [1.3, 1.8] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では性的虐待の
予測要因。重度ネグレクト
並存の懸念。

【項目ID: 2-7-6(095)】

児童に過食、拒食、異食がある

- 該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.5	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	60.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	81.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.4 [0.2, 0.7] 倍	1.0 [0.4, 1.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.2 [0.7, 1.7] 倍	1.0 [0.8, 1.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重度ネグ
レクトの予測要因。

【項目ID: 2-7-7(096)】

児童に極めて高い精神的不安定性がある(入院が必要・衝動性が高い)

- 該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	62.5	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.8 [0.1, 2.0] 倍	2.7 [0.3, 6.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.5 [0.9, 4.5] 倍	1.3 [0.6, 1.9] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

情報蓄積により、重度ネグ
レクトおよび性的虐待(疑
い含む)の関連可能性あり

【項目ID: 2-7-8(097)】

児童に自傷行為や自殺企図がある

- 該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	90.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	32.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	65.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 [0.7, 1.6] 倍	0.8 [0.2, 1.7] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 [1.2, 2.4] 倍	0.8 [0.6, 1.0] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>

該当自体で高い重篤性認識。
重度ネグレクトの並存が懸
念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-8 対人関係

【項目ID: 2-7-1(098)】

児童に、養育者への不自然な身体的・情緒的密着がある

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	35.0
訪問調査時点 情報取得容易性	70.0	63.5

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	1.4倍 [1.0, 1.8]
性的虐待(疑い含)	1.0倍 [0.4, 1.7]
重度ネグレクト	1.7倍 [1.3, 2.2]
一時保護/児相送致	1.3倍 [1.1, 1.5]

<総合評価>

【採用候補】
△

項目101に併合

<コメント>
多変量解析では重度ネグレクトと関連。重篤な身体的虐待との並存も懸念。

【項目ID: 2-7-2(099)】

児童に異性への恐怖または過剰な接近がある

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	1.9倍 [1.2, 2.6]
性的虐待(疑い含)	1.2倍 [0.3, 2.6]
重度ネグレクト	1.4倍 [0.8, 2.2]
一時保護/児相送致	1.4倍 [1.1, 1.7]

<総合評価>

【採用候補】
○

重篤項目の予測項目に採用検討

<コメント>
多変量解析では性的虐待(疑いを含む)と関連。重篤な身体的虐待の並存可能性あり。

【項目ID: 2-7-3(100)】

児童に周囲とのコミュニケーションに関する課題がある

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	53.5	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	70.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	0.2倍 [0.0, 0.7]
性的虐待(疑い含)	1.6倍 [0.2, 4.1]
重度ネグレクト	0.8倍 [0.2, 1.9]
一時保護/児相送致	0.9倍 [0.5, 1.4]

<総合評価>

【採用候補】
—

本事業作成ツール採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連性は得られていない。

【項目ID: 2-7-4(101)】

児童に情緒的/愛着課題が見受けられる(無表情、よく泣く、視線が合わない、怯え、不安、暗い、攻撃的、遊べない、感情コントロールができない、誰にでもベタベタ)

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	67.5	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	47.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	75.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	1.8倍 [1.1, 2.6]
性的虐待(疑い含)	1.2倍 [0.2, 2.8]
重度ネグレクト	1.4倍 [0.7, 2.3]
一時保護/児相送致	1.5倍 [1.1, 1.9]

<総合評価>

【採用候補】
○

項目98、項目107、項目108、項目109、項目112を併合して利用

<コメント>
多変量解析では特定条件下を含めた重度ネグレクト、重篤な身体的虐待、虐待再相談と関連。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-8 対人関係

【項目ID: 2-8-5(102)】

関係機関の大人に対して、児童の不安感・抵抗感が強い

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 [0.5, 1.9] 倍	1.0 [0.1, 2.7] 倍
1.1 [0.4, 2.0] 倍	1.3 [0.9, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
 本事業
 作成ツール
 採用なし

<コメント>

多変量解析では虐待再相談
 と関連。

【項目ID: 2-8-6(103)】

児童が、周囲との関わりの中で虐待的な人間関係を反復する傾向がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	65.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	68.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 [0.6, 1.3] 倍	0.7 [0.2, 1.4] 倍
1.6 [1.1, 2.2] 倍	1.2 [1.0, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
 重篤項目の
 予測項目に
 採用検討

<コメント>

重度のネグレクトの並存可
 能性あり。

【項目ID: 2-8-7(104)】

児童が、保育士や学校教職員を独占しようとする

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	35.0	55.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	84.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.6 [0.8, 2.6] 倍	0.6 [0.0, 2.3] 倍
3.0 [1.7, 4.5] 倍	1.3 [0.8, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
 重篤項目の
 予測項目に
 採用検討

<コメント>

多変量解析では性的虐待
 (疑いを含む)との関連。重
 度ネグレクトの並存可能性
 がある。

【項目ID: 2-8-8(105)】

児童がいつも極端に承認を求める

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	30.0	31.5
訪問調査時点 情報取得容易性	60.0	58.5

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.6 [0.3, 1.0] 倍	0.7 [0.1, 1.6] 倍
0.7 [0.3, 1.2] 倍	0.9 [0.7, 1.2] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
 本事業
 作成ツール
 採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連性
 は得られていない。

虐待
 行為

児童
 所見

養育者
 所見

家族
 構成

世帯
 情報

家族
 関係

社会
 関係

養育
 環境

転居
 変化

親子
 分離

初期
 情報

妊娠
 出産等

きょう
 だい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▶ 小区分2-8 対人関係

【項目ID: 2-8-9(106)】

児童が人を寄せ付けない態度をとる

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	62.5	60.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.7 [0.3, 1.1] 倍	1.2 [0.5, 2.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 [1.2, 2.5] 倍	1.1 [0.9, 1.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】


重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 重度ネグレクト並存が懸念。

【項目ID: 2-8-10(107)】

児童が養育者に懐かない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	72.5
初期調査時点 情報取得容易性	67.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 [0.7, 1.6] 倍	2.3 [1.3, 2.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.4 [0.9, 2.0] 倍	1.3 [1.0, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】


項目101に
併合

<コメント>
 性的虐待(疑い含む)との並
存が懸念。情報蓄積によ
り、重度ネグレクトとの関
連可能性あり。

【項目ID: 2-8-11(108)】

児童が養育者以外の大人に過度なスキンシップを求める

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	55.0	55.0
初期調査時点 情報取得容易性	62.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	82.5	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.0 [0.6, 1.6] 倍	0.8 [0.2, 2.0] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.6 [0.9, 2.4] 倍	1.2 [0.9, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】


項目101に
併合

<コメント>
 多変量解析では重篤な身体
的虐待との関連。情報蓄積
により、重度ネグレクトと
の関連可能性あり。

【項目ID: 2-8-12(109)】

児童に、周囲の大人に対する馴れ馴れしい態度がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	40.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	40.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	65.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.5 [1.0, 2.1] 倍	0.8 [0.2, 1.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.7 [1.1, 2.6] 倍	1.0 [0.7, 1.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】


項目101に
併合

<コメント>
 重度ネグレクトおよび重篤
な身体的虐待の並存が懸念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-9 表情・感情

【項目ID: 2-9-1(110)】

学校や園による観察または現認時において、児童の機嫌・表情がよくない

- 該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >		< 総合評価 >
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)	
主観的重篤度	65.0	60.0	0.3 [0.0, 0.9] 倍	1.7 [0.4, 3.9] 倍	【採用候補】  重篤項目の予測項目に採用検討 <コメント> 重度ネグレクトの並存が懸念。
初期調査時点 情報取得容易性	90.0	80.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致	
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	90.0	3.5 [2.3, 4.9] 倍	1.1 [0.7, 1.5] 倍	

【項目ID: 2-9-2(111)】

児童が将来に極度に悲観的

- 該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >		< 総合評価 >
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)	
主観的重篤度	63.0	60.0	1.4 [0.9, 1.9] 倍	1.1 [0.4, 2.1] 倍	【採用候補】 — 本事業作成ツール採用なし <コメント> 情報の蓄積により、重篤な身体的虐待と関連可能性あり。
初期調査時点 情報取得容易性	55.0	50.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致	
訪問調査時点 情報取得容易性	77.0	65.0	1.0 [0.6, 1.5] 倍	1.2 [0.9, 1.4] 倍	

【項目ID: 2-9-3(112)】

児童が笑わない・表情が乏しい・視線が合いにくいなどの様子が見られる

- 該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >		< 総合評価 >
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)	
主観的重篤度	55.0	60.0	1.6 [0.7, 2.7] 倍	1.6 [0.2, 4.2] 倍	【採用候補】  項目101に併合 <コメント> 重度ネグレクトの並存可能性あり。
初期調査時点 情報取得容易性	55.0	50.5	重度ネグレクト	一時保護/児相送致	
訪問調査時点 情報取得容易性	95.0	75.0	2.3 [1.1, 3.8] 倍	0.8 [0.4, 1.3] 倍	

【項目ID: 2-9-4(113)】

児童の様子から罪責感や裏切りの気持ちがうかがえる

- 該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >		< 総合評価 >
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)	
主観的重篤度	65.0	70.0	0.8 [0.5, 1.0] 倍	0.9 [0.5, 1.6] 倍	【採用候補】 — 本事業作成ツール採用なし <コメント> 重篤項目との明確な関連性は得られていない。
初期調査時点 情報取得容易性	40.0	25.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致	
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	75.0	1.0 [0.7, 1.4] 倍	1.1 [0.9, 1.3] 倍	

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-10 問題行動

【項目ID: 2-10-1(114)】

園や学校、支援者との関わりにおいて、児童の言動が乱暴

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	78.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	85.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.6 [0.9, 2.3] 倍	1.4 [0.4, 3.0] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.8 [0.3, 1.5] 倍	0.8 [0.5, 1.1] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

多変量解析では虐待再相談
と関連。情報の蓄積により、
重篤な身体的虐待との関連
可能性あり。

【項目ID: 2-10-2(115)】

児童が、自身のネガティブな感情や、希望が満たされない場面等で、暴力に訴える問題解決行動をとる

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	56.5
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	62.5	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.5 [1.0, 2.0] 倍	1.1 [0.4, 2.2] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.8 [0.5, 1.3] 倍	1.3 [1.1, 1.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

△

項目128に
内容併合

<コメント>

重篤な身体的虐待の並存可
能性あり。

【項目ID: 2-10-3(116)】

児童が、年下のきょうだい等、自分より力のないものに対して暴力を振るう

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	49.0
訪問調査時点 情報取得容易性	62.5	70.5

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.5 [0.3, 0.9] 倍	0.6 [0.1, 1.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.9 [0.5, 1.4] 倍	0.8 [0.6, 1.0] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

△

項目128に
内容併合

<コメント>

多変量解析では重篤な身体
的虐待と関連。

【項目ID: 2-10-4(117)】

児童がいじめの加害者または被害者になっている

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	62.5
初期調査時点 情報取得容易性	55.0	60.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.0 [0.5, 1.8] 倍	1.3 [0.3, 3.2] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.3 [0.6, 2.3] 倍	1.0 [0.7, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連性
は得られていない。

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-10 問題行動

【項目ID: 2-10-5(118)】

児童が園や学校で友達をいじめる、侮辱する、身体的暴力を振るう

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	95.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 倍 [0.6, 1.2]	0.5 倍 [0.2, 1.0]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.3 倍 [0.9, 1.7]	0.8 倍 [0.7, 1.0]

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連性は得られていない。

【項目ID: 2-10-6(119)】

児童が園や学校で友達をいじめる・家出・深夜徘徊の行動がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	61.5	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	74.0	53.5
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.6 倍 [1.0, 2.2]	1.5 倍 [0.5, 2.8]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.8 倍 [0.4, 1.3]	1.2 倍 [0.9, 1.5]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重篤な身体的虐待の並存が懸念。

【項目ID: 2-10-7(120)】

児童が激しい癩癪を起こしたり、噛みついたりするなど攻撃的である

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	82.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	92.5	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 倍 [0.9, 1.7]	1.3 倍 [0.5, 2.3]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.4 倍 [1.8, 3.1]	1.3 倍 [1.1, 1.5]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では虐待再相談と関連。重度ネグレクトの並存が懸念。

【項目ID: 2-10-8(121)】

児童が小動物の虐待をしている

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	72.5
初期調査時点 情報取得容易性	26.5	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 倍 [0.8, 2.2]	0.9 倍 [0.1, 2.4]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.1 倍 [1.1, 3.1]	1.3 倍 [0.9, 1.7]

< 総合評価 >

【採用候補】

△

情報取得の
困難性

<コメント>

重度ネグレクトの並存が懸念。情報蓄積により、重篤な身体的虐待との関連可能性あり。情報取得は困難。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-10 問題行動

【項目ID: 2-10-9(122)】

児童が他者と上手く関われず、些細なことでもすぐにカッとなるなど乱暴な言動が見られる

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.5	55.0
初期調査時点 情報取得容易性	67.5	68.0
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.6 [0.1, 1.4] 倍	1.5 [0.2, 4.0] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.4 [0.5, 2.6] 倍	1.1 [0.6, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では重篤な身体的虐待、虐待再相談と関連。

【項目ID: 2-10-10(123)】

児童が他者を口汚く罵る、挑発的言動がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	55.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	73.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.6 [0.4, 1.0] 倍	1.2 [0.5, 2.0] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.3 [1.7, 2.9] 倍	1.4 [1.2, 1.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
重度ネグレクトの並存可能性あり。

【項目ID: 2-10-11(124)】

児童に、「大声で喚く、反抗・抵抗する、ものを汚す・壊す」など、養育者を困らせる繰り返しあるいはエスカレートする行為がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	67.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.0 [0.3, 4.4] 倍	3.5 [0.1, 11.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
3.8 [1.1, 7.0] 倍	1.2 [0.3, 2.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

項目133を
併合して利用

<コメント>
多変量解析では重篤な身体的虐待と関連。重度ネグレクトの並存可能性あり。

【項目ID: 2-10-12(125)】

児童に、インターネットを通じた性非行や性被害、あるいはその恐れをもたらすネット依存等の状況がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	30.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.6 [0.2, 1.3] 倍	1.7 [0.4, 4.0] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.8 [0.2, 1.8] 倍	1.4 [0.9, 1.8] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連性は得られていない。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-10 問題行動

【項目ID: 2-10-5(126)】

児童に虚言・不登校・万引き・家出・飲酒・喫煙・薬物使用・援助交際等の不良行為や問題となる行動がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	77.5	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.4 倍 [0.1, 0.8]	1.8 倍 [0.6, 3.4]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.7 倍 [1.8, 3.7]	1.5 倍 [1.2, 1.8]

< 総合評価 >

【採用候補】 ○

重篤項目の予測項目に採用検討

<コメント>
 多変量解析では虐待再相談と関連。重度ネグレクト並存が懸念。

【項目ID: 2-10-6(127)】

児童に大人によって統制できない行動がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	57.5	67.5
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 倍 [0.6, 1.3]	1.1 倍 [0.4, 2.0]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.9 倍 [0.5, 1.3]	1.4 倍 [1.2, 1.6]

< 総合評価 >

【採用候補】 —

本事業作成ツール採用なし

<コメント>
 多変量解析では虐待再相談と関連。

【項目ID: 2-10-7(128)】

児童に暴力の伴う問題行動がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	67.5
初期調査時点 情報取得容易性	60.0	58.0
訪問調査時点 情報取得容易性	87.5	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.6 倍 [1.1, 2.2]	0.4 倍 [0.1, 1.2]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.1 倍 [0.6, 1.8]	1.0 倍 [0.8, 1.3]

< 総合評価 >

【採用候補】 ○

重篤項目の予測項目に採用検討

<コメント>
 多変量解析では虐待再相談と関連。重篤な身体的虐待並存が懸念。

【項目ID: 2-10-8(129)】

児童の無断外出(家出など)が複数回ある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	40.0	40.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	67.5

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 倍 [0.7, 2.2]	1.0 倍 [0.1, 2.7]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.6 倍 [0.8, 2.7]	1.8 倍 [1.4, 2.2]

< 総合評価 >

【採用候補】 —

本事業作成ツール採用なし

<コメント>
 重篤項目との明確な関連は得られていない。情報蓄積で重篤な身体的虐待およびネグレクトと関連可能性

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▶ 小区分2-11 養育者への態度

【項目ID: 2-11-1(130)】

児童が養育者に過度に従順な態度をもつ

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	65.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	55.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 [0.5, 1.4] 倍	2.1 [1.0, 3.8] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.2 [0.7, 2.0] 倍	1.3 [1.0, 1.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重度のネグレクトと関連。性的虐待(疑い含む)の並存可能性が懸念。

【項目ID: 2-11-2(131)】

児童が養育者に対して怯える・怖がる・萎縮する

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	83.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	57.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	77.5	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 [0.5, 1.3] 倍	1.3 [0.5, 2.4] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.9 [1.3, 2.6] 倍	1.2 [1.0, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

項目136を
併合して利用

<コメント>

多変量解析では重篤な身体的虐待の予測要因。

【項目ID: 2-11-3(132)】

児童が養育者に対して敬語を使う

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	15.0	40.0
訪問調査時点 情報取得容易性	40.0	50.5

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 [0.3, 3.0] 倍	1.6 [0.0, 5.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
3.6 [1.7, 5.7] 倍	1.0 [0.3, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
△

情報取得の
困難性

<コメント>

多変量解析では虐待再相談と関連。重度ネグレクトの並存が懸念。情報取得は困難。

【項目ID: 2-11-4(133)】

児童が養育者に対して挑発的な行動をとっていることが目につく

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	62.5	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	70.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 [1.0, 2.0] 倍	1.3 [0.5, 2.4] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.2 [1.5, 3.0] 倍	1.3 [1.0, 1.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
△

項目124に
併合

<コメント>

多変量解析では重篤な身体的虐待と関連。重度ネグレクトとの並存も懸念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-11 養育者への態度

【項目ID: 2-11-5(134)】

児童が養育者や周りの大人の顔色を伺い、言動に過敏に反応する

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	66.5	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 倍 [0.7, 1.8]	1.0 倍 [0.3, 2.1]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
3.0 倍 [2.2, 3.9]	1.4 倍 [1.1, 1.7]

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重篤な身体的虐待と虐待再相談の予測要因。重度ネグレクトとの並存も懸念。

【項目ID: 2-11-6(135)】

児童が養育者を過剰に支持・サポートする様子がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	62.5	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	65.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.8 倍 [0.4, 1.2]	0.7 倍 [0.1, 1.6]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.9 倍 [1.2, 2.6]	1.4 倍 [1.1, 1.6]

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重度ネグレクトの並存が懸念。

【項目ID: 2-11-7(136)】

児童が養育者を嫌がって避けようとする

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	78.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	70.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.0 倍 [0.7, 1.5]	0.5 倍 [0.1, 1.1]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.4 倍 [0.9, 2.0]	0.8 倍 [0.6, 1.0]

< 総合評価 >

【採用候補】
△

項目131に
併合

<コメント>

多変量解析では重篤な身体的虐待の子測要因。情報蓄積により、重度ネグレクトとの関連可能性あり。

【項目ID: 2-11-8(137)】

児童と養育者の視線がほとんど合わない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	62.5	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	18.0	26.5
訪問調査時点 情報取得容易性	60.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.6 倍 [0.2, 1.1]	0.3 倍 [0.0, 1.3]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.6 倍 [0.8, 2.4]	0.8 倍 [0.5, 1.1]

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連性は得られていない。情報蓄積により、重度ネグレクトとの関連可能性あり。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▶ 小区分2-12 その他

【項目ID: 2-12-1(138)】

(高校生以上の児童において)児童がアルバイト代を家に入れさせられている

該当
非該当
不明

<評定値(中央値)>

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	52.5	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	15.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	70.0	50.0

<該当時リスク比>

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.4 [0.0, 1.3] 倍	1.3 [0.0, 4.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
3.8 [1.6, 5.3] 倍	1.7 [1.0, 2.3] 倍

<総合評価>

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
重度ネグレクトの並存が懸念。初期調査では情報取得困難。

【項目ID: 2-12-2(139)】

虐待被害が疑われるのが、第一子ではない児童である(実子に限らず他に兄や姉がいる)

該当
非該当
不明

<評定値(中央値)>

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	90.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	80.0

<該当時リスク比>

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.3 [0.0, 1.1] 倍	1.1 [0.0, 3.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.2 [0.2, 2.7] 倍	1.5 [0.9, 2.1] 倍

<総合評価>

【採用候補】
-

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連性は得られていない。

【項目ID: 2-12-3(140)】

児童が「暴力を振るわれるのは自分が悪いからだ」という認識を持っている

該当
非該当
不明

<評定値(中央値)>

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	62.5	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	26.5	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	61.5

<該当時リスク比>

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 [1.1, 1.7] 倍	1.1 [0.6, 1.7] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.0 [1.5, 2.4] 倍	1.2 [1.0, 1.3] 倍

<総合評価>

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では虐待再相談と関連。重度ネグレクトと身体的虐待の並存可能性。初期情報取得困難。

【項目ID: 2-12-4(141)】

児童が過去に、繰り返し心理的な暴力を受けていた

該当
非該当
不明

<評定値(中央値)>

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	62.5	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	45.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	77.5	70.0

<該当時リスク比>

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.9 [1.9, 4.0] 倍	1.1 [0.1, 2.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.2 [0.0, 0.7] 倍	1.6 [1.2, 2.0] 倍

<総合評価>

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では特定条件下を含めた重篤な身体的虐待、虐待再相談と関連。

大区分2. 児童所見に関する項目情報

▷ 小区分2-12 その他

【項目ID: 2-12-5(142)】

児童が学校等、どこにも所属していない

- 該当
- 非該当
- 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	67.5	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	94.5	90.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0

< 該當時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.8 <small>[0.4, 1.2] 倍</small>	1.2 <small>[0.3, 2.5] 倍</small>
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.4 <small>[0.8, 2.2] 倍</small>	1.2 <small>[0.9, 1.5] 倍</small>

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連は得られていない。情報蓄積により、重度ネグレクトとの関連可能性あり。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠
出産等

きょうだい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-1 育児負担・不安・能力の低下

【項目ID: 3-1-1(143)】

過去1年間の間に、養育者に精神的な問題による養育の困難が生じている

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	70.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.6 [1.1, 2.2] 倍	0.9 [0.2, 1.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.7 [0.3, 1.2] 倍	1.3 [1.1, 1.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



項目145
意味的類似
併合

<コメント>

多変量解析では虐待再相談と関連。重篤な身体的虐待の並存可能性あり。

【項目ID: 3-1-2(144)】

養育者が、児童の保護・救済を求めている

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	84.0	82.5
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	40.0
訪問調査時点 情報取得容易性	89.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 [0.6, 1.7] 倍	1.1 [0.3, 2.5] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.2 [1.4, 3.1] 倍	0.9 [0.7, 1.2] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では虐待再相談と関連。重度ネグレクトの並存が懸念。児童相談所が情報取得に優れる。

【項目ID: 3-1-3(145)】

養育者が、精神的な問題から適切な育児ができない状態が継続している

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	74.5	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.8 [0.3, 1.6] 倍	3.7 [1.4, 6.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.3 [0.5, 2.5] 倍	2.1 [1.6, 2.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



項目143、
項目151を
併合利用

<コメント>

多変量解析では重度ネグレクトの予測要因。性的虐待(疑い含む)の並存可能性が懸念。

【項目ID: 3-1-4(146)】

養育者が仕事での過度なストレスを抱えている

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	24.0	30.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 [0.7, 2.1] 倍	1.3 [0.3, 3.0] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.4 [0.7, 2.3] 倍	1.3 [0.9, 1.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重篤な身体的虐待の予測要因。初期段階での情報取得は困難。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-1 育児負担・不安・能力の低下

【項目ID: 3-1-5(147)】

養育者が児童の育てにくさを感じている

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	68.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	85.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.1 [0.0, 0.4] 倍	2.9 [1.2, 5.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.3 [0.6, 2.2] 倍	1.1 [0.8, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重篤な身体的虐待との関連。性的虐待の並存が懸念。

【項目ID: 3-1-6(148)】

養育者に、育児・養育への強い不安がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	48.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.0 [0.4, 1.8] 倍	0.5 [0.0, 1.8] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.5 [0.7, 2.5] 倍	1.3 [0.9, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重篤な身体的虐待と虐待再相談と関連。

【項目ID: 3-1-7(149)】

養育者にエネルギーが無く、自律的な行動や判断が取れない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	70.5
初期調査時点 情報取得容易性	56.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 [0.3, 2.4] 倍	1.0 [0.0, 3.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
3.4 [1.7, 5.2] 倍	0.7 [0.3, 1.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



項目152に
併合

<コメント>

重度ネグレクトとの並存が懸念。

【項目ID: 3-1-8(150)】

養育者に育児ノイローゼ・子育ての過度な負担がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	68.5	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.5	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.8 [0.4, 1.3] 倍	1.8 [0.7, 3.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.2 [0.6, 2.0] 倍	0.9 [0.6, 1.2] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連性は得られていない。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-1 育児負担・不安・能力の低下

【項目ID: 3-1-9(151)】

養育者に入院・加療が必要な精神状態(衝動性が高く極めて不安定な状態など)があり、育児・養育ができる状態ではない

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	85.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.5 [1.0, 2.2] 倍	1.4 [0.4, 2.8] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.3 [1.5, 3.2] 倍	1.3 [1.0, 1.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



項目145へ
併合

<コメント>

重度ネグレクトおよび重篤な身体的虐待との並存が懸念。

【項目ID: 3-1-10(152)】

養育者に判断力の著しい減退がある

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	30.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	55.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 [0.3, 1.6] 倍	1.0 [0.1, 2.8] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.3 [1.3, 3.5] 倍	1.2 [0.8, 1.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



項目149を
併合

<コメント>

多変量解析では虐待再相談と関連。重度ネグレクトとの並存が懸念。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-2 援助希求・差し迫る危険

【項目ID: 3-2-1(153)】

養育者から、「このままでは何をするかわからない」「児童を殺してしまいたいそう」などの自己制御困難に関する訴えがある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

児童相談所

市区町村

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待

性的虐待(疑い含)

—

—

重度ネグレクト

一時保護/児相送致

—

—

< 総合評価 >

【採用候補】

重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>

調査手続き上の不備により、リスク比情報欠損。該当自体で高い重篤性認識。

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	85.0	90.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	85.0	75.0

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠
出産等

きょうだい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-3虐待に関する認識・態度

【項目ID: 3-3-1(154)】

虐待行為が明らかであるにもかかわらず、養育者に虐待の認識や自覚、問題意識がない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	40.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 [0.5, 1.8] 倍	0.7 [0.1, 1.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.3 [0.6, 2.1] 倍	1.1 [0.7, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連性は得られていない。

【項目ID: 3-3-2(155)】

虐待行為の可能性が高いと判断されるにもかかわらず、養育者が虐待を否定する・認めない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	90.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	40.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 [1.0, 1.6] 倍	1.4 [0.8, 2.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.5 [1.1, 1.9] 倍	0.9 [0.7, 1.0] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>
多変量解析では重度ネグレクトとの関連。重篤な身体的虐待との並存も懸念。該当自体で高い重篤性認識。

【項目ID: 3-3-3(156)】

虐待者が、虐待行為を正当化している

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	85.0	82.5
初期調査時点 情報取得容易性	27.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	83.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.9 [0.9, 3.1] 倍	3.5 [1.0, 7.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.5 [0.5, 2.9] 倍	1.2 [0.7, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
性的虐待の並存可能性あり。初期時点での情報取得困難。

【項目ID: 3-3-4(157)】

虐待者以外の大人がいるが、虐待者に同調または黙認している

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	27.5
訪問調査時点 情報取得容易性	70.0	70.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 [0.7, 1.7] 倍	1.1 [0.3, 2.4] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 [1.1, 2.7] 倍	1.0 [0.8, 1.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
△

項目158に
併合

<コメント>
多変量解析では重度ネグレクトの予測要因。初期時点での情報取得困難。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-3 虐待に関する認識・態度

【項目ID: 3-3-5(158)】

虐待者以外の養育者に虐待の認識がない、または虐待者側の立場をとる

- 該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.7 倍 [0.2, 4.1]	3.0 倍 [0.1, 9.9]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
5.6 倍 [2.7, 8.2]	1.8 倍 [0.8, 2.6]

< 総合評価 >

【採用候補】

項目157を併合して利用

<コメント>
 多変量解析では特定条件下で性的虐待(疑い含む)の予測に関連。重度ネグレクトの並存が懸念。

【項目ID: 3-3-6(159)】

児童の事故に対する養育者の責任感が薄い

- 該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	60.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.6 倍 [0.4, 1.0]	1.4 倍 [0.6, 2.6]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 倍 [1.2, 2.4]	1.2 倍 [1.0, 1.4]

< 総合評価 >

【採用候補】

重篤項目の予測項目に採用検討

<コメント>
 重度ネグレクトとの並存可能性が懸念。

【項目ID: 3-3-7(160)】

祖父母やきょうだい、同居人や自宅に出入りする第三者の虐待行為を黙認・放置する

- 該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	85.0
初期調査時点 情報取得容易性	37.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	70.0	66.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.0 倍 [0.7, 1.4]	0.5 倍 [0.1, 1.1]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 倍 [1.3, 2.4]	1.0 倍 [0.8, 1.2]

< 総合評価 >

【採用候補】

重篤項目の予測項目に採用検討

<コメント>
 多変量解析では虐待再相談と関連。重度ネグレクトとの並存が懸念。

【項目ID: 3-3-8(161)】

非虐待者に、虐待者をかばう行為が見られる

- 該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 倍 [0.8, 2.1]	3.1 倍 [1.4, 5.5]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.2 倍 [0.6, 2.1]	0.9 倍 [0.6, 1.3]

< 総合評価 >

【採用候補】

重篤項目の予測項目に採用検討

<コメント>
 性的虐待(疑い含む)の並存可能性が懸念。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-3虐待に関する認識・態度

【項目ID: 3-3-9(162)】

養育者が虐待行為を隠蔽しようとする

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	83.5	87.5
初期調査時点 情報取得容易性	37.5	37.5
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 [0.3, 1.8] 倍	0.6 [0.0, 2.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.1 [0.4, 2.2] 倍	1.0 [0.6, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連は
得られていない。

【項目ID: 3-3-10(163)】

養育者が児童の創傷/癒痕(古傷)について説明できない/説明しようとししない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	72.5	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	46.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	70.5

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.0 [0.3, 4.4] 倍	3.6 [0.1, 11.5] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
5.2 [2.1, 7.9] 倍	1.2 [0.3, 2.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
重度ネグレクトとの並存が
懸念。

【項目ID: 3-3-11(164)】

養育者が児童の不健全な状態について、その原因や責任を児童や他者に転嫁する

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.7 [0.6, 3.2] 倍	2.5 [0.3, 6.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 [0.5, 3.6] 倍	1.2 [0.6, 1.8] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
多変量解析では虐待再相談
と関連。

【項目ID: 3-3-12(165)】

養育者による(虐待行為等に関する)児童への口止めが疑われる

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	82.5	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	72.5	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.6 [1.1, 2.2] 倍	1.0 [0.3, 2.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.2 [0.7, 1.8] 倍	0.9 [0.7, 1.2] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では重篤な身体
的虐待の予測要因。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-3 虐待に関する認識・態度

【項目ID: 3-3-13(166)】

養育者の被害者意識が強い(加害行為から焦点がずれる)

- 該当
- 非該当
- 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	65.5
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該當時リスク比 >	
重度身体的虐待	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 2.3 <small>[0.1, 5.9] 倍</small> </div>
性的虐待(疑い含)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 8.2 <small>[0.3, 20.9] 倍</small> </div>
重度ネグレクト	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 3.0 <small>[0.1, 7.5] 倍</small> </div>
一時保護/児相送致	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 1.0 <small>[0.0, 2.4] 倍</small> </div>

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連性は得られていない。

- 虐待行為
- 児童所見
- 養育者所見
- 家族構成
- 世帯情報
- 家族関係
- 社会関係
- 養育環境
- 転居変化
- 親子分離
- 初期情報
- 妊娠出産等
- きょうだい
- その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-4 支援の受け入れ・関係機関への態度

【項目ID: 3-4-1(167)】

いずれの支援機関・関係機関も、養育者と連絡を取ることができない(養育者が連絡を取らない)

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	77.5	81.0
初期調査時点 情報取得容易性	76.0	70.0
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.6 [0.6, 2.9] 倍	3.4 [0.7, 7.6] 倍
2.9 [1.3, 4.8] 倍	1.5 [0.9, 2.1] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
重度ネグレクトの並存が
懸念。

【項目ID: 3-4-2(168)】

インターフォンを押しても出てこないなど、養育者や児童への接触が困難

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	71.0
初期調査時点 情報取得容易性	82.5	62.5
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.7 [0.6, 3.1] 倍	7.1 [3.0, 12.4] 倍
0.8 [0.1, 2.2] 倍	1.2 [0.7, 1.9] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
性的虐待(疑い含む)の並存
が懸念。

【項目ID: 3-4-3(169)】

関係機関による援助に対して、拒否や否定はしないが利用には至らない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	56.0	55.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.4 [0.0, 0.9] 倍	1.3 [0.2, 3.4] 倍
3.0 [1.8, 4.4] 倍	1.0 [0.6, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
△

項目177に
併合

<コメント>
多変量解析では重度のネグ
レクトの予測要因。

【項目ID: 3-4-4(170)】

関係機関による支援・指導があっても、養育者の対応に変化がない・変化が見込まれない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区村
主観的重篤度	70.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	70.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	62.5	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.7 [0.2, 1.6] 倍	4.3 [1.5, 8.4] 倍
1.9 [0.7, 3.3] 倍	1.8 [1.3, 2.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では重度ネグ
レクトの予測要因。虐待再相
談と関連。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-4 支援の受け入れ・関係機関への態度

【項目ID: 3-3-5(171)】

関係機関等の調査時など、養育者にその場逃れな態度が見られる

- 該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	66.0
初期調査時点 情報取得容易性	40.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 倍 [0.0, 3.0]	3.1 倍 [0.1, 10.4]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
3.4 倍 [0.9, 6.4]	1.5 倍 [0.5, 2.4]

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連は得られていない。情報の蓄積により、重度ネグレクトとの関連可能性。

【項目ID: 3-3-6(172)】

虐待の疑われる事象に対する養育者の説明が不自然に論理的・説明的、あるいは不自然に冷静

- 該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	77.5
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	77.5	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 倍 [0.8, 1.7]	1.4 倍 [0.6, 2.5]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.6 倍 [0.3, 1.0]	1.3 倍 [1.1, 1.6]

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤な項目との関連性は明確に得られていない。

【項目ID: 3-3-7(173)】

虐待行為が疑われる事柄に対して、養育者が説明する内容や証言に疑念が残る

- 該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	30.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	65.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.9 倍 [1.2, 2.7]	0.8 倍 [0.1, 2.2]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.1 倍 [0.5, 2.0]	1.0 倍 [0.6, 1.3]

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では重度のネグレクト予測要因。重篤な身体的虐待との並存が懸念。

【項目ID: 3-3-8(174)】

虐待通告を受けて養育者が傷ついている・プレッシャーを感じる様子がある

- 該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	54.0
初期調査時点 情報取得容易性	27.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	73.5

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.1 倍 [1.0, 3.3]	4.7 倍 [1.6, 8.8]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.7 倍 [1.3, 4.3]	1.2 倍 [0.7, 1.7]

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では重度ネグレクトの予測要因。各種重篤項目との並存可能性あり。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-4 支援の受け入れ・関係機関への態度

【項目ID: 3-4-9(175)】

支援者に対して、養育者がたくさんの要求をしてくる

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	60.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	70.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 [0.4, 2.7] 倍	1.2 [0.0, 4.4] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.4 [0.3, 3.0] 倍	0.9 [0.4, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
 本事業
 作成ツール
 採用なし

○

<コメント>
 明確な重篤項目との関連は
 得られていない。

【項目ID: 3-4-10(176)】

支援者に対する養育者の態度や、支援への意欲が頻繁に変わる、あるいは一貫しない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	68.5
初期調査時点 情報取得容易性	55.0	30.5
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 [0.5, 1.5] 倍	0.7 [0.1, 1.8] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
3.0 [2.0, 4.0] 倍	1.2 [0.9, 1.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
 重篤項目の
 予測項目に
 採用検討

○

<コメント>
 多変量解析では虐待再相談
 と関連。重度ネグレクトと
 の並存が懸念。

【項目ID: 3-4-11(177)】

児童に虐待による外傷や養育上の問題があるにも拘らず、支援機関等の利用/援助に否定的・消極的

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.6 [0.6, 2.9] 倍	0.9 [0.0, 3.4] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
3.5 [1.9, 5.1] 倍	1.2 [0.7, 1.8] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
 項目169、
 項目180、
 項目195を
 併合して利用

○

<コメント>
 重度ネグレクトの並存が懸
 念。

【項目ID: 3-4-12(178)】

正当な理由なく、養育者が援助者と児童との面会を拒否する

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	45.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	85.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.1 [0.8, 3.7] 倍	1.4 [0.0, 5.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
4.3 [2.2, 6.4] 倍	1.4 [0.7, 0.2] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
 重篤項目の
 予測項目に
 採用検討

○

<コメント>
 多変量解析では重度ネグ
 レクトの予測要因。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-4 支援の受け入れ・関係機関への態度

【項目ID: 3-4-13(179)】

養育者が、学校等を含む関係機関からの指示や要望を守らない・適切に対応しない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	67.5	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	60.0	65.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.9 倍 [0.7, 3.4]	2.7 倍 [0.4, 7.2]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.5 倍 [0.3, 3.3]	1.1 倍 [0.5, 1.8]

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
多変量解析では特定条件下
を含め、虐待再相談と関連。

【項目ID: 3-4-14(180)】

養育者が、関係機関による援助の申し出やサービス利用に関心を示さない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	58.5	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	77.5	80.5

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 倍 [0.4, 2.2]	0.8 倍 [0.0, 2.8]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
4.1 倍 [2.6, 5.7]	0.8 倍 [0.4, 1.3]

< 総合評価 >

【採用候補】
△

項目177へ
併合

<コメント>
多変量解析では重度ネグ
レクトの関連要因。重度ネグ
レクトの並存が懸念。

【項目ID: 3-4-15(181)】

養育者が、関係機関による援助の申し出やサービス利用の推奨を被害的に受け取る

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	67.5	53.0
初期調査時点 情報取得容易性	52.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	82.5	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.2 倍 [1.1, 3.6]	4.0 倍 [1.1, 8.3]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.1 倍 [0.2, 2.5]	1.3 倍 [0.8, 1.8]

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
性的虐待(疑い含む)、重篤
な身体的虐待との並存が懸
念。

【項目ID: 3-4-16(182)】

養育者が、現状解決されていない養育上の課題に対する解決方法を求めている

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	39.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 倍 [0.0, 3.6]	8.3 倍 [1.3, 17.9]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
3.0 倍 [0.5, 6.5]	1.4 倍 [0.4, 2.5]

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
性的虐待の並存が懸念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-4 支援の受け入れ・関係機関への態度

【項目ID: 3-4-17(183)】

養育者が、場面や相手となる関係機関によって支援者への態度を変える

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	62.5
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.5 [0.1, 1.1] 倍	1.1 [0.1, 3.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.6 [0.7, 2.7] 倍	0.6 [0.3, 1.0] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤な項目との明確な関連性は得られていない。

【項目ID: 3-4-18(184)】

養育者が、正当な理由なく来所要請や家庭訪問、調査に応じない

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	77.5
初期調査時点 情報取得容易性	30.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	97.5	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.4 [0.0, 1.4] 倍	2.8 [0.4, 7.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.5 [0.9, 4.5] 倍	0.8 [0.3, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤な項目との明確な関連性は得られていない。データ蓄積により、重度ネグレクトとの関連可能性。

【項目ID: 3-4-19(185)】

養育者が、正当な理由なく来所要請や家庭訪問を先延ばしにしようとする

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	67.5	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	70.0	71.5
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	88.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 [0.3, 3.0] 倍	1.6 [0.0, 5.5] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 [0.4, 3.8] 倍	1.4 [0.7, 2.1] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連性は得られていない。

【項目ID: 3-4-20(186)】

養育者から園や学校への不自然な連絡や、園や学校を欠席する際に無連絡だったことがある

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	65.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.9 [0.9, 3.2] 倍	4.3 [1.4, 8.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.9 [0.2, 2.2] 倍	1.1 [0.6, 1.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では重度ネグレクト・虐待再相談と関連。性的虐待の並存可能性懸念。情報蓄積により重度身体的虐待と関連可能性

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-4 支援の受け入れ・関係機関への態度

【項目ID: 3-4-21(187)】

養育者が医療に対して否定的な考えを示す、または、適切な治療を回避する

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	77.5	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	57.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.0 [0.3, 4.5] 倍	7.1 [1.0, 16.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
6.4 [3.2, 8.8] 倍	1.6 [0.6, 2.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では虐待再相談
と関連。性的虐待およびネ
グレクトとの並存懸念。

【項目ID: 3-4-22(188)】

養育者が園や学校の職員との接触または連絡を避ける傾向にある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	80.0	65.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 [0.4, 2.0] 倍	5.2 [2.3, 8.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.1 [0.4, 2.2] 倍	1.3 [0.9, 1.8] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重度ネグ
レクトとの関連要因。性的虐
待(疑い含む)の並存が懸念。

【項目ID: 3-4-23(189)】

養育者が関係機関の支援者に対して拒否的または面従腹背的態度(表向きは協力的だが実際には改善に向けた行動しない)をとる

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	61.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.8 [0.5, 5.6] 倍	5.0 [0.2, 14.8] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 [0.1, 5.2] 倍	2.3 [1.1, 2.9] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

多変量解析では虐待再相談
と関連。

【項目ID: 3-4-24(190)】

養育者が関係機関の支援者に対して攻撃的な言動や暴力を振るう

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	72.5	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	62.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
3.9 [2.4, 5.3] 倍	1.2 [0.0, 4.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.3 [0.3, 3.0] 倍	1.5 [0.8, 2.1] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重度ネグ
レクト、虐待再相談と関連。
重篤な身体的虐待との並存
が懸念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-4 支援の受け入れ・関係機関への態度

【項目ID: 3-4-25(191)】

養育者と、児童の安全を目的とした話し合いができない(調査の目的や意図が理解できない、協力が得られない)

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	32.0	45.0
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.8 [0.1, 2.1] 倍	5.9 [1.9, 11.6] 倍
2.7 [1.0, 4.7] 倍	2.1 [1.4, 2.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
性的虐待(疑い含む)および
重度ネグレクトの並存が懸念。

【項目ID: 3-4-26(192)】

養育者に、学校などへの一方的な非難や脅迫行為がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	63.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	70.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 [0.3, 2.6] 倍	8.4 [3.6, 14.3] 倍
0.5 [0.0, 1.7] 倍	1.8 [1.1, 2.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では重篤な身体的虐待、虐待再相談と関連。
性的虐待(疑い含む)の並存が懸念。

【項目ID: 3-4-27(193)】

養育者の言動に嘘が多い・疑われる

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	30.0
訪問調査時点 情報取得容易性	60.0	70.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.6 [0.1, 1.4] 倍	0.7 [0.0, 2.8] 倍
2.4 [1.2, 3.8] 倍	0.9 [0.5, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では特定条件下を含めた重度ネグレクトと虐待再相談と関連。

【項目ID: 3-4-28(194)】

養育者の支援者に対する要求が多い

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	42.5
初期調査時点 情報取得容易性	51.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.3 [0.4, 5.1] 倍	4.2 [0.1, 13.0] 倍
4.5 [1.1, 7.7] 倍	1.4 [0.4, 2.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
重度ネグレクトとの並存が懸念。

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-4 支援の受け入れ・関係機関への態度

【項目ID: 3-4-29(195)】

養育上の課題がある現状に対して、養育者の改善意欲がない

- 該当
- 非該当
- 不明

< 評定値 (中央値) >

児童相談所 市区町村

主観的重篤度	65.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	74.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 [0.1, 2.7] 倍	3.8 [0.5, 9.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
4.2 [2.0, 6.5] 倍	1.1 [0.5, 1.9] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



項目177へ
併合して利用

<コメント>

多変量解析では虐待再相談
と関連。重度ネグレクトの
並存可能性が懸念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-5 児童への態度

【項目ID: 3-5-1(196)】

(乳幼児の場合)児童への声かけが不自然、児童への関わり方が極端な自己流

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	47.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	70.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.0 [0.4, 1.6] 倍	2.6 [1.0, 4.8] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.4 [0.7, 2.3] 倍	1.3 [0.9, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
性的虐待の並存可能性が懸念。

【項目ID: 3-5-2(197)】

児童が泣いても養育者があやさない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	77.5	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	37.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.2 [1.2, 3.4] 倍	0.8 [0.0, 2.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.7 [0.7, 3.0] 倍	1.3 [0.8, 1.8] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
重篤な身体的虐待の並存が懸念。

【項目ID: 3-5-3(198)】

児童に対して極端に可愛がったり突き放したりなど、養育者の態度に一貫性がない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	30.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 [0.5, 2.2] 倍	2.2 [0.5, 5.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.8 [0.2, 1.8] 倍	0.9 [0.5, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
-

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連は得られていない。

【項目ID: 3-5-4(199)】

児童に対する養育者の過剰な期待がうかがわれる

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	54.5
初期調査時点 情報取得容易性	30.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	84.5	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.0 [0.4, 1.9] 倍	1.8 [0.4, 4.2] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.9 [0.9, 3.2] 倍	1.5 [1.1, 1.9] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
-

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤な項目との明確な関連性は得られていない。

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-5 児童への態度

【項目ID: 3-5-5(200)】

養育者が、児童に対して権威的・支配的に振る舞う

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	60.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	60.0	66.5

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.7 [0.1, 1.9] 倍	2.6 [0.3, 6.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.9 [0.1, 2.5] 倍	1.1 [0.5, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—
本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤な項目との関連性は得られていない。

【項目ID: 3-5-6(201)】

養育者が、年齢不相応に、身の自立を児童自身に任せている

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	37.5	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	57.5

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
3.5 [1.6, 5.4] 倍	5.0 [0.6, 12.4] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
3.6 [1.2, 6.3] 倍	1.2 [0.4, 2.0] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○
本事業
作成ツール
採用検討

<コメント>
多変量解析では重度ネグレクトと関連。重篤な身体的虐待および重度ネグレクトとの並存が懸念。

【項目ID: 3-5-7(202)】

養育者が児童とのコミュニケーション(意思の疎通)に難しさを抱えている

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.7 [0.7, 2.9] 倍	2.0 [0.2, 5.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.4 [0.4, 2.8] 倍	0.7 [0.3, 1.2] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—
本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
多変量解析では虐待再相談と関連。

【項目ID: 3-5-8(203)】

養育者が児童に依存しており、いつも一緒にいないと不安になる

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	55.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.7 [0.2, 1.3] 倍	0.9 [0.1, 2.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.2 [0.5, 2.1] 倍	1.6 [1.2, 2.0] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—
本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
多変量解析では虐待再相談と関連。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-5 児童への態度

【項目ID: 3-5-9(204)】

養育者が児童に対して無関心・冷淡な態度をとる

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	70.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.8 [0.3, 1.4] 倍	1.8 [0.5, 4.0] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.2 [0.5, 2.0] 倍	0.7 [0.4, 1.1] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

多変量解析では虐待再相談
と関連。

【項目ID: 3-5-10(205)】

養育者が児童の言動の全てに関与したがる

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.8 [0.2, 1.7] 倍	5.6 [2.2, 9.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.7 [0.1, 1.7] 倍	1.7 [1.2, 2.2] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

性的虐待(疑い含む)との並
存可能性が懸念。

【項目ID: 3-5-11(206)】

養育者が児童の存在を拒否・否定している

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	76.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.7 [0.9, 2.6] 倍	1.9 [0.5, 4.0] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.7 [0.2, 1.4] 倍	1.1 [0.7, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連性
は得られていない。情報蓄
積により、重篤な身体的虐
待との関連可能性あり。

【項目ID: 3-5-12(207)】

養育者が児童を絶え間なく叱る・罵る

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	38.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	72.5

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.9 [1.2, 2.8] 倍	0.9 [0.1, 2.5] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.5 [0.1, 1.2] 倍	1.4 [1.1, 1.8] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
△

項目208へ
併合

<コメント>

多変量解析では重篤な身体
的虐待および虐待再相談と
関連。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-5 児童への態度

【項目ID: 3-5-13(208)】

養育者が児童を怒鳴るように叱責することが日常化している

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	62.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 倍 [0.3, 1.7]	1.9 倍 [0.4, 4.4]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.1 倍 [1.0, 3.4]	1.3 倍 [0.9, 1.8]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

項目207を併合して利用

<コメント>

多変量解析では虐待再相談と関連。重度ネグレクトの並存が懸念。

【項目ID: 3-5-14(209)】

養育者が児童を無視したり、拒否的態度を示す

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	40.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	60.0	61.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 倍 [0.7, 2.2]	0.9 倍 [0.1, 2.5]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.5 倍 [0.1, 1.2]	1.4 倍 [1.0, 1.8]

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業作成ツール採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連性は得られていない。

【項目ID: 3-5-15(210)】

養育者に、パートナーへの怒りを児童に向ける様子がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	72.5	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	41.0
訪問調査時点 情報取得容易性	70.0	62.5

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 倍 [0.4, 2.1]	3.1 倍 [0.8, 6.6]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.5 倍 [1.3, 4.0]	1.6 倍 [1.0, 2.0]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の予測項目に採用検討

<コメント>

多変量解析では虐待再相談と関連。重度ネグレクトの並存が懸念。

【項目ID: 3-5-16(211)】

養育者に、児童に対する言葉での強い威嚇、辱め、非難、無視または拒絶的態度がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	42.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	71.5

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.6 倍 [0.7, 2.7]	0.8 倍 [0.0, 2.9]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
3.2 倍 [1.3, 4.0]	0.8 倍 [0.4, 1.3]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の予測項目に採用検討

<コメント>

多変量解析では虐待再相談および重篤な身体的虐待と関連。重度ネグレクトの並存が懸念。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-5 児童への態度

【項目ID: 3-5-17(212)】

養育者に、児童に対する嫉妬がある(「パートナーへの愛情を独占された」など)

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	55.0	65.0
初期調査時点 情報取得容易性	30.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 [0.6, 2.1] 倍	0.5 [0.0, 1.8] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.1 [0.4, 2.1] 倍	1.0 [0.6, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との関連性は明確に得られていない。

【項目ID: 3-5-18(213)】

養育者のしつけに過剰性、厳格性が感じられる

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	61.0	65.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	77.5	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 [0.4, 2.2] 倍	2.4 [0.5, 5.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.0 [0.9, 3.5] 倍	1.2 [0.7, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
△

利用文脈上の
意味的整合性
に課題

<コメント>
多変量解析では重篤な身体的虐待および虐待再相談と関連。情報蓄積により重度ネグレクトと関連可能性

【項目ID: 3-5-19(214)】

養育者の児童に対する言動のほとんどが否定的

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	65.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.5	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 [0.4, 2.1] 倍	1.4 [0.2, 3.7] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.2 [0.4, 2.4] 倍	1.3 [0.9, 1.8] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連性は得られていない。

【項目ID: 3-5-20(215)】

養育者の養育態度が監視的・干渉的である

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	59.0	62.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	40.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	70.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 [0.5, 1.9] 倍	1.1 [0.1, 2.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.8 [0.2, 1.7] 倍	1.1 [0.7, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では重篤な身体的虐待との関連要因。

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-6 障がい・精神症状・身体化

【項目ID: 3-6-1(216)】

家庭に慢性的なうつ病等の精神疾患、または自殺の危険者がいる

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	72.5

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.8 倍 [0.9, 3.0]	2.9 倍 [0.9, 6.0]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.8 倍 [0.2, 1.8]	1.4 倍 [0.9, 1.9]

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連は得られていない。情報の蓄積で重篤な身体的虐待・性的虐待と関連可能性。

【項目ID: 3-6-2(217)】

養育者が服薬の自己管理ができないなど、不安定な状態

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	32.5	45.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 倍 [0.5, 1.3]	0.9 倍 [0.3, 2.0]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.5 倍 [0.9, 2.2]	0.9 倍 [0.7, 1.2]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重度ネグレクトの予測要因。

【項目ID: 3-6-3(218)】

養育者にアルコール依存の診断または疑いがある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	62.5	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	49.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	70.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 倍 [0.7, 1.6]	1.0 倍 [0.4, 1.9]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.5 倍 [1.0, 2.1]	1.3 倍 [1.1, 1.6]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重度ネグレクトの関連要因。

【項目ID: 3-6-4(219)】

養育者に何らかの精神疾患がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	70.0
訪問調査時点 情報取得容易性	82.5	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 倍 [0.7, 2.2]	0.6 倍 [0.0, 2.1]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 倍 [0.8, 3.0]	1.2 倍 [0.8, 1.7]

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤な項目との明確な関連性は得られていない。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-6 障がい・精神症状・身体化

【項目ID: 3-6-5(220)】
養育者に自傷行為がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	70.0	85.0	1.7 [0.2, 3.9] 倍	3.1 [0.1, 10.3] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	39.0	50.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	67.5	50.0	2.2 [0.3, 5.2] 倍	1.5 [0.5, 2.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤な項目との明確な関連性は得られていない。情報蓄積により、関連性が懸念。

【項目ID: 3-6-6(221)】
養育者に精神科の通院歴・既往歴がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	62.5	60.0	1.5 [0.4, 3.0] 倍	1.3 [0.0, 4.7] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	71.0	2.8 [1.2, 4.8] 倍	2.0 [1.4, 2.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
重度ネグレクトとの並存が懸念。

【項目ID: 3-6-7(222)】
養育者に知的障害がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	60.0	70.0	1.2 [0.8, 1.8] 倍	1.5 [0.6, 2.7] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	80.0	1.0 [0.5, 1.6] 倍	1.0 [0.8, 1.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤な項目とは明確な関連性が得られていない。

【項目ID: 3-6-8(223)】
養育者に発達障害(疑い含む)がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	60.0	60.0	1.7 [1.3, 2.2] 倍	0.9 [0.4, 1.7] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	40.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	74.0	0.7 [0.5, 1.0] 倍	1.1 [0.9, 1.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
重篤な身体的虐待との並存が懸念。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-6 障がい・精神症状・身体化

【項目ID: 3-6-9(224)】

養育者に物質(薬物)乱用/物質(薬物)依存がある、疑われる、またはその既往歴がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	32.5
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	62.5

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 倍 [0.5, 2.2]	1.3 倍 [0.2, 3.6]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.4 倍 [0.6, 2.5]	1.1 倍 [0.9, 1.3]

< 総合評価 >

【採用候補】
 ー

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
 重篤な項目との明確な関連性は得られていない。情報の蓄積により、各種重篤項目と関連可能性あり

【項目ID: 3-6-10(225)】

養育者に慢性的な身体疾患/身体障害がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	59.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	80.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.7 倍 [1.2, 2.3]	0.6 倍 [0.1, 1.6]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.9 倍 [0.4, 1.4]	1.3 倍 [0.7, 1.6]

< 総合評価 >

【採用候補】
 ○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 重篤な身体的虐待の並存が懸念。

【項目ID: 3-6-11(226)】

養育者に妄想や幻聴幻視、躁状態がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	77.5	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	41.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	74.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 倍 [1.0, 1.8]	0.4 倍 [0.1, 1.1]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 倍 [1.3, 2.4]	1.5 倍 [1.1, 1.6]

< 総合評価 >

【採用候補】
 ○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 重篤な身体的虐待およびネグレクトの並存が懸念。

【項目ID: 3-6-12(227)】

養育者の自殺企図・親子心中の未遂・ほのめかし(死にたい/殺したい)がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	82.5	90.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	67.5	57.5

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.4 倍 [1.6, 3.3]	2.0 倍 [0.7, 4.0]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.4 倍 [0.1, 1.0]	1.9 倍 [1.2, 1.7]

< 総合評価 >

【採用候補】
重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>
 該当自体で高い重篤性認識。重篤な身体的虐待の並存可能性あり。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-6 障がい・精神症状・身体化

【項目ID: 3-6-13(228)】

養育者の無力感・うつ状態が認められる

□該当
□非該当
□不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	70.0	75.0	2.1 [1.2, 3.1] 倍	1.1 [0.1, 3.1] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0	1.2 [0.5, 2.3] 倍	1.0 [0.6, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重度ネグレクトとの関連要因。重篤な身体的虐待の並存可能性が懸念。

【項目ID: 3-6-14(229)】

養育者や家庭内同居者にギャンブル依存・買い物依存がある

□該当
□非該当
□不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	60.0	56.0	1.7 [1.3, 2.1] 倍	0.7 [0.3, 1.3] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	25.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	52.0	1.0 [0.6, 1.4] 倍	1.5 [1.3, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重篤な身体的虐待との並存可能性が懸念。

【項目ID: 3-6-15(230)】

養育者が、過去のパートナーと離れた時や、現在のパートナーとの離婚・別居等が話し合われた時に、自傷行為や暴力など極端な行動を示したことがある

□該当
□非該当
□不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	75.0	70.0	0.6 [0.1, 1.5] 倍	1.0 [0.0, 3.5] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	25.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0	2.9 [1.4, 4.6] 倍	1.0 [0.5, 1.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
△

情報取得の
困難性

<コメント>

重篤なネグレクト並存の可能性が懸念。情報取得は大半の事例で困難。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-7 身だしなみ・風貌

【項目ID: 3-7-1(231)】

養育者の身なりが整っていない・衛生的ではない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

児童相談所 市区町村

主観的重篤度	40.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	70.5
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	85.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待 性的虐待(疑い含)

1.7 [0.7, 2.9] 倍	0.9 [0.0, 3.0] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.9 [0.2, 2.1] 倍	1.5 [1.0, 2.0] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では特定条件下
を含めた重度ネグレクトの
関連要因。虐待再相談とも
関連。

【項目ID: 3-7-2(232)】

養育者は、児童とは対照的に、整った服装をしている

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

児童相談所 市区町村

主観的重篤度	50.0	56.5
初期調査時点 情報取得容易性	72.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待 性的虐待(疑い含)

0.8 [0.5, 1.1] 倍	1.1 [0.5, 1.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.2 [0.8, 1.7] 倍	0.9 [0.7, 1.1] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連性
は得られていない。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-8 性格・気質

【項目ID: 3-8-1(233)】

養育者が自身の怒りをコントロールできない・キレやすい

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	75.5
初期調査時点 情報取得容易性	60.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.9 [1.1, 2.9] 倍	0.6 [0.0, 2.2] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.9 [0.3, 1.9] 倍	1.6 [1.2, 2.0] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では虐待再相談
と関連。重篤な身体的虐待
の並存が懸念。

【項目ID: 3-8-2(234)】

養育者が情緒的・社会的に未成熟

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	68.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	53.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 [0.7, 2.0] 倍	1.5 [0.4, 3.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.7 [0.2, 1.4] 倍	1.4 [1.1, 1.8] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

多変量解析では虐待再相談
と関連。

【項目ID: 3-8-3(235)】

養育者が他者と安定した人間関係を持ちにくい

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	82.5	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	65.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.1 [1.1, 3.3] 倍	3.0 [0.9, 6.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.4 [0.5, 2.6] 倍	1.5 [1.0, 2.0] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では虐待再相談
と関連。重篤な身体的虐待
の並存が懸念。

【項目ID: 3-8-4(236)】

養育者が突発的な出来事に適切な対処ができない(パニックを起こす場合を含む)

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	37.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	57.5

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.9 [1.3, 2.5] 倍	0.5 [0.1, 1.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.2 [0.6, 1.8] 倍	1.0 [0.7, 1.2] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重篤な身体的虐待の並存が
懸念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-8 性格・気質

【項目ID: 3-8-5(237)】

養育者に、自己中心的または思い込みの激しい態度が見受けられる

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.5 倍 [0.4, 2.9]	1.3 倍 [0.0, 4.5]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.9 倍 [0.6, 3.7]	1.7 倍 [1.0, 2.3]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では特定条件下
を含めた重度のネグレクト、
重篤な身体的虐待の予測要
因。

【項目ID: 3-8-6(238)】

養育者に他者への不信がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	40.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	45.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 倍 [0.9, 1.9]	0.4 倍 [0.1, 1.2]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.2 倍 [0.7, 1.9]	1.4 倍 [1.1, 1.7]

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連は
得られていない。

【項目ID: 3-8-7(239)】

養育者の自己評価が低い

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	70.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 倍 [0.6, 2.3]	1.2 倍 [0.1, 3.3]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.9 倍 [0.2, 1.8]	1.1 倍 [0.7, 1.6]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重篤なネグ
レクトとの関連要因。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-9 生育歴・学歴

【項目ID: 3-9-1(240)】
養育者が中卒・高校中退の最終学歴

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	25.0	42.5	1.2 [0.0, 3.7] 倍	4.1 [0.1, 13.3] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	25.0	1.5 [0.0, 4.5] 倍	1.5 [0.4, 2.5] 倍
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0		

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
多変量解析では虐待再相談
と関連。

【項目ID: 3-9-2(241)】
養育者に被虐待歴・愛されなかった思い・厳しいしつけを受けてきた等の過去がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	72.5	75.0	1.7 [1.2, 2.3] 倍	1.1 [0.4, 2.2] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	25.0	1.5 [1.0, 2.2] 倍	1.3 [1.1, 1.6] 倍
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0		

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では重篤な身体的
虐待との関連。重度ネグ
レクトの並存も懸念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-10 生活態度

【項目ID: 3-10-1(242)】

児童に必要な養育よりも大人の都合(夜遊びなど)が優先される

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.0 倍 [1.4, 2.7]	1.1 倍 [0.3, 2.3]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.9 倍 [0.4, 1.5]	1.4 倍 [1.1, 1.7]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

項目246を併合して利用

<コメント>

多変量解析では重度ネグレクト、虐待再相談と関連。重篤な身体的虐待の並存が懸念。

【項目ID: 3-10-2(243)】

児童のニーズよりも養育者のニーズが過度に優先される

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	67.5
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	29.0
訪問調査時点 情報取得容易性	70.0	51.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.0 倍 [0.4, 1.9]	2.4 倍 [0.7, 5.1]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.5 倍 [0.6, 2.7]	0.6 倍 [0.3, 1.0]

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

多変量解析では特定条件下を含めた虐待再相談と関連。初期調査では大半の事例で情報取得困難。

【項目ID: 3-10-3(244)】

養育者に、生活空間での児童に配慮のない喫煙がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	40.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	62.5	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.0 倍 [1.3, 2.9]	0.8 倍 [0.1, 2.2]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.5 倍 [0.7, 2.4]	1.4 倍 [1.0, 1.7]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重篤な身体的虐待との並存が懸念。初期調査では大半の事例で情報取得困難。

【項目ID: 3-10-4(245)】

養育者に、昼夜逆転などの生活リズムの乱れがある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	32.0
訪問調査時点 情報取得容易性	65.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 倍 [0.2, 3.4]	2.5 倍 [0.1, 8.5]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.9 倍 [0.0, 3.1]	0.9 倍 [0.2, 1.8]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重度ネグレクトとの関連。初期調査では大半の事例で情報取得困難。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-10 生活態度

【項目ID: 3-10-5(246)】

養育者の生活上の関心が、児童ではなく自分中心にある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	62.5	70.0	2.0 [1.4, 2.6] 倍	1.6 [0.7, 3.0] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	25.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	55.0	75.0	1.1 [0.6, 1.7] 倍	1.2 [0.9, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



項目242に
併合

<コメント>

多変量解析では特定条件下を含め、重度ネグレクトと関連。重篤な身体的虐待の並存が懸念。

【項目ID: 3-10-6(247)】

養育者は、アルコールが入ると適切な養育ができない（暴力的になる場合を含む）

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	70.0	80.0	1.4 [0.6, 2.4] 倍	2.4 [0.5, 5.4] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	68.0	2.3 [1.1, 3.9] 倍	1.8 [1.3, 2.2] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重篤なネグレクトの並存可能性が懸念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-11 教育・価値観

【項目ID: 3-11-1(248)】

体罰容認など、養育者が暴力を是認する価値観を持っている

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	32.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.0 [1.0, 3.2] 倍	5.4 [2.2, 9.7] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.0 [0.2, 2.1] 倍	1.3 [0.8, 1.9] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 多変量解析では虐待再相談
と関連。重篤な身体的虐待
と性的虐待の並存が懸念。

【項目ID: 3-11-2(249)】

養育者が、児童を完璧に育てなければというプレッシャーを持っている

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	63.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	30.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
5.2 [1.9, 7.0] 倍	6.1 [0.2, 18.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
4.5 [0.8, 8.2] 倍	1.5 [0.3, 2.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 重篤な身体的虐待の並存可
能性が懸念。初期段階での
情報取得は基本的に困難。

【項目ID: 3-11-3(250)】

養育者に、家族内の男女の役割に関するステレオタイプ(固定観念)がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	70.0	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.6 [1.7, 3.7] 倍	3.8 [1.6, 6.8] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.6 [0.1, 1.4] 倍	2.2 [1.9, 2.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 重篤な身体的虐待および性
的虐待の並存が懸念。初期
段階での情報取得は基本的
に困難。

【項目ID: 3-11-4(251)】

養育者に、特異的と感じられる育児観や強迫観念に基づく子育てが認められ
る

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	64.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
3.5 [1.3, 5.7] 倍	9.3 [2.5, 17.7] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.1 [0.0, 3.7] 倍	1.5 [0.5, 2.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 重篤な身体的虐待および性
的虐待の並存が懸念。初期
段階での情報取得は基本的
に困難。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-11 教育価値観

【項目ID: 3-11-5(252)】

養育者の倫理観や道徳観が世間一般とかけ離れている

- 該当
- 非該当
- 不明

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	67.5	70.0	0.5 [0.2, 0.9] 倍	1.4 [0.5, 2.9] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	45.0	50.0	1.0 [0.5, 1.7] 倍	1.0 [0.7, 1.3] 倍
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0		

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

多変量解析では虐待再相談と関連。

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-12 養育能力・知識・意思

【項目ID: 3-12-1(253)】

育児・養育に必要な知識を持っていない・知ろうとしない

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.8 倍 [1.2, 2.4]	1.4 倍 [0.5, 2.6]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.9 倍 [1.3, 2.7]	1.3 倍 [1.0, 1.6]

< 総合評価 >

【採用候補】 ○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 多変量解析では虐待再相談
と関連。重篤な身体的虐待
と重度ネグレクトの並存が
懸念。

【項目ID: 3-12-2(254)】

関係機関の支援者が支援概要等を説明しても、養育者から話の要領を得た受け答えが得られない

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	40.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	67.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	72.5	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.7 倍 [0.2, 1.3]	1.0 倍 [0.1, 2.6]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.6 倍 [0.8, 2.6]	1.0 倍 [0.6, 1.4]

< 総合評価 >

【採用候補】 ○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 多変量解析では特定条件下
を含めた重度ネグレクト、
虐待再相談と関連。

【項目ID: 3-12-3(255)】

主たる養育者が、授乳や入浴などの基本的な育児ケアができない

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	70.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 倍 [0.4, 1.5]	3.7 倍 [1.8, 6.3]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.5 倍 [0.8, 2.3]	1.2 倍 [0.8, 1.5]

< 総合評価 >

【採用候補】 △

項目264に
併合

<コメント>
 性的虐待(疑い含む)との並
存が懸念。情報蓄積により、
重度ネグレクトとの関連可
能性。

【項目ID: 3-12-4(256)】

同じ質問を何度も繰り返すなど、養育者の理解力の不足がある、または知的に低い印象がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	56.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.5 倍 [1.0, 1.9]	1.0 倍 [0.4, 1.8]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.3 倍 [0.8, 1.8]	1.2 倍 [0.9, 1.4]

< 総合評価 >

【採用候補】 ○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 重篤な身体的虐待との並存
が懸念。情報蓄積により、
重度ネグレクトとの関連可
能性。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-12 養育能力・知識・意思

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

【項目ID: 3-12-5(257)】
保健師や市区町村等の支援がなければ養育者は継続的に適切な養育ができない

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	78.0
初期調査時点 情報取得容易性	60.0	55.0
訪問調査時点 情報取得容易性	77.5	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.2 [1.4, 3.2] 倍	2.5 [0.8, 4.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.6 [0.8, 2.7] 倍	1.5 [1.1, 1.9] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では虐待再相談、
重度ネグレクトと関連。重
篤な身体的虐待の並存も懸
念。

【項目ID: 3-12-6(258)】
養育者が、児童に対する態度を改善する意欲が乏しい

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	55.0	68.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	37.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	70.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.5 [0.0, 1.8] 倍	1.9 [0.1, 6.5] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
3.5 [1.4, 5.8] 倍	0.9 [0.3, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
△

利用文脈上
意図が漠然

<コメント>
多変量解析では特定条件下
を含めた重度ネグレクト、
虐待再相談と関連。

【項目ID: 3-12-7(259)】
養育者が、児童のニーズに気が付けていない・対応できない

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	55.0	57.5
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	45.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.5 [1.0, 2.0] 倍	1.0 [0.4, 2.0] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.3 [0.9, 1.9] 倍	1.1 [0.9, 1.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では特定条件下
を含めた重度ネグレクト、
重篤な身体的虐待と関連。

【項目ID: 3-12-8(260)】
養育者が児童の食事・衣服・学習用品など、必要な生活環境を整えていない

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	85.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.6 [1.0, 2.4] 倍	2.2 [0.8, 4.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.0 [0.5, 1.8] 倍	1.3 [0.9, 1.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では重度ネグ
レクトおよび虐待再相談と関
連。重篤な身体的虐待の並
存も懸念。

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-12 養育能力・知識・意思

【項目ID: 3-12-9(261)】

養育者が児童の養育(医療的対応含む)に関して拒否的、「世話をしたくない」等の訴えがある

- 該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	77.5	89.0
初期調査時点 情報取得容易性	30.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 [0.8, 1.9] 倍	1.6 [0.6, 2.9] 倍
2.2 [1.5, 3.0] 倍	1.2 [0.9, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】


項目262に併合

<コメント>
 多変量解析では重度のネグレクトおよび虐待再相談と関連。

【項目ID: 3-12-10(262)】

養育者が児童の養育(医療的対応含む)に関して無関心

- 該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	67.5	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 [0.9, 1.9] 倍	1.3 [0.5, 2.5] 倍
1.4 [0.8, 2.0] 倍	1.2 [0.9, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】


項目261を併合して利用

<コメント>
 多変量解析では重度のネグレクトおよび虐待再相談と関連。情報蓄積で重篤な身体的虐待と関連可能性

【項目ID: 3-12-11(263)】

養育者が説明を受けても障害受容や児童の特性を理解する姿勢がない

- 該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	40.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	72.5

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 [0.9, 1.9] 倍	1.5 [0.6, 2.7] 倍
1.4 [0.9, 2.1] 倍	1.2 [0.9, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】


重篤項目の予測項目に採用検討

<コメント>
 多変量解析では虐待再相談、重篤な身体的虐待と関連。情報蓄積で重度ネグレクトと関連可能性

【項目ID: 3-12-12(264)】

養育者に、育児に関する知識や技術の不足がうかがわれる

- 該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	54.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.6 [1.6, 3.7] 倍	1.7 [0.4, 4.2] 倍
1.0 [0.3, 2.1] 倍	1.9 [1.5, 2.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】


項目255を併合して利用

<コメント>
 多変量解析では重度のネグレクトおよび虐待再相談と関連。重篤な身体的虐待の並存可能性が懸念。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-12 養育能力・知識・意思

【項目ID: 3-12-13(265)】

養育者に、児童の食事や生活習慣等への極端なこだわりや偏った知識がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	57.5	55.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	72.0	60.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 [0.7, 2.4] 倍	0.6 [0.0, 2.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.4 [0.5, 2.5] 倍	1.1 [0.7, 1.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】


重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 多変量解析では重篤な身体的虐待、重度ネグレクト、虐待再相談と関連。

【項目ID: 3-12-14(266)】

養育者のうち少なくとも1人以上が、育児・養育を行う気が全くない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	70.5
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	62.5	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.0 [0.7, 1.3] 倍	1.3 [0.7, 2.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.3 [0.2, 0.6] 倍	1.3 [1.1, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】


重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 多変量解析では重度ネグレクトと関連。

【項目ID: 3-12-15(267)】

養育者の児童に対する(特に心身の痛みに対する)共感性が乏しい

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	67.5
初期調査時点 情報取得容易性	60.0	35.0
訪問調査時点 情報取得容易性	72.5	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 [0.8, 1.8] 倍	2.0 [0.9, 3.4] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.2 [0.7, 1.9] 倍	0.9 [0.7, 1.2] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】


重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 多変量解析では重度ネグレクトおよび虐待再相談と関連。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分3. 養育者所見に関する項目情報

▷ 小区分3-13 その他

【項目ID: 3-13-1(268)】

養育者が日本語を母国語としていない

- 該当
- 非該当
- 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	30.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	86.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0

< 該當時リスク比 >	
重度身体的虐待	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 1.3 <small>[0.8, 1.8] 倍</small> </div>
性的虐待(疑い含)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 0.5 <small>[0.1, 1.3] 倍</small> </div>
重度ネグレクト	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 0.7 <small>[0.3, 1.2] 倍</small> </div>
一時保護/児相送致	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 0.7 <small>[0.5, 1.0] 倍</small> </div>

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連は
得られていない。

- 虐待行為
- 児童所見
- 養育者所見
- 家族構成
- 世帯情報
- 家族関係
- 社会関係
- 養育環境
- 転居変化
- 親子分離
- 初期情報
- 妊娠出産等
- きょうだい
- その他

大区分4. 家族構成に関する項目情報

▷ 小区分4-1 家族構成

【項目ID: 4-1-1(269)】
子連れの再婚家庭・ステップファミリー

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	37.5	55.0	0.8 [0.4, 1.5] 倍	3.6 [1.6, 6.2] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	82.5	75.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	99.0	3.2 [2.1, 4.4] 倍	1.3 [1.0, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
性的虐待(疑い含む)および
重度ネグレクトの並存が懸
念。

【項目ID: 4-1-2(270)】
児童の両親のどちらも、または、どちらかがいない/いなかった

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	60.0	52.5	0.6 [0.2, 1.1] 倍	2.1 [0.7, 4.2] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	82.0	1.5 [0.8, 2.5] 倍	0.9 [0.6, 1.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
-

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連性
は得られていない。

【項目ID: 4-1-3(271)】
世帯に3人以上の児童がいる

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	20.0	50.0	0.7 [0.2, 1.3] 倍	0.8 [0.1, 2.2] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	97.5	100.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0	2.8 [1.8, 3.9] 倍	1.2 [0.8, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

項目272を
併合して利用

<コメント>
多変量解析では**重度ネグ
レクト**と関連。

【項目ID: 4-1-4(272)】
世帯における最年少の児童が2歳未満である

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	57.5	50.0	0.9 [0.1, 2.4] 倍	3.3 [0.5, 8.4] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0	2.4 [0.8, 4.6] 倍	1.2 [0.5, 1.9] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
△

項目271に
併合

<コメント>
多変量解析では**重度ネグ
レクト**と関連。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分4. 家族構成に関する項目情報

▷ 小区分4-1 家族構成

【項目ID: 4-1-5(273)】

夫婦が内縁関係にある(同居しているが結婚していない)

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

児童相談所 市区町村

主観的重篤度	50.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	59.0
訪問調査時点 情報取得容易性	95.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	0.7 [0.2, 1.4] 倍	性的虐待(疑い含)	2.0 [0.5, 4.3] 倍
重度ネグレクト	2.6 [1.5, 3.9] 倍	一時保護/児相送致	1.4 [1.0, 1.8] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重度ネグレクトおよび虐待再相談と関連。

【項目ID: 4-1-6(274)】

夫婦間(内縁関係含む)で10歳以上の年齢差がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

児童相談所 市区町村

主観的重篤度	50.0	35.0
初期調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	1.3 [0.5, 2.3] 倍	性的虐待(疑い含)	1.5 [0.2, 3.9] 倍
重度ネグレクト	2.2 [1.0, 3.6] 倍	一時保護/児相送致	0.4 [0.1, 0.8] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重度ネグレクトとの並存が懸念。

【項目ID: 4-1-7(275)】

未婚を含むひとり親家庭

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

児童相談所 市区町村

主観的重篤度	62.5	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	90.0	100.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	1.3 [0.4, 2.5] 倍	性的虐待(疑い含)	1.1 [0.0, 4.1] 倍
重度ネグレクト	2.5 [1.0, 4.2] 倍	一時保護/児相送致	1.6 [1.0, 2.2] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重度ネグレクトと関連。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分4. 家族構成に関する項目情報

▶ 小区分4-2 家族歴・犯罪歴

【項目ID: 4-2-1(276)】

同居または結婚後に、養育者の別居または家出歴がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 [0.0, 3.6] 倍	4.1 [0.1, 13.0] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.5 [0.1, 4.5] 倍	1.0 [0.1, 2.1] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



情報取得の
困難性

<コメント>

多変量解析では重篤な身体的虐待と関連。

【項目ID: 4-2-2(277)】

家庭内に犯罪歴のある大人が同居している/服役中の大人がいる(いた)

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	58.5	61.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.7 [0.3, 1.2] 倍	1.2 [0.3, 2.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.6 [0.8, 2.6] 倍	1.3 [1.0, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤な項目との明確な関連性は得られていない。情報蓄積により、重度ネグレクトとの関連可能性。

【項目ID: 4-2-3(278)】

養育者が、過去のパートナーを含めてDVの加害者だった経過がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	30.5	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	56.5	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 [0.1, 2.3] 倍	1.6 [0.0, 5.5] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
4.0 [1.8, 6.2] 倍	1.6 [0.9, 2.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重度ネグレクトの並存可能性が懸念。

【項目ID: 4-2-4(279)】

養育者が複数回変わっている(離婚・再婚を含む)

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	62.5	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	55.0
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.4 [0.2, 0.8] 倍	0.8 [0.2, 1.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.4 [0.8, 2.1] 倍	1.1 [0.8, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連性は得られていない。

大区分4. 家族構成に関する項目情報

▷ 小区分4-2家族歴・犯罪歴

【項目ID: 4-2-5(280)】

養育者の失踪・離婚・死亡(自殺含む)がある

- 該当
- 非該当
- 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	62.5
初期調査時点 情報取得容易性	74.5	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.3 <small>[0.9, 4.1] 倍</small>	1.6 <small>[0.0, 5.5] 倍</small>
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 <small>[0.4, 3.8] 倍</small>	1.6 <small>[0.8, 2.2] 倍</small>

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

多変量解析では虐待再相談
と関連。

- 虐待行為
- 児童所見
- 養育者所見
- 家族構成
- 世帯情報
- 家族関係
- 社会関係
- 養育環境
- 転居変化
- 親子分離
- 初期情報
- 妊娠出産等
- きょうだい
- その他

大区分4. 家族構成に関する項目情報

▷ 小区分4-3 外部の大人の出入り

【項目ID: 4-3-1(281)】

虐待者と別居しているが、交流がある/出入りが見込まれる

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	30.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	70.0	65.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
-	-
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
-	-

< 総合評価 >

【採用候補】

-

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

調査実施時の手続きの不備によりリスク比の算出不可。

【項目ID: 4-3-2(282)】

世帯内に、登録のない大人の出入り/居住がうかがわれる(母子世帯に成人男性の洗濯物が干されているなど)

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	30.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.8 [0.5, 5.6] 倍	9.9 [1.9, 20.0] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 [0.1, 5.3] 倍	1.7 [0.6, 2.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重度ネグレクトと関連。性的虐待の並存が懸念。情報蓄積で重篤な身体的虐待と関連可能性。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分5. 世帯情報に関する項目情報

▷ 小区分5-1 居所情報

【項目ID: 5-1-1(283)】
児童および養育者の居所が不明

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >		児童相談所	市区町村
主観的重篤度	90.0	90.0	90.0
初期調査時点 情報取得容易性	65.0	67.5	67.5
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >		重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.9 倍	1.0 倍	[1.2, 2.6]	[0.2, 2.4]
2.3 倍	1.0 倍	[1.4, 3.2]	[0.7, 1.4]

< 総合評価 >

【採用候補】
重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>
該当自体で高い重篤性認識。
重篤な身体的虐待と重度ネ
グレクトの並存が懸念。

【項目ID: 5-1-2(284)】
児童が実際に生活している場所と、住所が異なる

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >		児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	60.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	72.5	72.5
訪問調査時点 情報取得容易性	95.0	100.0	100.0

< 該当時リスク比 >		重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.3 倍	8.2 倍	[0.1, 5.9]	[0.3, 20.6]
6.0 倍	1.9 倍	[1.5, 9.0]	[0.4, 2.9]

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
重度ネグレクトの並存可能
性。

【項目ID: 5-1-3(285)】
住所不定・外国籍残留資格なし・不法入国

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >		児童相談所	市区町村
主観的重篤度	62.5	75.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	40.0	75.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	87.5	90.0	90.0

< 該当時リスク比 >		重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 倍	1.6 倍	[0.6, 2.4]	[0.2, 4.2]
2.0 倍	1.6 倍	[0.9, 3.5]	[1.1, 2.1]

< 総合評価 >

【採用候補】
-

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤な項目との目描く関
連性は認められない。

【項目ID: 5-1-4(286)】
住所不定・放浪・車上生活

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >		児童相談所	市区町村
主観的重篤度	74.5	80.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	97.5	82.5	82.5

< 該当時リスク比 >		重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.0 倍	0.9 倍	[0.7, 1.3]	[0.4, 1.8]
1.7 倍	1.3 倍	[1.2, 2.3]	[1.1, 1.5]

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
重度ネグレクト並存の懸念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分5. 世帯情報に関する項目情報

▷ 小区分5-1 居所情報

【項目ID: 5-1-1(287)】
住所不定となった過去がある

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	70.0	74.0	1.0 [0.6, 1.6] 倍	0.8 [0.2, 1.9] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0	0.6 [0.2, 1.1] 倍	0.8 [0.6, 1.1] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤な項目との明確な関連
は得られていない。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分5. 世帯情報に関する項目情報

▷ 小区分5-2 経済不安

【項目ID: 5-2-1(288)】

いずれかの養育者に、(就労が望まれていても)働く意思がない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	52.5	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	37.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	68.5

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.7 倍 [0.0, 2.2]	2.5 倍 [0.1, 8.5]
3.6 倍 [1.2, 6.3]	1.7 倍 [0.9, 2.5]

< 総合評価 >

【採用候補】

△

項目294に
併合

<コメント>

多変量解析では虐待再相談
と関連。重度ネグレクトの
並存が懸念。

【項目ID: 5-2-2(289)】

過去1年間の間に、養育者が望まない失職を経験している

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	47.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	30.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	70.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
3.5 倍 [0.6, 6.3]	6.2 倍 [0.3, 17.1]
4.5 倍 [0.8, 8.2]	1.4 倍 [0.3, 2.6]

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連性
は得られていない。

【項目ID: 5-2-3(290)】

健康保険の未加入(無保険状態)

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	69.5	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	82.5
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 倍 [0.5, 2.5]	3.2 倍 [0.9, 6.7]
0.6 倍 [0.1, 1.6]	1.1 倍 [0.7, 1.6]

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤な項目との明確な関連
性は得られていない。

【項目ID: 5-2-4(291)】

世帯(同居人含む)に多額の借金がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	55.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	60.0	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 倍 [0.0, 3.6]	4.1 倍 [0.1, 12.9]
4.5 倍 [1.3, 7.8]	1.9 倍 [0.8, 2.8]

< 総合評価 >

【採用候補】

△

項目294に
併合

<コメント>

重度ネグレクトの並存が懸
念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分5. 世帯情報に関する項目情報

▷ 小区分5-2 経済不安

【項目ID: 5-2-5(292)】

世帯が生活困窮状態にある(その日の生活に困る)

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	95.0	63.5
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	57.0
訪問調査時点 情報取得容易性	85.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.5 [0.1, 1.1] 倍	1.7 [0.4, 4.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.3 [1.2, 3.5] 倍	1.4 [0.9, 1.8] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>

多変量解析では重度のネグレクトと関連。該当自体で高い重篤性認識。

【項目ID: 5-2-6(293)】

世帯に医療費の未払いがある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	60.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 [0.1, 2.6] 倍	1.9 [0.1, 6.4] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
3.5 [1.3, 5.9] 倍	2.0 [1.3, 2.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
△

項目294に
併合

<コメント>

重度ネグレクトの並存が懸念。

【項目ID: 5-2-7(294)】

世帯に労働による所得者がいない/不安定な収入により生活が安定しない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	65.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.7 [0.3, 1.2] 倍	0.7 [0.1, 1.8] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.0 [1.2, 3.0] 倍	0.8 [0.5, 1.1] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

項目288、
項目291、
項目293、
項目297、
項目356を
併合して利用

<コメント>

重度ネグレクトの並存が懸念。

【項目ID: 5-2-8(295)】

電気・水道等のライフラインが停止している、または、停止することが頻繁に生じている

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	87.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	60.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 [0.8, 1.6] 倍	1.4 [0.7, 2.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.1 [0.7, 1.5] 倍	1.1 [0.9, 1.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤な項目との関連は明確に得られていない。

大区分5. 世帯情報に関する項目情報

▷ 小区分5-2 経済不安

【項目ID: 5-2-9(296)】

不安定な世帯収入または生活保護の受給がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	80.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	80.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 [0.6, 2.3] 倍	0.7 [0.0, 2.4] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.7 [0.7, 3.0] 倍	1.4 [0.9, 1.9] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
多変量解析では虐待再相談
と関連。

【項目ID: 5-1-10(297)】

養育者(生計者)の失業や転職が繰り返されている

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	55.5
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	72.5

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.0 [0.6, 1.4] 倍	1.6 [0.8, 2.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.6 [1.1, 2.2] 倍	1.5 [1.2, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
△

項目294に
併合

<コメント>
重度ネグレクトの並存が懸
念。

▷ 小区分5-3 その他

【項目ID: 5-3-1(298)】

世帯が、経済状況や夫婦間葛藤など、複数の問題を同時に抱えている

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	65.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.8 [0.4, 1.3] 倍	0.5 [0.1, 1.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.0 [0.6, 1.7] 倍	0.4 [0.3, 0.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連は
得られていない。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分6. 家族関係に関する項目情報

▷ 小区分6-1 家族関係

【項目ID: 6-1-1(299)】

家族と一緒に食事を取る習慣がない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	25.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 [0.8, 2.2] 倍	0.8 [0.1, 2.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.1 [0.5, 2.0] 倍	1.1 [0.8, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



情報取得の
困難性

<コメント>

多変量解析では重度ネグレクトの子測要因。

【項目ID: 6-1-2(300)】

家族内で、ある養育者によって一方的に定められたルールや、それを約束させる念書がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	66.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 [0.1, 2.7] 倍	3.9 [0.5, 10.2] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.1 [0.5, 4.4] 倍	1.6 [0.8, 2.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



情報取得の
困難性

<コメント>

多変量解析では重篤な身体的虐待と関連。

【項目ID: 6-1-3(301)】

家族内で、養育者が別の養育者の行動を監視する(スマートフォンの内容監視や尾行など)

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	55.0
初期調査時点 情報取得容易性	10.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.3 [0.1, 5.7] 倍	8.2 [0.3, 21.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
3.0 [0.1, 7.5] 倍	1.1 [0.0, 2.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤な項目との明確な関連は得られていない。

【項目ID: 6-1-4(302)】

過去1年間の間に、養育者間(内縁関係の大人も含め)に顕著な対立や葛藤があった

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	30.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.0 [0.5, 1.5] 倍	1.2 [0.4, 2.5] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.7 [1.1, 2.4] 倍	1.2 [0.9, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重度ネグレクトの並存が懸念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分3. 家族関係に関する項目情報

▷ 小区分6-1 家族関係

【項目ID: 6-1-5(303)】

世帯に、世間一般とはかけ離れた、異常な家庭内ルールがある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	63.0	72.5

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.3 [0.0, 0.8] 倍	1.0 [0.1, 2.8] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.5 [0.7, 2.5] 倍	1.1 [0.7, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連は
得られていない。

【項目ID: 6-1-6(304)】

同居人に、児童の情緒的な逃げ場となる人(心理的な安全性を守る)がいない

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	55.0	71.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	42.5
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.6 [0.1, 1.3] 倍	0.6 [0.0, 2.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.4 [0.7, 2.5] 倍	1.0 [0.6, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
多変量解析では特定条件下
を含めた虐待再相談と関連。

【項目ID: 6-1-7(305)】

非虐待加害者の立場が虐待加害者より低い、または、対等な意見が言えない

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	63.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 [0.8, 2.0] 倍	1.6 [0.6, 3.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.6 [1.8, 3.5] 倍	1.5 [1.2, 1.8] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
重度ネグレクトの並存が懸
念。

【項目ID: 6-1-8(306)】

養育者が、児童の養育に並行して親族の介護を行なっている

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	52.5	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.6 [0.3, 1.1] 倍	1.1 [0.4, 2.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.5 [1.0, 2.3] 倍	1.0 [0.7, 1.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では重篤な身体
的虐待の予測要因。重度ネ
グレクトとの並存が懸念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分6. 家族関係に関する項目情報

▷ 小区分6-1 家族関係

【項目ID: 6-1-9(307)】

養育者が、別の家庭内養育者のことを「私がいないとパートナーはダメになる・私が支えなければならぬ」「私の他にパートナーを相手にする人はいない」などと表現する

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	55.0	66.5
初期調査時点 情報取得容易性	37.5	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	72.5	59.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 [0.0, 2.8] 倍	3.1 [0.1, 9.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
3.4 [0.8, 6.5] 倍	0.7 [0.0, 1.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

明確な重篤項目との関連性は得られていない。

【項目ID: 6-1-10(308)】

養育者がパートナーとの離婚や別居を望んでいる

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	40.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	60.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 [0.4, 2.2] 倍	0.8 [0.0, 2.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 [0.7, 3.2] 倍	1.1 [0.6, 1.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

明確な重篤項目との関連性は得られていない。

【項目ID: 6-1-11(309)】

養育者がパートナーのやることや言うことに恐れを感じる様子がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.5 [0.0, 1.8] 倍	1.9 [0.0, 6.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.0 [0.5, 4.3] 倍	1.3 [0.6, 2.1] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

明確な重篤項目との関連性は得られていない。

【項目ID: 6-1-12(310)】

養育者が夫婦不平等の家庭内対人ストレスを抱えている

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	57.5	32.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 [0.8, 2.2] 倍	0.4 [0.0, 1.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 [1.0, 2.8] 倍	1.1 [0.8, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重度ネグレクトの並存が懸念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分6. 家族関係に関する項目情報

▷ 小区分6-1 家族関係

【項目ID: 6-1-13(311)】

養育者の不在時に知人や内縁関係者が児童を監護する状況が日常化している

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	30.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
3.5 [0.7, 6.3] 倍	6.2 [0.2, 17.2] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.2 [0.1, 6.2] 倍	2.2 [0.9, 2.9] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連は
得られていない。

【項目ID: 6-1-14(312)】

養育者や児童が、別の養育者に対して「殺されるかもしれない」「何を
かわからない」等の確信めいた不安や恐れを訴える

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	100.0	90.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.3 [0.0, 1.0] 倍	3.7 [1.1, 7.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.3 [1.0, 3.9] 倍	1.2 [0.7, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>
項目該当自体で重篤性認識。
重度ネグレクトとの並存可
能性が指摘。

【項目ID: 6-1-15(313)】

養育者間で、話し合いによる問題解決に困難がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	62.5	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	55.0	70.5

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.0 [0.5, 1.7] 倍	0.9 [0.1, 2.4] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.4 [1.5, 3.5] 倍	1.4 [1.0, 1.8] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では虐待再相談
と関連。重度ネグレクト並
存が懸念。

【項目ID: 6-1-16(314)】

養育者間に、心理的・言語的な強迫に基づく支配関係がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	35.0
訪問調査時点 情報取得容易性	62.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.6 [0.3, 1.1] 倍	0.6 [0.1, 1.5] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.6 [0.2, 1.2] 倍	0.9 [0.6, 1.2] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
明確な重篤項目との関連は
得られていない。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分6. 家族関係に関する項目情報

▷ 小区分6-1 家族関係

【項目ID: 6-1-17(315)】

養育者間に、暴力によって相手を服従・コントロールしている関係性がある

□該当
□非該当
□不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	73.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	55.0

< 該当時リスク比 >

重篤身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 [0.3, 1.7] 倍	1.0 [0.1, 2.8] 倍
重篤ネグレクト	一時保護/児相送致
1.0 [0.3, 1.9] 倍	1.6 [1.2, 2.0] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
多変量解析では虐待再相談
と関連。

【項目ID: 6-1-18(316)】

養育者間に過度な依存的関係がある

□該当
□非該当
□不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	63.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	70.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重篤身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.8 [0.9, 2.9] 倍	1.6 [0.2, 4.2] 倍
重篤ネグレクト	一時保護/児相送致
0.9 [0.2, 2.0] 倍	1.7 [1.2, 2.2] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連は
得られていない。情報の蓄
積により、重篤な身体的虐
待との関連可能性

【項目ID: 6-1-19(317)】

養育者等世帯内の大人が、「家族に殺されるかもしれない」という恐怖を訴える

□該当
□非該当
□不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	90.0
初期調査時点 情報取得容易性	45.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	65.0

< 該当時リスク比 >

重篤身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.9 [1.2, 2.7] 倍	2.5 [1.0, 4.4] 倍
重篤ネグレクト	一時保護/児相送致
1.2 [0.6, 1.9] 倍	2.0 [1.6, 2.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>
該当自体で高い重篤性認
識。重篤な身体的虐待や性
的虐待の並存が懸念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分7. 社会サポート・社会関係に関する項目情報

▷ 小区分7-1 介入の困難

【項目ID: 7-1-1(318)】

関係機関の支援/介入が失敗または効果が得られなかった経過が過去にある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	60.0	62.5
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 倍 [0.5, 2.0]	0.7 倍 [0.0, 2.4]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.1 倍 [1.1, 3.5]	0.8 倍 [0.4, 1.2]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では特定条件下
を含めた虐待再相談と関
連。重度ネグレクトの並存
が懸念。

【項目ID: 7-1-2(319)】

支援にあたっての養育者との関係構築が困難

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	74.5

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 倍 [0.3, 1.5]	0.9 倍 [0.1, 2.3]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.0 倍 [0.4, 1.8]	2.0 倍 [1.7, 2.4]

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連性
は得られていない。

【項目ID: 7-1-3(320)】

親族内に援助や介入の窓口になりそうなキーパーソンがいない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	63.5	65.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	77.5	70.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.7 倍 [0.1, 1.7]	1.7 倍 [0.2, 4.5]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.2 倍 [0.4, 2.5]	1.9 倍 [1.4, 2.4]

< 総合評価 >

【採用候補】

△

項目321に
併合

<コメント>

多変量解析では重度のネグ
レクトと関連。

【項目ID: 7-1-4(321)】

世帯内に支援の窓口となるキーパーソンがいない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 倍 [0.4, 1.6]	1.1 倍 [0.2, 2.7]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.5 倍 [0.8, 2.4]	1.8 倍 [1.4, 2.1]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

項目320を
併合して利用

<コメント>

多変量解析では重度のネグ
レクトと関連。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分7. 社会サポート・社会関係に関する項目情報

▷ 小区分7-2 資源不足

【項目ID: 7-2-1(322)】

関係機関がいざという時に緊急支援できる状況がない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	77.5	77.5
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	70.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 [0.1, 2.4] 倍	3.3 [0.5, 8.5] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
4.2 [2.1, 6.4] 倍	1.5 [0.9, 2.2] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
△
項目323に併合
<コメント>
重度ネグレクトの並存可能性が懸念。

【項目ID: 7-2-2(323)】

児童の状態や世帯の変化を常日頃モニターできる関係機関/地域社会の資源がない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	72.5	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	82.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 [0.2, 2.0] 倍	1.1 [0.0, 4.0] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
4.3 [2.5, 6.3] 倍	0.9 [0.4, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○
項目322を併合して利用
<コメント>
多変量解析では重度ネグレクトの関連要因。重度ネグレクトの並存が懸念。

【項目ID: 7-2-3(324)】

主要な関係機関からの理解や支援が得られない/得られにくい

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	60.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.6 [0.1, 1.4] 倍	1.4 [0.2, 3.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
3.8 [2.3, 5.3] 倍	1.0 [0.6, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
△
項目325に併合
<コメント>
重度ネグレクト並存が懸念。

【項目ID: 7-2-4(325)】

養育者および児童に必要な社会的・情緒的支援が不足状態にある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	26.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	60.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 [0.5, 2.4] 倍	2.8 [0.6, 6.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.3 [0.4, 2.7] 倍	1.4 [0.9, 2.0] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○
項目324、項目326を併合して利用
<コメント>
多変量解析では重度ネグレクトと関連。

大区分7. 社会サポート・社会関係に関する項目情報

▷ 小区分7-2 資源不足

【項目ID: 7-2-5(326)】

当該事例に必要な支援資源がない、または利用できない

- 該当
- 非該当
- 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >		< 総合評価 >
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)	
主観的重篤度	60.0	60.0	1.2 [0.1, 2.9] 倍	2.1 [0.1, 7.3] 倍	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【採用候補】</p> <p style="text-align: center;">△</p> <p>項目325に併合</p> <p><コメント></p> <p style="color: red;">多変量解析では重度ネグレクトと関連。</p> </div>
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0	1.5 [0.2, 3.7] 倍	1.7 [0.9, 2.4] 倍	
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	72.5			

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分7. 社会サポートに関する項目情報

▷ 小区分7-3 社会的孤立

【項目ID: 7-3-1(327)】

世帯に、近隣や他児の親とのトラブルがある

該当
非該当
不明

<評定値(中央値)>

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	67.5	72.5

<該当時リスク比>

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 [0.6, 2.5] 倍	0.8 [0.0, 3.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.1 [0.9, 3.6] 倍	0.8 [0.4, 1.3] 倍

<総合評価>

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では重篤な身体的虐待、虐待再相談と関連。情報蓄積により、重度ネグレクトとの関連可能性

【項目ID: 7-3-2(328)】

地域社会から孤立した家庭(宗教等から周囲との関係を拒否などを含む)

該当
非該当
不明

<評定値(中央値)>

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	65.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	70.0

<該当時リスク比>

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 [0.2, 3.1] 倍	2.3 [0.1, 7.5] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
4.1 [1.7, 6.7] 倍	1.6 [0.7, 2.4] 倍

<総合評価>

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では重度ネグレクト、虐待再相談と関連。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分7. 社会サポート・社会関係に関する項目情報

▷ 小区分7-4 親族関係

【項目ID: 7-4-1(329)】

親族(実家の親等)に完全に依存した生活を送っている

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	20.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	70.0	60.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.0 [0.3, 4.4] 倍	3.6 [0.1, 11.4] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.3 [0.0, 4.0] 倍	0.8 [0.1, 1.9] 倍

<総合評価>

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連性は得られていない。

【項目ID: 7-4-2(330)】

親族間での対立・親族間の過干渉がある

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	45.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.4 [0.0, 1.4] 倍	1.4 [0.0, 5.0] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.5 [0.9, 4.5] 倍	0.5 [0.1, 1.1] 倍

<総合評価>

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連性は得られていない。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分7. 社会サポート・社会関係に関する項目情報

▷ 小区分7-5 養育サポート

【項目ID: 7-5-1(331)】
(乳幼児の場合)児童の保育がない

該当
 非該当
 不明

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

＜評定値(中央値)＞

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	66.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	77.5	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	80.5

＜該当時リスク比＞

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 [0.3, 1.7] 倍	3.2 [1.1, 6.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.4 [0.5, 2.6] 倍	1.0 [0.6, 1.4] 倍

＜総合評価＞

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

＜コメント＞
性的虐待の並存が懸念。

【項目ID: 7-5-2(332)】
養育者に対する親族・友人・同僚からの安定したサポートが期待できない

該当
 非該当
 不明

＜評定値(中央値)＞

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	55.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	75.0

＜該当時リスク比＞

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.5 [0.8, 2.5] 倍	1.2 [0.1, 3.2] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.5 [0.7, 2.7] 倍	2.3 [1.9, 2.6] 倍

＜総合評価＞

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

＜コメント＞
重篤項目との明確な関連は
得られていない。

大区分7. 社会サポート・社会関係に関する項目情報

△ 小区分7-6 連携・情報不十分

【項目ID: 7-6-1(333)】

関係機関からのリスク見立てに不十分さが疑われる

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	57.5
初期調査時点 情報取得容易性	71.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	66.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 [0.4, 2.5] 倍	3.4 [0.8, 7.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.5 [1.0, 4.3] 倍	1.3 [0.7, 1.9] 倍

<総合評価>

【採用候補】


利用文脈との不整合性

<コメント>
 重度ネグレクトの並存が懸念。

【項目ID: 7-6-2(334)】

関係機関からの情報提供が得られない/同意が得られない

該当
非該当
不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	65.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	81.0	75.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.5 [0.2, 1.0] 倍	1.6 [0.5, 3.2] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.3 [0.6, 2.1] 倍	0.9 [0.6, 1.3] 倍

<総合評価>

【採用候補】
 —

本事業作成ツール採用なし

<コメント>
 重篤項目との明確な関連性は得られていない。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分8. 養育環境・展望に関する項目情報

▷ 小区分8-1 改善意欲・展望

【項目ID: 8-1-1(335)】

支援を通じて、生活環境不良の改善が得られない

該当
 非該当
 不明

＜評定値(中央値)＞

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	74.0	65.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	73.5

＜該当時リスク比＞

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 [0.9, 1.8] 倍	1.5 [0.7, 2.7] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 [1.2, 2.5] 倍	1.4 [1.2, 1.7] 倍

＜総合評価＞

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

＜コメント＞

多変量解析では虐待再相談
と関連。

【項目ID: 8-1-2(336)】

養育者や生活環境の様子から、今後、監督不十分により事故が発生する可能性が高いと考えられる

該当
 非該当
 不明

＜評定値(中央値)＞

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

＜該当時リスク比＞

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.2 [1.4, 3.1] 倍	1.3 [0.3, 2.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.5 [1.5, 3.6] 倍	1.1 [0.7, 1.4] 倍

＜総合評価＞

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

＜コメント＞

多変量解析では重度ネグ
レクトとの関連。重篤な身体
的虐待の並存が懸念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分8. 養育環境・展望に関する項目情報

▷ 小区分8-2 監護・養育上の課題

【項目ID: 8-2-1(337)】

育児の負担が、母親等一人の養育者に偏っている(パートナー等の同居者の協力が得られない)

該当
 非該当
 不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 [0.7, 2.0] 倍	1.4 [0.4, 3.1] 倍
2.7 [1.8, 3.7] 倍	1.6 [1.3, 1.9] 倍

<総合評価>

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
重度ネグレクトの並存が懸念。

【項目ID: 8-2-2(338)】

内縁関係者など、保護者以外の大人が3歳未満の児童の監護をしている

該当
 非該当
 不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	60.5
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	75.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 [0.8, 2.1] 倍	0.7 [0.1, 2.0] 倍
0.9 [0.4, 1.6] 倍	1.1 [0.7, 1.4] 倍

<総合評価>

【採用候補】
-

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
多変量解析では虐待再相談と関連。

【項目ID: 8-2-3(339)】

養育者が夜間勤務等により、夕方以降や夜間に児童を監護する大人がいない状況がある

該当
 非該当
 不明

	<評定値(中央値)>	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	40.0	39.0
訪問調査時点 情報取得容易性	70.0	70.0

<該当時リスク比>	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.9 [0.5, 0.9] 倍	0.4 [0.1, 1.2] 倍
1.7 [1.1, 2.4] 倍	1.5 [1.2, 1.8] 倍

<総合評価>

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では重度ネグレクトと関連。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分8. 養育環境・展望に関する項目情報

▷ 小区分8-3 生活環境

【項目ID: 8-3-1(340)】

何らかの組織や団体が、児童の福祉に反するような状況下で児童を生活・管理している可能性がある

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	82.5	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	45.0	30.0
訪問調査時点 情報取得容易性	72.5	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 [0.6, 1.3] 倍	0.7 [0.2, 1.5] 倍
0.9 [0.6, 1.4] 倍	0.7 [0.5, 0.9] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との関連は明確に
得られていない。

【項目ID: 8-3-2(341)】

家庭内が散乱しているなど、生活環境への管理が行き届いていない

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	63.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.5 [0.9, 2.2] 倍	1.4 [0.4, 3.0] 倍
1.4 [0.7, 2.2] 倍	1.5 [1.2, 1.8] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
多変量解析では虐待再相談
と関連。

【項目ID: 8-3-3(342)】

子どもが生活しているにもかかわらず、「子ども用品やおもちゃがない」「部屋が不自然に綺麗」などの違和感がある

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	35.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	85.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.7 [0.9, 2.7] 倍	1.8 [0.4, 4.2] 倍
2.4 [1.3, 3.8] 倍	1.3 [0.8, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
重度ネグレクトの並存が懸
念。

【項目ID: 8-3-4(343)】

世帯に、放置された多数の動物が飼育されている

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	55.0	64.0
初期調査時点 情報取得容易性	40.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.6 [1.2, 2.2] 倍	1.1 [0.5, 2.1] 倍
1.6 [1.1, 2.2] 倍	1.2 [1.0, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
重篤な身体的虐待と重度ネ
グレクトの兵依存が懸念懸
念

大区分8. 養育環境・展望に関する項目情報

▷ 小区分8-3 生活環境

【項目ID: 8-3-5(344)】

世帯人数に対して、世帯面積が極端に狭い・児童の生活空間が極端に狭い

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	55.0	40.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	87.5

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 倍 [0.6, 1.3]	1.8 倍 [0.5, 0.9]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.3 倍 [0.9, 1.9]	1.3 倍 [0.6, 2.4]

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連は
得られていない。

【項目ID: 8-3-6(345)】

生活環境が「ゴミ屋敷」状態、または、養育者に特定のため込み(ホーディング)がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.5
訪問調査時点 情報取得容易性	77.5	83.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.8 倍 [0.2, 1.9]	2.0 倍 [0.2, 5.2]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.1 倍 [0.2, 2.5]	0.5 倍 [0.1, 0.9]

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では重度ネグ
レクトおよび虐待再相談と関
連。

【項目ID: 8-3-7(346)】

生活実態や雰囲気、近隣世帯との違いが感じられる(指定日以外にゴミが出ている、玄関先の様子等)

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	58.5
初期調査時点 情報取得容易性	40.0	61.5
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	81.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 倍 [0.9, 2.0]	0.6 倍 [0.1, 1.5]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 倍 [1.1, 2.6]	0.9 倍 [0.6, 1.2]

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
重度ネグレクトの並存可能
性が懸念。

【項目ID: 8-3-8(347)】

乳幼児が怪我をする可能性のある状態に置かれている(割れたガラスの放置・口に入れると危険なものが放置)

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	85.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 倍 [0.5, 2.2]	0.6 倍 [0.0, 2.2]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
3.3 倍 [2.0, 4.7]	1.0 倍 [0.6, 1.5]

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では重度ネグ
レクト、虐待再相談と関連。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分8. 養育環境・展望に関する項目情報

▷ 小区分8-3 生活環境

【項目ID: 8-3-9(348)】

非衛生的など、児童の身体的健康を害する不適切な居住環境がある

該当
非該当
不明

——— < 評定値 (中央値) > ———

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	71.5
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	75.0

——— < 該当時リスク比 > ———

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 [0.7, 2.0] 倍	1.7 [0.6, 3.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.8 [0.4, 1.5] 倍	0.9 [0.6, 1.3] 倍

——— < 総合評価 > ———

【採用候補】
△

重篤事例とそれ以外の意味的識別性の不足

<コメント>
多変量解析では重度ネグレクトと関連。

【項目ID: 8-3-10(349)】

養育者によって、自宅への来客者をチェックするテレビカメラなどが設置されている(一般的な防犯を超えているもの)

該当
非該当
不明

——— < 評定値 (中央値) > ———

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	55.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	20.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	75.0

——— < 該当時リスク比 > ———

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.8 [0.3, 1.4] 倍	0.8 [0.1, 2.2] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.2 [0.5, 2.0] 倍	1.1 [0.8, 1.5] 倍

——— < 総合評価 > ———

【採用候補】
—

本事業作成ツール採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連性は得られていない。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分9. 転居・変化に関する項目情報

▷ 小区分9-1 転入・転出

【項目ID: 9-1-1(350)】

「不自然」または「複数回」の転居・転入履歴がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	65.0
初期調査時点 情報取得容易性	82.5	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	95.0	100.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 [0.4, 1.6] 倍	0.9 [0.1, 2.5] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.3 [1.4, 3.4] 倍	1.2 [0.8, 1.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では虐待再相談
と関連。重度ネグレクトの
並存可能性が懸念。

【項目ID: 9-1-2(351)】

過去30日以内に現在の住居に転入した

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	47.5	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	92.5	100.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.6 [0.2, 1.2] 倍	0.8 [0.1, 2.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.4 [0.7, 2.3] 倍	1.0 [0.6, 1.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
-

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連性
は得られていない。

【項目ID: 9-1-3(352)】

虐待を疑われたことにより、家庭訪問や児童相談所等への呼び出し後の2週間以内に転出した履歴がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	85.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.3 [0.0, 0.9] 倍	0.6 [0.0, 2.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.4 [0.0, 1.2] 倍	0.6 [0.2, 1.0] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
-

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連性
は得られていない。

【項目ID: 9-1-4(353)】

現在の居住地に転入して1年経過していない

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	25.0	45.0
初期調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0
訪問調査時点 情報取得容易性	97.5	100.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.8 [0.2, 1.8] 倍	1.9 [0.2, 5.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.7 [0.6, 3.3] 倍	1.6 [1.0, 2.1] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
-

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連性
は得られていない。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分9. 養育環境・展望に関する項目情報

▷ 小区分9-2 変化

【項目ID: 9-2-1(354)】

この数ヶ月で、家族構成(同居人)に変化があった

□該当
□非該当
□不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	70.0	50.0	0.8 [0.3, 1.5] 倍	1.1 [0.1, 3.1] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	75.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	80.0	2.2 [1.2, 3.4] 倍	1.7 [1.2, 2.1] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重度ネグレクトの並存が懸念。

【項目ID: 9-2-2(355)】

家族内に出入りする人間に変化があった(内縁関係者等の出入り・同居開始等の変化)

□該当
□非該当
□不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	52.0	70.0	0.6 [0.0, 2.0] 倍	2.2 [0.1, 7.6] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	40.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	65.0	1.6 [0.2, 4.0] 倍	1.3 [0.5, 2.2] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連性は得られていない。

【項目ID: 9-2-3(356)】

過去1ヶ月の間に、児童の生活する世帯の収入元または収入額に大きな変化があった

□該当
□非該当
□不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	60.0	50.0	0.7 [0.0, 2.4] 倍	2.4 [0.1, 8.1] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	34.0	25.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	80.5	60.0	3.6 [1.2, 6.3] 倍	0.6 [0.1, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
△

項目294に
併合

<コメント>

重度ネグレクト並存の可能性が懸念。初期段階では情報の取得が基本的に困難。

【項目ID: 9-2-4(357)】

関係機関が2週間程度以上、児童を現認できない状況が今後生じうる

□該当
□非該当
□不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	80.0	76.5	0.7 [0.4, 1.1] 倍	0.8 [0.2, 1.8] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0	1.9 [1.3, 2.6] 倍	1.4 [1.1, 1.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
△

ツールの
想定文脈
との相違

<コメント>

重度ネグレクトの並存可能性が懸念。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分9. 転居・変化に関する項目情報

▷ 小区分9-2 変化

【項目ID: 9-2-5(358)】

休園や学校欠席の後(突然の欠席後や休み明け等)の児童の状態・表情が普段と異なる

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.8 [0.5, 1.2] 倍	1.1 [0.4, 2.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.9 [1.3, 2.5] 倍	1.5 [1.3, 1.8] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】 ○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 多変量解析では虐待再相談
と関連。重度ネグレクト並
存の可能性が懸念。

【項目ID: 9-2-6(359)】

児童が保育所等に来なくなった等の変化があった

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	90.0	97.5
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.0 [0.2, 2.2] 倍	1.2 [0.0, 4.0] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.1 [0.8, 4.0] 倍	0.5 [0.2, 1.1] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】 ○

項目360を
併合して利用

<コメント>
 多変量解析では重度ネグレ
クト事例と関連。

【項目ID: 9-2-7(360)】

児童が理由または連絡なく登園・登校しない状態が3日以上続いている

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	72.5	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	90.0	100.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.7 [0.4, 1.2] 倍	2.2 [0.9, 3.8] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.7 [1.0, 2.4] 倍	1.2 [0.9, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】 △

項目359に
併合

<コメント>
 重度ネグレクトの並存が懸
念。情報蓄積により、性的
虐待との関連可能性。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分10. 親子分離・措置歴に関する項目情報

▷ 小区分10-1親子分離・措置歴

【項目ID: 10-1-1(361)】

家族内で、一人の児童にのみ施設入所歴や養育者との分離歴がある

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	62.5	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	90.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.7 [0.1, 1.8] 倍	1.2 [0.0, 4.3] 倍
3.2 [1.5, 5.1] 倍	0.9 [0.4, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
△

項目362に
併合

<コメント>
多変量解析では虐待再相談
と関連。重度ネグレクトと
の並存が懸念。

【項目ID: 10-1-2(362)】

経済困窮や養育者の逮捕などによる児童の長期的な施設入所や里親委託歴(レスパイトケア等短期委託を除く)がある

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	64.5	65.0
初期調査時点 情報取得容易性	92.5	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.7 [0.0, 2.4] 倍	2.5 [0.1, 8.4] 倍
5.4 [2.6, 7.8] 倍	2.0 [1.2, 2.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

項目361と
項目363を
併合して利用

<コメント>
重度ネグレクト並存が懸念
される。

【項目ID: 10-1-3(363)】

現在の養育者の誰もが、当該児童を継続的に養育していなかった期間がある

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	65.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.7 [0.3, 1.3] 倍	0.9 [0.1, 2.4] 倍
1.7 [0.9, 2.7] 倍	1.3 [0.9, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
△

項目362に
併合

<コメント>
多変量解析では虐待再相談
と関連。情報蓄積により、
重度ネグレクトとの関連可
能性。

【項目ID: 10-1-4(364)】

出生直後に入院等による長期の母子分離があった

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	55.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	62.5
訪問調査時点 情報取得容易性	70.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.6 [0.2, 1.1] 倍	0.4 [0.0, 1.4] 倍
1.6 [0.8, 2.6] 倍	0.9 [0.6, 1.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連は
得られていない。情報蓄積
により、重度ネグレクトと
の関連可能性。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分10. 親子分離・措置歴に関する項目情報

▷ 小区分10-1 親子分離・措置歴

【項目ID: 10-1-5(365)】

祖父母等の親族による長期的な養育の後に、現在の養育者が児童を引き取った経過がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	62.5
初期調査時点 情報取得容易性	70.0	46.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.5 [0.9, 4.6] 倍	2.3 [0.1, 7.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.6 [0.2, 3.9] 倍	1.1 [0.4, 1.9] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連は得られていない。情報蓄積により、重篤な身体的虐待との関連可能性。

【項目ID: 10-1-6(366)】

当該児童に虐待(疑い含む)による入院・措置歴(施設措置等)がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	67.5	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	95.0	80.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.0 [0.5, 1.7] 倍	1.3 [0.3, 3.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.3 [0.6, 2.2] 倍	0.7 [0.4, 1.0] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
多変量解析では虐待再相談と関連。

【項目ID: 10-1-7(367)】

養育者が、施設や里親、病院等から児童を強引に引き取った経過・経歴がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	98.5	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 [0.6, 1.7] 倍	1.3 [0.3, 2.8] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.0 [0.5, 1.8] 倍	1.4 [1.0, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では重度ネグレクトと関連。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分11. 初期情報(通告等)に関する項目情報

▶ 小区分11-1 安全確認

【項目ID: 11-1-1(368)】

安全確認のための児童への接近手がかりを得ることが困難である

該当
非該当
不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	85.0	85.0	1.4 [0.9, 1.9] 倍	1.9 [0.8, 3.5] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	80.0	1.3 [0.8, 2.0] 倍	0.9 [0.6, 1.1] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連性は得られてない。情報蓄積により、各種重篤項目との明確な関連可能性。

【項目ID: 11-1-2(369)】

関係機関において、1週間以上児童の安全を確認できない状態にある

該当
非該当
不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	75.0	80.0	1.3 [0.8, 2.0] 倍	1.2 [0.4, 2.6] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	92.0	81.0	0.9 [0.4, 1.6] 倍	1.0 [0.7, 1.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連性は得られていない。

【項目ID: 11-1-3(370)】

虐待の重症度に拘らず、進行管理中にある事例世帯の調査・状況確認が6ヶ月以上行われていない

該当
非該当
不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	90.0	75.0	0.9 [0.4, 1.6] 倍	1.3 [0.3, 3.1] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	100.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	97.5	100.0	2.6 [1.6, 3.8] 倍	1.3 [0.9, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>

該当自体による高い重篤性認識。重度ネグレクトの並存が懸念される。

【項目ID: 11-1-4(371)】

児童または養育者のどちらか片方の様子が関係機関等によって現認できない

該当
非該当
不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	77.5	80.0	1.6 [0.6, 2.8] 倍	1.0 [0.0, 3.4] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	90.0	2.1 [0.8, 3.7] 倍	1.5 [0.9, 2.0] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重度ネグレクトと関連。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分11. 初期情報(通告等)に関する項目情報

▷ 小区分11-1 安全確認

【項目ID: 11-1-5(372)】

住所登録はあるが、相当期間どの機関も児童に会えていない状態がある(長期休暇中や不登校による未確認児童を含む)

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >		< 総合評価 >
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)	
主観的重篤度	65.0	80.0	0.8 [0.4, 1.3] 倍	1.2 [0.4, 2.5] 倍	【採用候補】 — <コメント> 重篤な項目との明確な関連は得られていない。
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致	
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	88.0	0.6 [0.3, 1.1] 倍	1.2 [0.9, 1.5] 倍	

【項目ID: 11-1-6(373)】

初期調査・訪問調査を経ても虐待が生じている家庭内の状況が把握できない

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >		< 総合評価 >
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)	
主観的重篤度	72.5	75.0	2.1 [1.1, 3.3] 倍	0.7 [0.0, 2.6] 倍	【採用候補】 ○ <コメント> 重篤な身体的虐待の並存が懸念。
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	44.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致	
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0	1.1 [0.3, 2.2] 倍	1.3 [0.8, 1.8] 倍	

【項目ID: 11-1-7(374)】

所在不明のため児童の安全が確認できなかった経緯がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >		< 総合評価 >
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)	
主観的重篤度	85.0	80.0	1.1 [0.8, 1.4] 倍	1.3 [0.7, 2.2] 倍	【採用候補】 — <コメント> 重篤な項目との明確な関連性は得られていない。
初期調査時点 情報取得容易性	52.5	50.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致	
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	72.5	1.1 [0.7, 1.5] 倍	1.6 [1.4, 1.8] 倍	

【項目ID: 11-1-8(375)】

目視による安全確認の未実施

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >		< 総合評価 >
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)	
主観的重篤度	85.0	90.0	0.7 [0.4, 1.0] 倍	0.8 [0.4, 1.5] 倍	【採用候補】 重篤 <コメント> 該当自体による高い重篤性認識。
初期調査時点 情報取得容易性	100.0	75.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致	
訪問調査時点 情報取得容易性	91.5	96.0	1.3 [0.9, 1.7] 倍	1.2 [1.0, 1.3] 倍	

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

大区分11. 初期情報(通告等)に関する項目情報

▷ 小区分11-2 関係機関情報

【項目ID: 11-2-1(376)】

(未就学児を除き)児童に親しい友人がいない/誰が親しい友人かわからない

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 倍 [0.4, 2.4]	1.1 倍 [0.0, 3.7]
1.5 倍 [0.5, 3.0]	0.6 倍 [0.2, 1.1]

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連性が得られていない。

【項目ID: 11-2-2(377)】

移管元や通告・相談元における重篤性の認識が共有されていない(書面のみによる連絡など)

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	66.5	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	95.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 倍 [0.4, 1.8]	2.9 倍 [1.0, 5.6]
1.0 倍 [0.4, 2.0]	1.4 倍 [1.0, 1.8]

< 総合評価 >

【採用候補】

△

利用文脈
との不整合

<コメント>

多変量解析では性的虐待(疑い含む)の予測要因。

【項目ID: 11-2-3(378)】

児童および養育者に関して関係機関から得られている情報が漠然としている

該当
非該当
不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	55.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	72.5	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.8 倍 [0.3, 1.6]	3.5 倍 [1.4, 6.5]
1.5 倍 [0.6, 2.5]	1.4 倍 [1.0, 1.9]

< 総合評価 >

【採用候補】

△

利用文脈
との不整合

<コメント>

性的虐待(疑い含む)の並存が懸念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分11. 初期情報(通告等)に関する項目情報

▷ 小区分11-3 通告

【項目ID: 11-3-1(379)】

通告時に「助けを求める叫び」や「悲鳴」が報告されている

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	85.0
初期調査時点 情報取得容易性	80.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.8 [0.5, 1.1] 倍	1.0 [0.4, 1.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.7 [0.4, 1.2] 倍	1.1 [0.9, 1.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
多変量解析では虐待再相談
と関連。

【項目ID: 11-1-6(380)】

通告時点で、すでに受傷起点から時間が経過している

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	57.5	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	62.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	87.5	54.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.5 [1.0, 2.1] 倍	0.9 [0.3, 2.0] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.1 [0.6, 1.7] 倍	1.1 [0.8, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
重篤な身体的虐待の並存が
懸念。

【項目ID: 11-1-7(381)】

通告内容の大半が伝聞に基づくものであった(第三者による事実確認の伴わない情報が多い)

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	40.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	32.5	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	70.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.0 [0.8, 3.6] 倍	2.9 [0.4, 7.5] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.1 [0.1, 2.9] 倍	1.0 [0.4, 1.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤な項目との明確な関連
性は得られていない。

【項目ID: 11-1-8(382)】

目の前で児童に虐待行為を加えているのを通告者/発見者が見ていた

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	78.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
3.0 [1.4, 4.8] 倍	3.5 [0.5, 8.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.9 [0.4, 4.2] 倍	1.5 [0.7, 2.2] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
重篤な身体的虐待との並存
が懸念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分12. 妊娠・出産等に関する項目情報

▷ 小区分12-1 妊娠・出産

【項目ID: 12-1-1(383)】
(当該児童に関して)35歳以上の高齢出産

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	25.0	30.0	1.0 [0.5, 1.7] 倍	1.8 [0.5, 3.9] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	90.0	100.0	2.5 [1.5, 3.7] 倍	1.0 [0.6, 1.3] 倍
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0		

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
重度ネグレクトの並存可能性が懸念。

【項目ID: 12-1-2(384)】
(当該児童の出産が)育児・養育の見通しもないままの妊娠・出産だった

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	75.0	70.0	0.8 [0.5, 1.1] 倍	0.7 [0.3, 1.4] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	54.0	1.2 [0.8, 1.7] 倍	1.0 [0.8, 1.2] 倍
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0		

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
多変量解析では重度ネグレクトの予測要因。

【項目ID: 12-1-3(385)】
(当該児童の出産が)予期せぬ妊娠・出産だった

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	67.5	65.0	2.6 [0.7, 5.0] 倍	6.2 [0.9, 14.4] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	30.0	50.0	3.4 [0.8, 6.4] 倍	1.5 [0.6, 2.3] 倍
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0		

< 総合評価 >

【採用候補】
-

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤な項目との明確な関連性は得られていない。

【項目ID: 12-1-4(386)】
(当該児童出産時に)出産直前まで妊娠を隠して出産に臨んでいる

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	75.0	80.0	0.7 [0.0, 2.3] 倍	2.4 [0.1, 8.0] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	70.0	0.9 [0.0, 3.0] 倍	0.6 [0.1, 1.4] 倍
訪問調査時点 情報取得容易性	77.5	75.0		

< 総合評価 >

【採用候補】
-

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連性は得られていない。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分12. 妊娠・出産等に関する項目情報

▷ 小区分12-2 妊娠・出産

【項目ID: 12-1-5(387)】

(妊婦の場合)出産の意思が曖昧で問題を先送りしている

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	55.0	49.5
訪問調査時点 情報取得容易性	81.0	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.8 倍 [0.5, 1.2]	0.7 倍 [0.2, 1.3]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.1 倍 [0.7, 1.5]	1.1 倍 [0.9, 1.4]

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連性は得られていない。

【項目ID: 12-1-6(388)】

(妊婦の場合)出産を反対されている、もしくは出産を周囲から反対されていた

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	40.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	62.5

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 倍 [0.3, 2.7]	1.5 倍 [0.0, 5.0]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.6 倍 [0.4, 3.4]	0.5 倍 [0.1, 1.1]

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
重篤項目との明確な関連性は得られていない。

【項目ID: 12-1-7(389)】

(妊婦の場合)出産後の養育を拒否する態度・言動がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	80.0	85.0
初期調査時点 情報取得容易性	67.5	70.0
訪問調査時点 情報取得容易性	77.5	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.8 倍 [0.6, 3.5]	1.7 倍 [0.5, 5.6]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
3.6 倍 [1.6, 5.9]	1.2 倍 [0.5, 1.9]

< 総合評価 >

【採用候補】
△

対象条件の
限定性

<コメント>
多変量解析では重度ネグレクトの予測要因。

【項目ID: 12-1-8(390)】

(妊婦の場合)胎児の状態(疾病・障害・多胎)への理解・受容がない

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	74.5	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.6 倍 [1.0, 2.2]	1.3 倍 [0.4, 2.6]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.7 倍 [1.9, 3.5]	1.5 倍 [1.2, 1.8]

< 総合評価 >

【採用候補】
△

対象条件の
限定性

<コメント>
多変量解析では重度ネグレクトの予測要因。重篤な身体的虐待の並存が懸念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分12. 妊娠・出産等に関する項目情報

▷ 小区分12-1 妊娠・出産

【項目ID: 12-1-9(391)】

(妊婦の場合)妊娠の継続に悩みや不安がある

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	60.0	70.5	2.1 [0.9, 3.5] 倍	2.5 [0.3, 6.4] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	70.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0	1.8 [0.5, 3.6] 倍	1.9 [1.3, 2.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連性は得られていない。情報蓄積により、重篤な身体的虐待と関連可能性。

【項目ID: 12-1-10(392)】

(妊婦の場合)妊娠の自覚がない・知識がない

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	80.0	74.0	1.2 [0.5, 2.0] 倍	0.6 [0.0, 2.1] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0	0.6 [0.1, 1.5] 倍	0.4 [0.2, 0.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

△

対象条件に
限定性が高い

<コメント>

多変量解析では**重度ネグレクト**の予測要因。

【項目ID: 12-1-11(393)】

児童が、未熟児、低出生体重児、NICU入院歴のいずれかに該当する

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	65.0	50.0	1.3 [0.9, 1.7] 倍	1.0 [0.4, 1.9] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	87.5	75.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	100.0	1.7 [1.2, 2.3] 倍	1.1 [0.9, 1.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重度ネグレクトの並存可能性が懸念。情報蓄積により、重篤な身体的虐待との関連可能性。

【項目ID: 12-1-12(394)】

出産時に助産制度を利用している

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >		< 該当時リスク比 >	
	児童相談所	市区町村	重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
主観的重篤度	50.0	50.0	0.8 [0.3, 1.4] 倍	1.6 [0.5, 3.4] 倍
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	75.0	重度ネグレクト	一時保護/児相送致
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	75.0	1.3 [0.6, 2.3] 倍	1.5 [1.1, 1.8] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では**重度ネグレクト**の予測要因。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分12. 妊娠・出産等に関する項目情報

▷ 小区分12-1 妊娠・出産

【項目ID: 12-1-13(395)】

多胎・多産

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	85.0	83.5
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 倍 [0.6, 2.1]	1.6 倍 [0.3, 3.8]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 倍 [0.9, 3.0]	0.8 倍 [0.4, 1.2]

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連は得られていない。情報蓄積により、重度ネグレクトとの関連可能性。

【項目ID: 12-1-14(396)】

当該児童に、配偶者間以外の遺伝的な親がいる(卵子や精子、あるいはいずれもを提供された子)、または代理母出産により出生した児童である

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	42.5	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	56.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	62.5	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 倍 [0.5, 1.9]	1.7 倍 [0.3, 4.0]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 倍 [0.9, 3.0]	1.8 倍 [1.3, 2.2]

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤な項目との明確な関連性は得られていない。

【項目ID: 12-1-15(397)】

当該児童の出産が、飛び込み出産や適切な医療者がいない環境下での出産だった

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	77.5	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	76.0	59.5
訪問調査時点 情報取得容易性	77.0	79.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 倍 [0.7, 1.5]	1.9 倍 [0.5, 3.1]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.5 倍 [1.0, 2.1]	1.0 倍 [0.8, 1.3]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重度ネグレクトの関連要因。

【項目ID: 12-1-16(398)】

妊娠36週以降にも拘らず出産の準備(育児物品の準備等含む)をしていない/していなかった

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	77.5	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	40.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	80.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.0 倍 [0.6, 1.4]	1.0 倍 [0.3, 2.1]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.7 倍 [1.1, 2.3]	1.3 倍 [1.1, 1.6]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重度ネグレクトの予測要因。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分12. 妊娠・出産等に関する項目情報

▷ 小区分12-1 妊娠・出産

【項目ID: 12-1-17(399)】

妊娠が20歳未満(過去の若年妊娠・出産歴がある場合も含む)

該当
 非該当
 不明

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	65.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	100.0	95.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 [1.0, 1.8] 倍	1.3 [0.6, 2.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.9 [1.3, 2.5] 倍	1.1 [0.9, 1.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重篤な身体的虐待および重
度ネグレクト並存が懸念。

【項目ID: 12-1-18(400)】

母親が妊娠そのものを受容できない/できなかった

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	95.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	35.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.1 [0.4, 2.0] 倍	0.6 [0.0, 2.2] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.1 [1.0, 3.4] 倍	1.1 [0.7, 1.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>

該当それ自体による高い重
篤性認識。重度ネグレクト
並存の懸念。市区町村が情
報収集に相対的に優れる。

【項目ID: 12-1-19(401)】

母親が妊娠期にアルコールや薬物を摂取していた

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	82.5	65.0
初期調査時点 情報取得容易性	45.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	62.5	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.3 [0.0, 0.8] 倍	2.0 [0.6, 4.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.9 [1.8, 4.1] 倍	1.1 [0.8, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重度ネグレクト並存の懸
念。

【項目ID: 12-1-20(402)】

母親が妊娠期にパートナーからの暴力を受けていた

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	85.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	35.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	68.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 [0.8, 1.7] 倍	1.6 [0.7, 2.8] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.0 [0.6, 1.6] 倍	1.2 [0.9, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤項目との明確な関連性
は得られていない。

大区分12. 妊娠・出産等に関する項目情報

▷ 小区分12-2 妊娠・出産

【項目ID: 12-1-21(403)】

母親に妊娠期の喫煙がある/あった

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	52.5	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	62.5	60.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.5 倍 [0.7, 2.6]	0.8 倍 [0.0, 2.8]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.7 倍 [0.6, 3.0]	1.3 倍 [0.8, 1.8]

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

多変量解析では虐待再相談
と関連。

【項目ID: 12-1-22(404)】

母親に不妊治療歴/複数回の生殖補助医療受診がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	30.0	30.0
初期調査時点 情報取得容易性	35.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	35.0	55.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.6 倍 [1.0, 2.2]	1.4 倍 [0.5, 2.9]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.2 倍 [1.4, 3.1]	0.9 倍 [0.6, 1.2]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重篤な身体的虐待および重
度ネグレクトと関連。相対
的に市区町村が情報取得に
優れる。

【項目ID: 12-1-23(405)】

養育者が、過去に妊娠・中絶を繰り返している

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	60.0	60.5
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	71.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 倍 [0.5, 1.4]	0.5 倍 [0.1, 1.4]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.7 倍 [1.0, 2.5]	1.3 倍 [1.0, 1.6]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重度ネグレクト並存の懸念。

【項目ID: 12-1-24(406)】

養育者が児童の性別に納得していない様子がある(「女の子がよかった」と語るなど)

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 倍 [0.8, 1.8]	0.6 倍 [0.1, 1.4]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.5 倍 [1.8, 3.3]	0.9 倍 [0.7, 1.2]

< 総合評価 >

【採用候補】

△

情報取得の
困難性

<コメント>

重度ネグレクトの並存が懸
念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分12. 妊娠・出産等に関する項目情報

▷ 小区分12-1 妊娠・出産

【項目ID: 12-1-25(407)】
 養育者に産後うつがある/あった

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	63.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 [0.9, 1.7] 倍	1.3 [0.6, 2.2] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.9 [1.4, 2.6] 倍	1.3 [1.1, 1.6] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】


重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 重度ネグレクトの並存が懸念。

▷ 小区分12-2 母子手帳

【項目ID: 12-2-1(408)】
 母子健康手帳の記載項目が少ない、または非常に多い

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	55.0	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	25.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	68.0	75.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
2.1 [0.5, 4.2] 倍	2.5 [0.1, 8.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.8 [0.3, 4.3] 倍	1.5 [0.6, 2.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
 -

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
 重篤項目との明確な関連は
明らかになっていない。

【項目ID: 12-2-2(409)】
 母子手帳未交付または妊娠22週以降の交付だった

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	67.5	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	70.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	95.0	90.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 [0.7, 2.1] 倍	1.9 [0.5, 4.1] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.4 [0.6, 2.3] 倍	0.7 [0.4, 1.0] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
 -

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>
 重篤項目との明確な関連は
得られていない。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分12. 妊娠・出産等に関する項目情報

▷ 小区分12-3 検診・予防接種等

【項目ID: 12-3-1(410)】

1歳児未満の予防接種が未接種(BCG等)

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	67.5	51.5
初期調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 倍 [0.5, 1.4]	0.8 倍 [0.2, 1.8]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.0 倍 [0.6, 1.6]	0.7 倍 [0.5, 1.0]

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤な項目との明確な関連は得られていない。

【項目ID: 12-3-2(411)】

児童に予防接種の記録がない/予防接種を受けさせていない

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	62.5	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	85.5
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	100.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 倍 [1.0, 1.8]	1.2 倍 [0.6, 2.2]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.2 倍 [0.8, 1.7]	1.0 倍 [0.8, 1.2]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重度ネグレクトの予測要因。重篤な身体的虐待との並存可能性が懸念。

【項目ID: 12-3-3(412)】

定期的に妊婦健診を受けていない、または受けていなかった

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	72.5	74.5
初期調査時点 情報取得容易性	97.5	82.5
訪問調査時点 情報取得容易性	95.0	95.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.8 倍 [0.5, 1.2]	0.7 倍 [0.2, 1.5]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.0 倍 [0.6, 1.6]	1.3 倍 [1.0, 1.5]

< 総合評価 >

【採用候補】

—

本事業
作成ツール
採用なし

<コメント>

重篤な項目との明確な関連は得られていない。

【項目ID: 12-3-4(413)】

乳幼児健診が未受診/未受診歴がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	67.5
初期調査時点 情報取得容易性	92.5	100.0
訪問調査時点 情報取得容易性	98.5	100.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.4 倍 [0.6, 2.3]	2.7 倍 [0.9, 5.4]
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.0 倍 [0.3, 1.9]	1.5 倍 [1.1, 1.9]

< 総合評価 >

【採用候補】

○

重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

多変量解析では重度ネグレクトの予測要因。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠
出産等

きょうだい

その他

大区分13. きょうだいに関する項目情報

▷ 小区分13-1 きょうだい

【項目ID: 13-1-1(414)】

きょうだいに虐待(疑い含む)による相談歴・一時保護・入院・措置歴がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	75.0	74.0
初期調査時点 情報取得容易性	97.5	90.0
訪問調査時点 情報取得容易性	95.0	100.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 [0.6, 1.3] 倍	0.5 [0.1, 1.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
1.9 [1.3, 2.6] 倍	1.0 [0.8, 1.2] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



項目415へ
併合

<コメント>

多変量解析では特定条件下で虐待再相談と関連。重度ネグレクトの並存が懸念。

【項目ID: 13-1-2(415)】

きょうだいに虐待以外による相談歴・一時保護歴・措置歴等がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	75.0
初期調査時点 情報取得容易性	90.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	100.0	95.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.3 [0.9, 1.6] 倍	1.6 [0.9, 2.5] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.3 [1.8, 2.8] 倍	1.2 [1.0, 1.4] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



項目414を
併合して利用

<コメント>

重度ネグレクトの並存が懸念。情報蓄積により、重度身体的虐待、性的虐待の関連可能性。

【項目ID: 13-1-3(416)】

きょうだいに虐待死・死因不明死・事故死情報がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	92.0	90.0
初期調査時点 情報取得容易性	80.0	57.5
訪問調査時点 情報取得容易性	82.5	79.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.6 [1.2, 2.0] 倍	1.6 [0.8, 2.6] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.5 [2.0, 3.2] 倍	1.1 [0.9, 1.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】

重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>

該当自体による高い重篤性認識。重篤な身体的虐待および重度ネグレクトの並存が懸念。

【項目ID: 13-1-4(417)】

きょうだいに重度の疾病・障害等がある

該当
 非該当
 不明

< 評定値 (中央値) >

	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	50.0	60.0
初期調査時点 情報取得容易性	75.0	75.0
訪問調査時点 情報取得容易性	90.0	85.0

< 該当時リスク比 >

重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.7 [0.3, 1.3] 倍	0.8 [0.1, 2.3] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
2.8 [1.8, 3.9] 倍	1.1 [0.8, 1.5] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】



重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>

重度ネグレクトの並存が懸念。

虐待
行為

児童
所見

養育者
所見

家族
構成

世帯
情報

家族
関係

社会
関係

養育
環境

転居
変化

親子
分離

初期
情報

妊娠
出産等

きょう
だい

その他

大区分14. その他に関する項目情報

▷ 小区分14-1 その他

【項目ID: 14-1-1(418)】

家族が逃亡しようとしている可能性が疑われる

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	70.0	70.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	25.0
訪問調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.7 [0.9, 2.7] 倍	1.8 [0.4, 4.2] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.7 [0.1, 1.5] 倍	0.4 [0.1, 0.7] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】


情報取得の
困難性

<コメント>
 多変量解析では重度ネグレクトと関連。情報蓄積により、重篤な身体的虐待との関連可能性。

【項目ID: 14-1-2(419)】

今までに経験したことのない事例

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	77.5	50.0
初期調査時点 情報取得容易性	10.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	75.0	52.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
0.9 [0.0, 3.0] 倍	9.3 [2.5, 17.9] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
3.3 [0.9, 6.3] 倍	1.1 [0.3, 2.1] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】


重篤項目の
予測項目に
採用検討

<コメント>
 性的虐待(疑い含む)との並存が懸念。情報蓄積により、重度ネグレクトとの関連可能性。

【項目ID: 14-1-3(420)】

養育者や児童の所在がわからない(連絡が取れなくなる)、またはわからなくなる人が多い

該当
 非該当
 不明

	< 評定値 (中央値) >	
	児童相談所	市区町村
主観的重篤度	90.0	80.0
初期調査時点 情報取得容易性	50.0	50.0
訪問調査時点 情報取得容易性	97.5	75.0

< 該当時リスク比 >	
重度身体的虐待	性的虐待(疑い含)
1.2 [0.5, 2.0] 倍	4.2 [1.8, 7.5] 倍
重度ネグレクト	一時保護/児相送致
0.6 [0.1, 1.5] 倍	1.1 [0.5, 1.3] 倍

< 総合評価 >

【採用候補】
重篤

当該事業
重篤項目に
追加検討

<コメント>
 多変量解析では重度ネグレクトと関連。該当自体での高い重篤性認識。性的虐待の並存が懸念。

虐待行為

児童所見

養育者所見

家族構成

世帯情報

家族関係

社会関係

養育環境

転居変化

親子分離

初期情報

妊娠出産等

きょうだい

その他

2019年度 子ども・子育て支援推進調査研究事業 (調査研究課題番号 20)
事業名: 児童虐待対応におけるアセスメントの在り方に関する調査研究

受託事業主体: 国立研究開発法人 産業技術総合研究所